

# 男女共同参画に関する市民意識調査

## 報 告 書

～ 男女共同参画社会の実現をめざして～

平成23年1月

玉 野 市

# も く じ

． 調査の概要	1
． 調査対象の概要	2
． 調査結果	
1 ． 男女平等意識・男女の役割分担等	
1 「男は仕事，女は家庭」という考え方について	8
2 各分野における男女の地位の平等意識について	10
3 今後女性が増えるのが望ましい役職について	16
2 ． 結婚観・家庭生活	
1 結婚・家庭・離婚についての	17
2 家庭への関わり方について	23
3 仕事と家庭生活について	30
4 男女がともに家庭や地域活動に積極的に参加することについて	31
3 ． 子育て・教育	
1 子育ての方針について	33
2 学校教育における男女平等の推進について	34
4 ． 仕事・職場	
1 女性が職業を持つことについて	35
2 職場での男女平等について	37
3 男女の平等な能力発揮について	42
4 退職，転職とその理由について	43
5 仕事と家庭の両立について	44
6 政策・方針決定の場への参画について	46
7 昇進について	46
8 育児・介護休暇制度の取得について	47

## 5 . 人権

1	ドメスティック・バイオレンスの関わりについて	48
2	配偶者等からの暴力の受け止め方について	50
3	セクシュアル・ハラスメントの関わりについて	53
4	男女間の暴力を廃絶するために必要なことについて	54
5	メディアでの表現について	55

## 6 . 法律・施策

1	男女共同参画に関する法律等の認知度について	56
2	玉野市の施策の認知度について	58
3	玉野市男女共同参画推進センターの利用度	62
4	玉野市男女共同参画推進センター事業で必要なこと	63
5	玉野市が今後取り組むべき事項について	64
6	男女共同参画施策についての意見・要望	66

## ・ 調査の概要

### 1 調査の目的

市民アンケートにより男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、「新たまの男女共同参画プラン」(平成19年度改定)の見直しの基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画関係施策推進の参考とするもの。

### 2 調査の内容

- (1) 基礎項目(性別・年齢・職業等)
- (2) 男女平等意識, 男女の役割分担等について
- (3) 結婚観, 家庭生活について
- (4) 子育てや教育について
- (5) 仕事や職場について
- (6) 人権について
- (7) 法律や施策について

### 3 調査の方法

- (1) 調査地域 玉野市全域
- (2) 調査対象 市内在住の満20歳以上の男女 1,200名
- (3) サンプルング方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布, 回収
- (5) 調査機関 平成22年7月~平成22年8月

### 4 回収結果

回収数 414件(回収率34.5%)

うち男 性: 187件(45.2%)

女 性: 221件(53.4%)

無回答: 6件(1.4%)

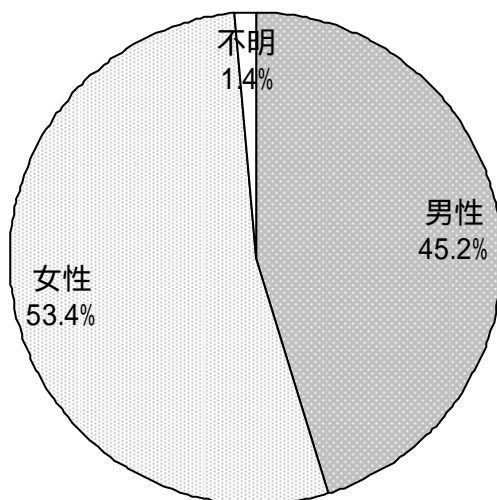
### 5 報告書の見方

- (1) グラフの数値の単位は%である。集計は、小数点第2位を四捨五入して算出したので、比率の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出したので、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

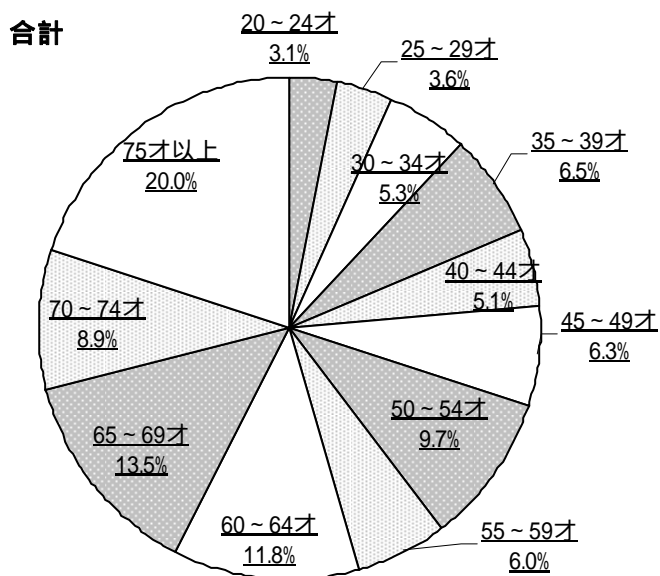
・調査対象の概要

問1 あなたのことについて、それぞれの項目にお答えください。

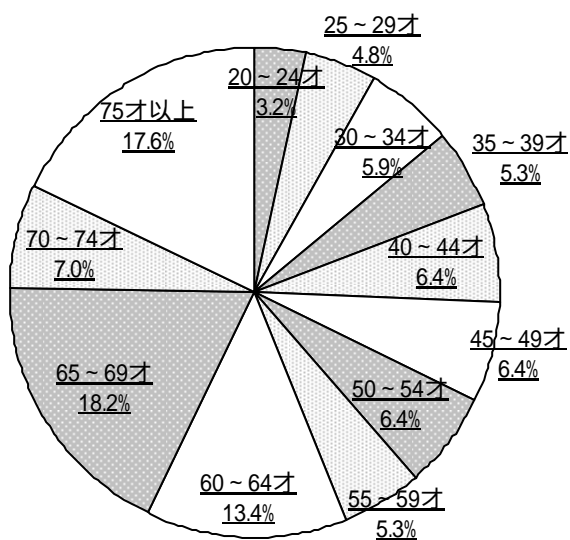
(1) 性別



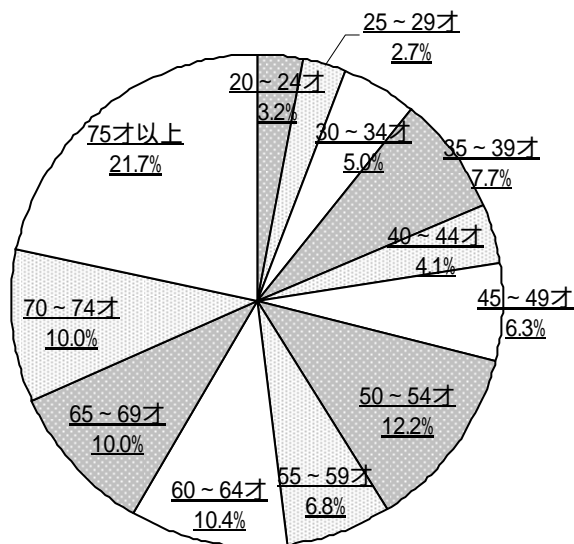
(2) 年齢



男

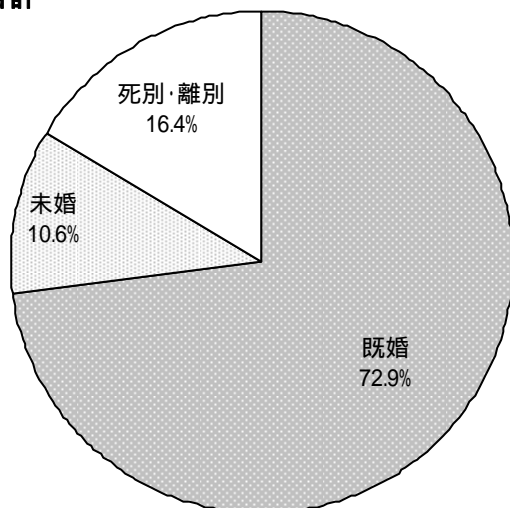


女

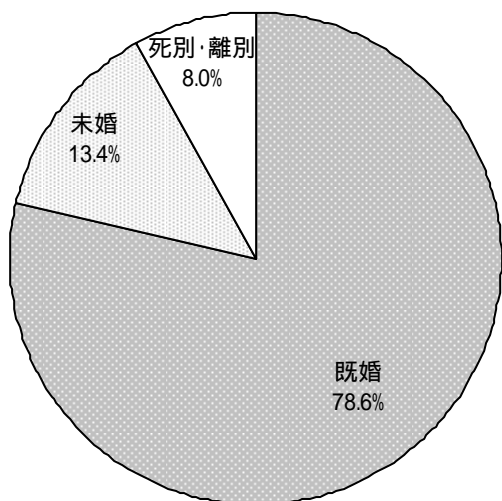


(3) 結婚

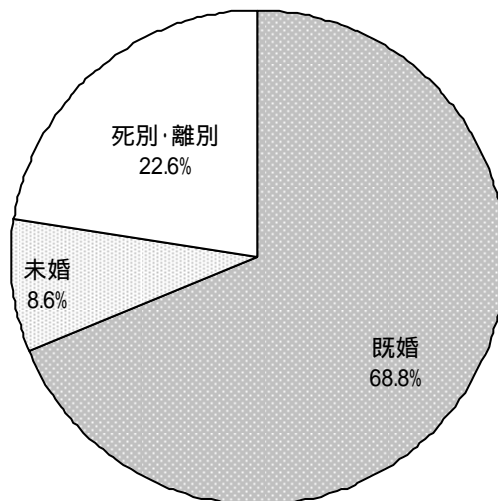
合計



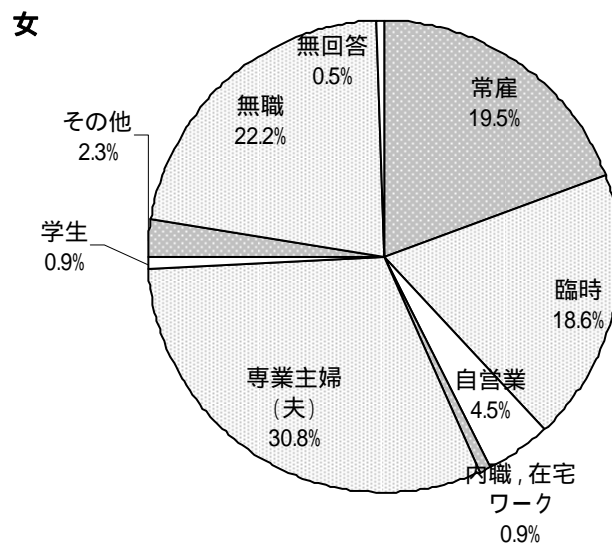
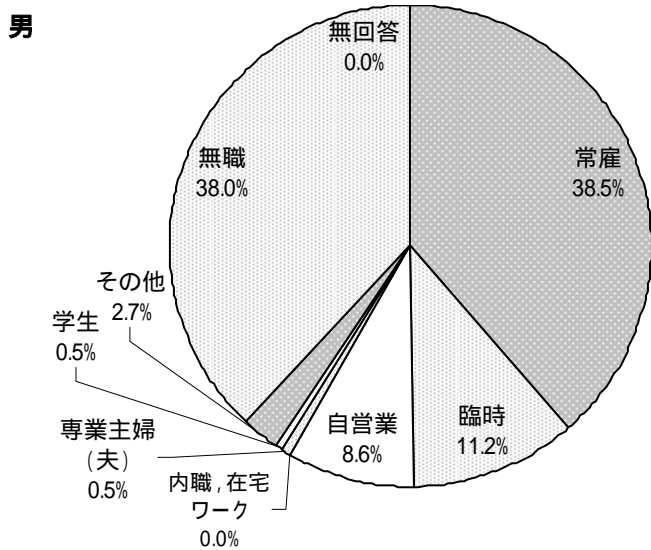
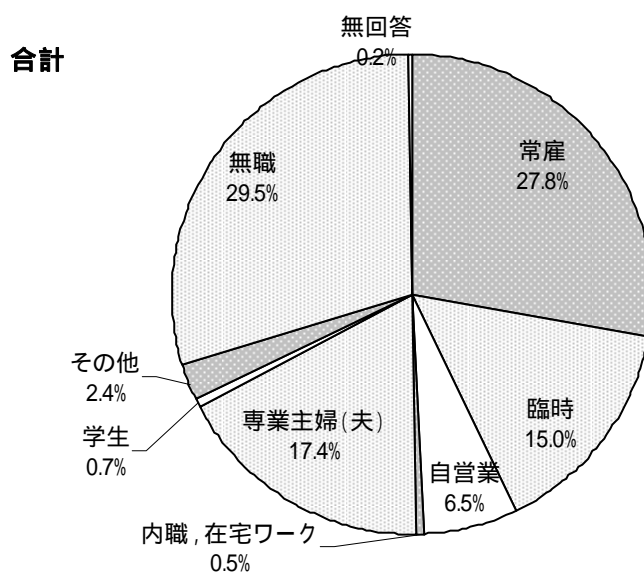
男



女

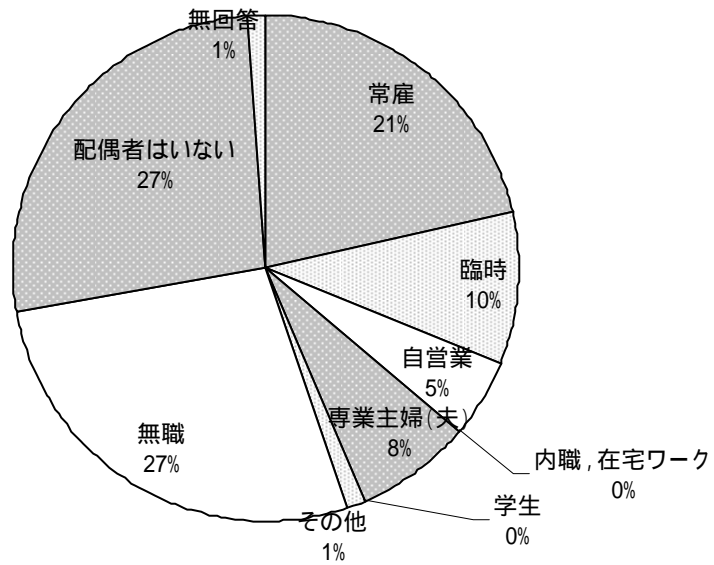


(4) 職業別  
(本人の職業)

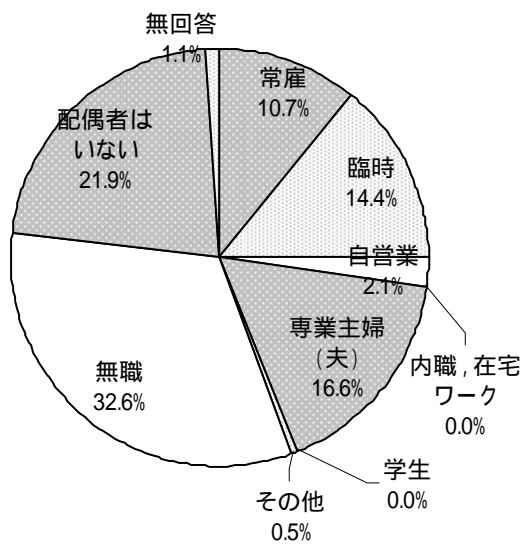


(配偶者の職業)

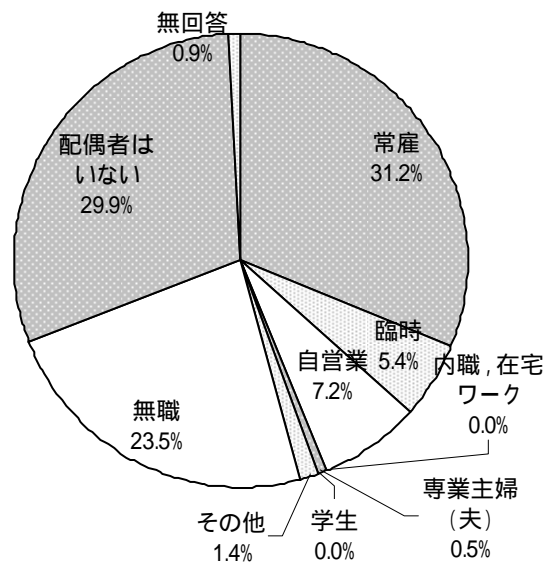
合計



男



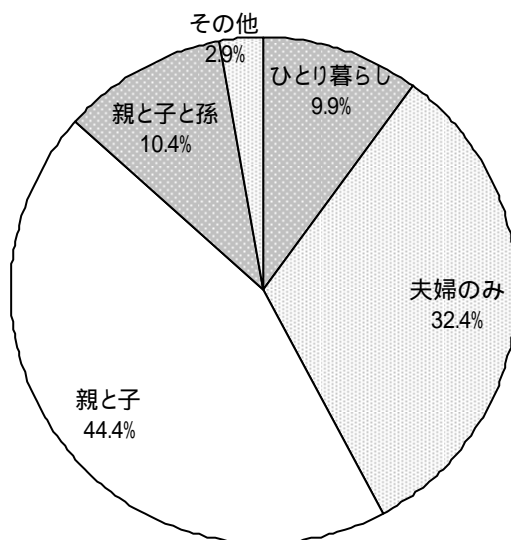
女



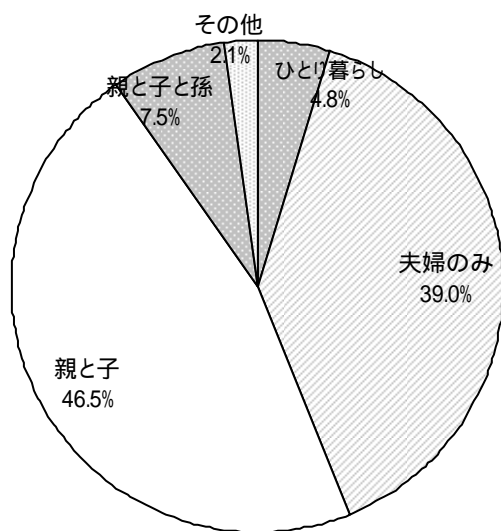


(5) 家族構成

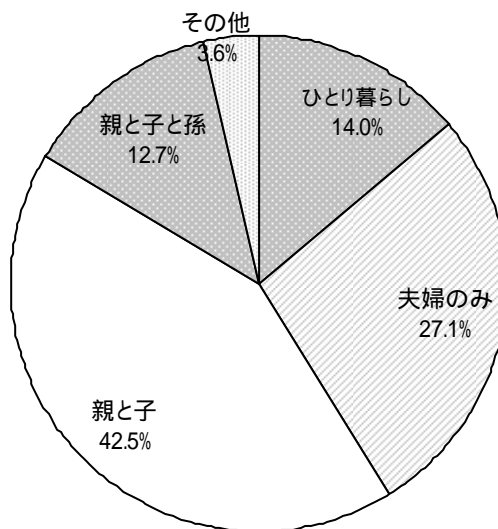
全体



男

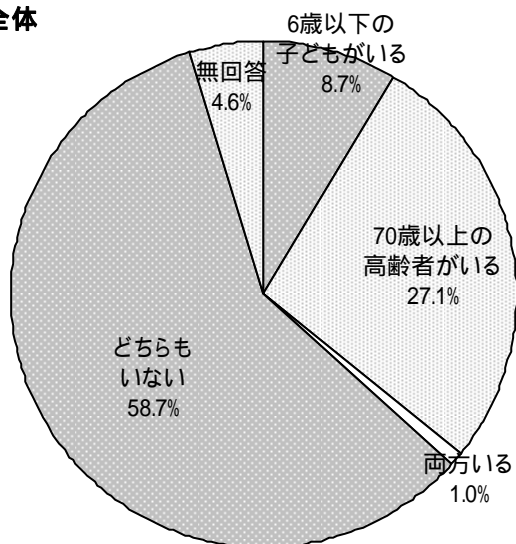


女

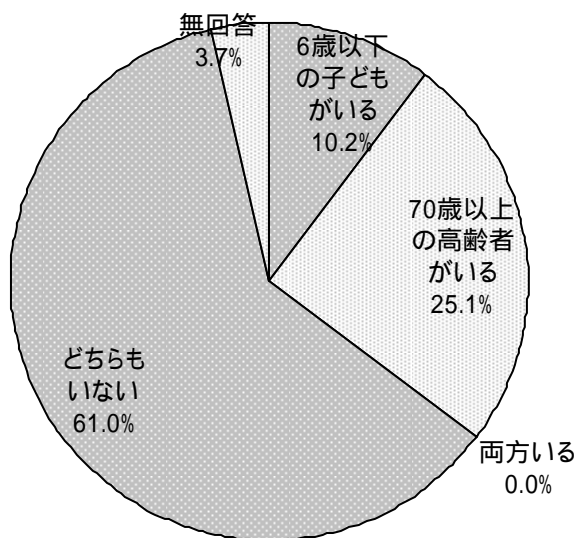


(6) 同居家族

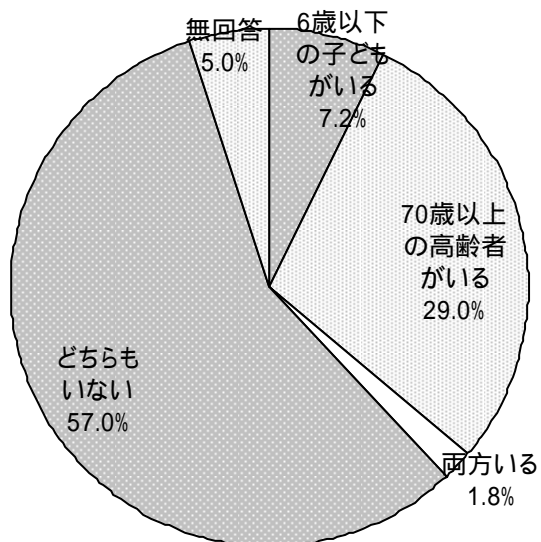
全体



男



女

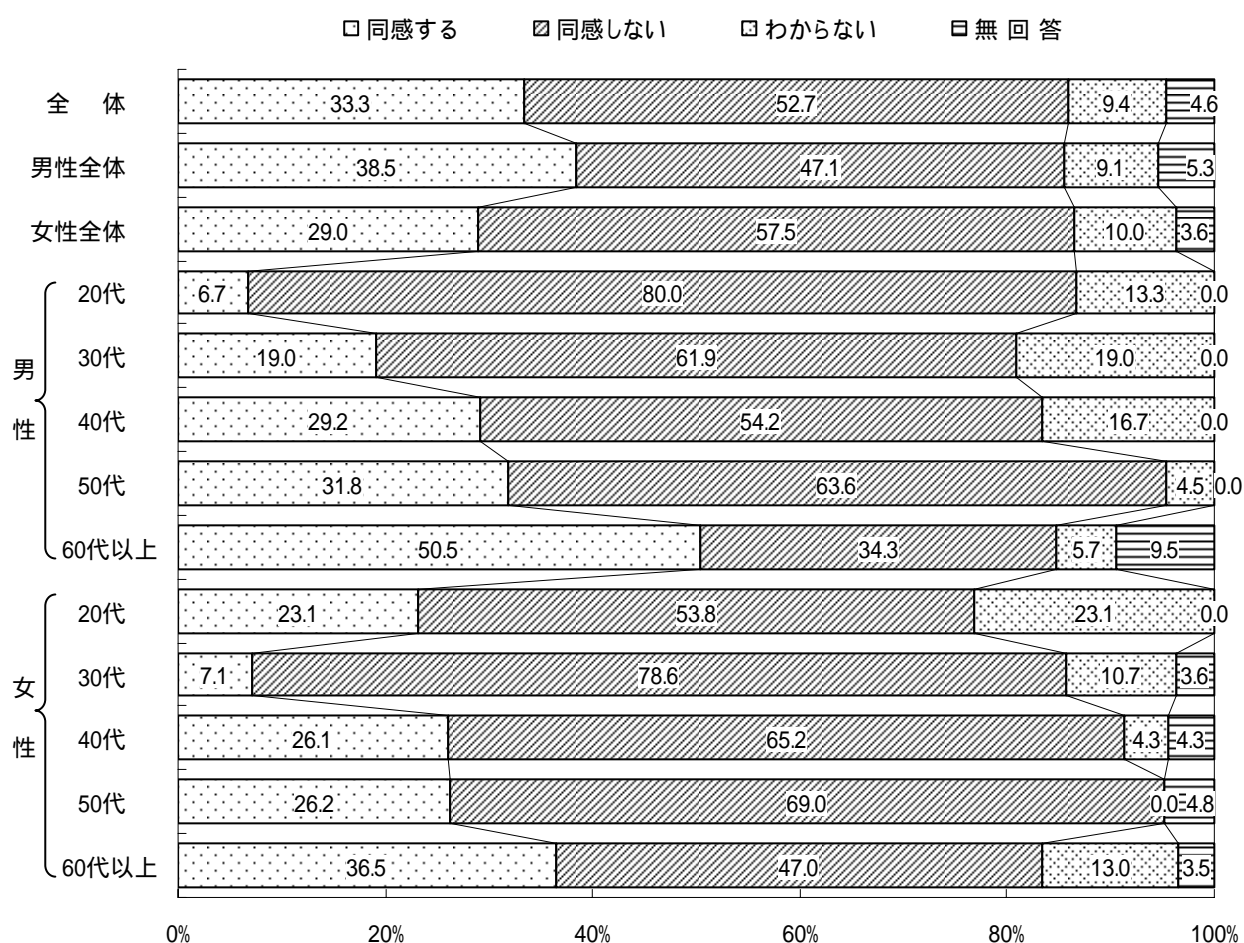


## ・調査結果

### 1. 男女平等意識・男女の役割分担等

#### <1> 「男は仕事，女は家庭」という考え方について

問2 昔から「男性は仕事優先，女性は家庭優先」という性別による役割分担の考え方がありますが，あなたはどのようにお考えですか。( は1つ)



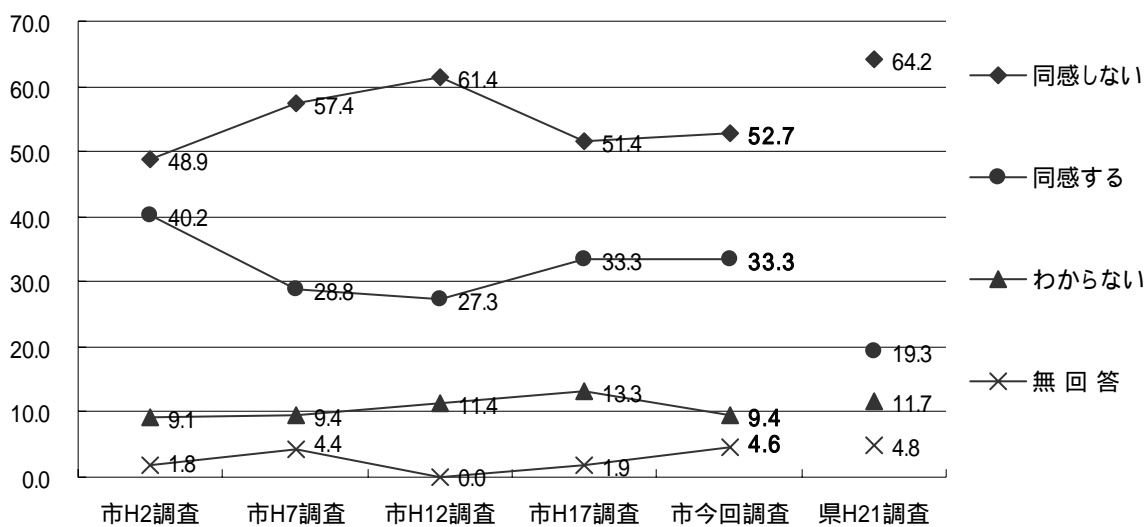
「男は仕事，女は家庭」という考え方について，「同感しない」とする女性全体は57.5%だが，男性全体は47.1%となっており，女性の方が10.4ポイント上回っている。

一方「同感する」は男性の方が9.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると，男性では20代で「同感しない」が80.0%と最も高く，年齢が上がるにつれて割合が下がっている。また，60代以上では半数が「同感する」としている。

女性の「同感しない」は30代の78.6%が最も高く，60代以上を除くすべての年代で半数を超えている。

【前回調査，県との比較】



「男は仕事，女は家庭」という考え方について，過去の調査と比較してみると，「同感する」が常に30%程度とあまり変化がない。

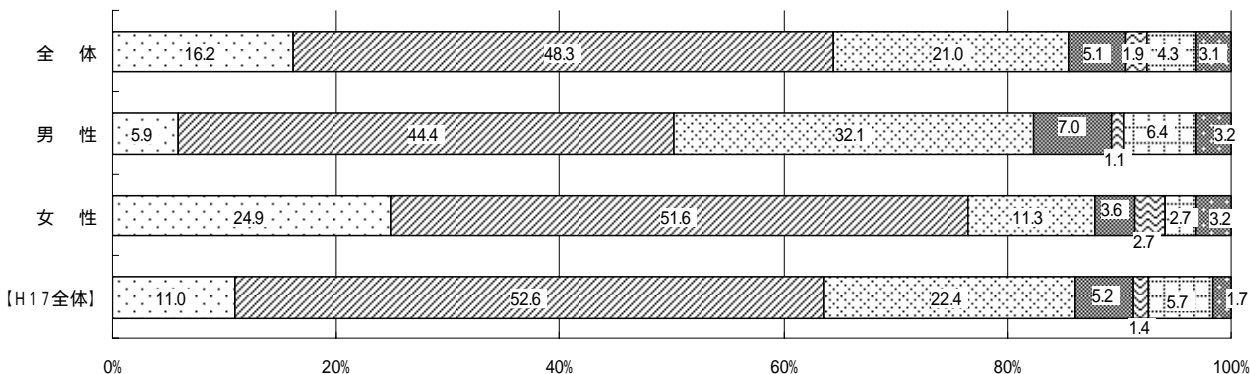
岡山県の調査と比べると，「同感しない」が11.5ポイント低く，本市において「男女共同」の意識が県全体より定着していないことがうかがえる。

## 2 各分野における男女の地位の平等意識について

問3 現在、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えに近いものをお答えください。( はそれぞれ1つ)

### (1) 家庭生活で

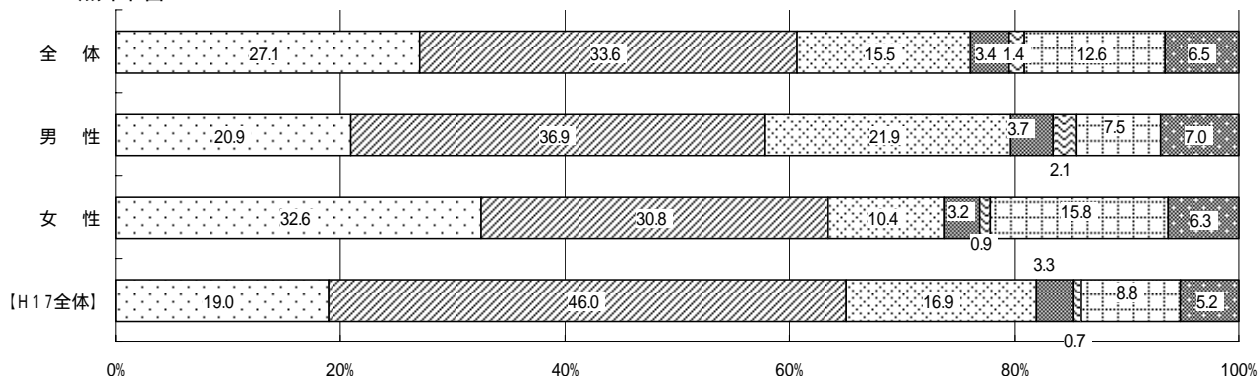
- 男性の方が優遇されている      ▣ どちらかといえば男性が優遇      □ 平等になっている
- どちらかといえば女性が優遇      ▣ 女性の方が優遇されている      □ わからない
- 無回答



男性も女性も「どちらかといえば男性が優遇されている」のポイントが最も高いが、「平等になっている」は男性が32.1%と女性より20.8ポイント高くなっていることから、男性と女性との意識の違いがはっきり表れている。

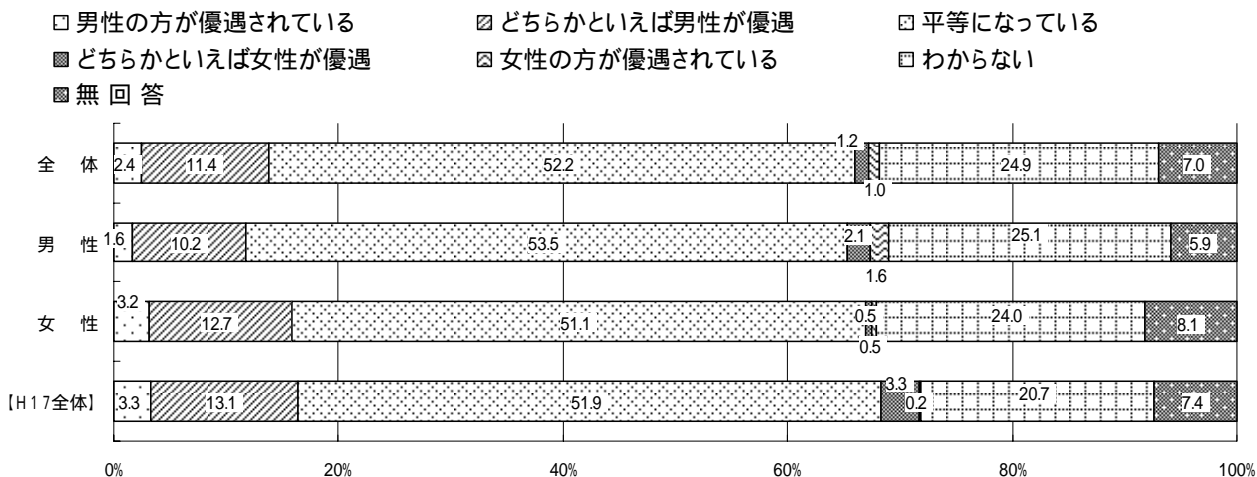
### (2) 職場で

- 男性の方が優遇されている      ▣ どちらかといえば男性が優遇      □ 平等になっている
- どちらかといえば女性が優遇      ▣ 女性の方が優遇されている      □ わからない
- 無回答



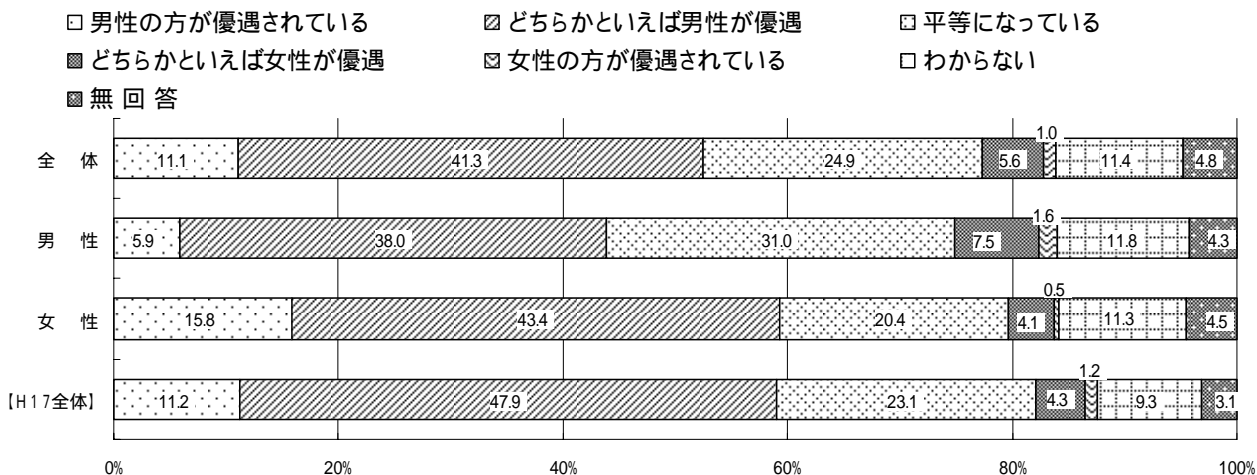
全体では「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』(以下『男性優遇』と表記する。)が60%を超えており、H17年の調査と比べても変化がないことから、職場における男女平等のための環境改善には問題を残している。

(3) 学校教育の場で



男性、女性とも「平等になっている」が5割を超えており、学校教育の場では男女共同参画の意識が浸透していると思われる。

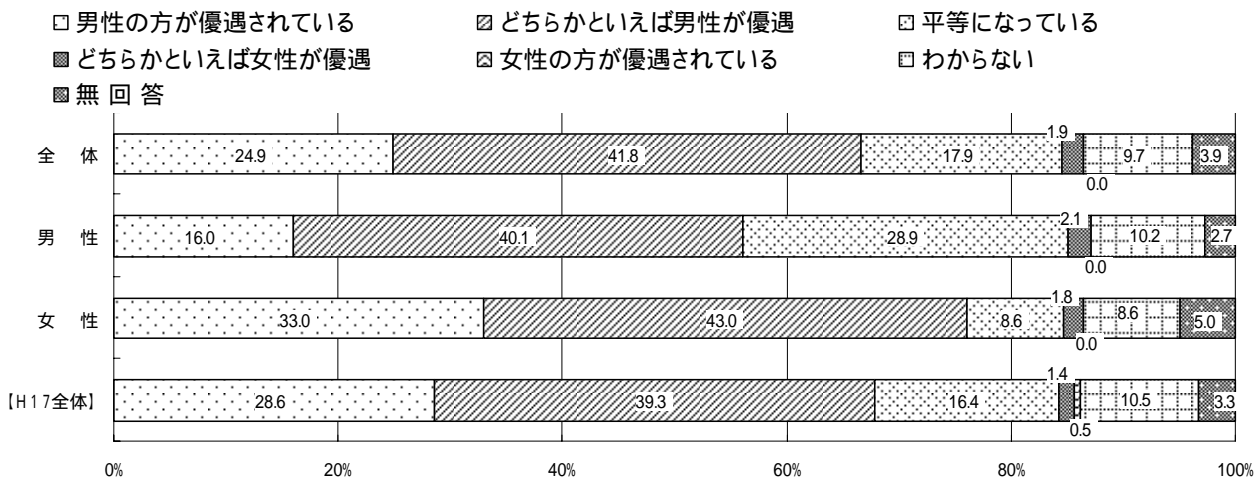
(4) 地域社会で



男性も女性も「どちらかといえば男性が優遇されている」のポイントが最も高いが、「平等になっている」は男性が31.0%と女性より10.6ポイント高くなっている。

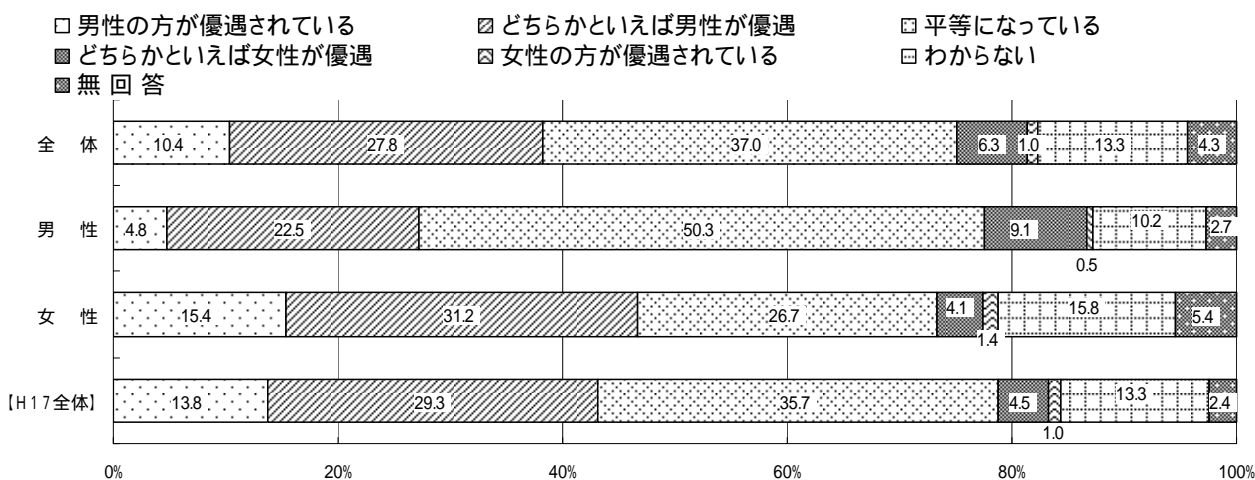
前回調査と比較してみると、『男性優遇』が59.1%から6.7ポイント下回った52.4%となっている。

(5) 政治の場で



『男性優遇』は男性で56.1%、女性で76%と男性が優遇されていると感じている人の割合が最も高い。「平等になっている」は男性が28.9%、女性が8.6%で男性が20.3ポイント高くなっている。このことから男性と女性に意識の違いがあることがはっきりと表れている。

(6) 法律や制度の上で

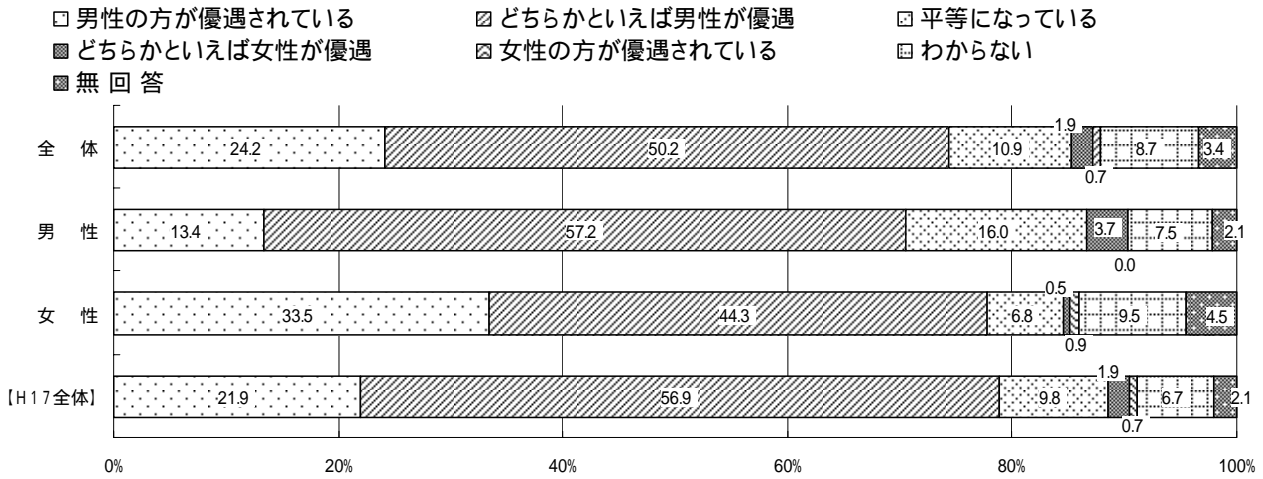


男性は「平等になっている」が50.3%と最も高い。一方、女性では「男性の方が優遇されている」で10.6ポイント、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」で8.7ポイントと、それぞれ男性より上回っている。

前回調査と比べてみると、『男性優遇』が43.1%から4.9ポイント下回った38.2%となっている。

しかし、この項目においても、男性の半数が「平等になっている」と回答しているが、女性はその半分しか「平等になっている」と回答していない。男性と女性の考え方に大きな差がみられる。

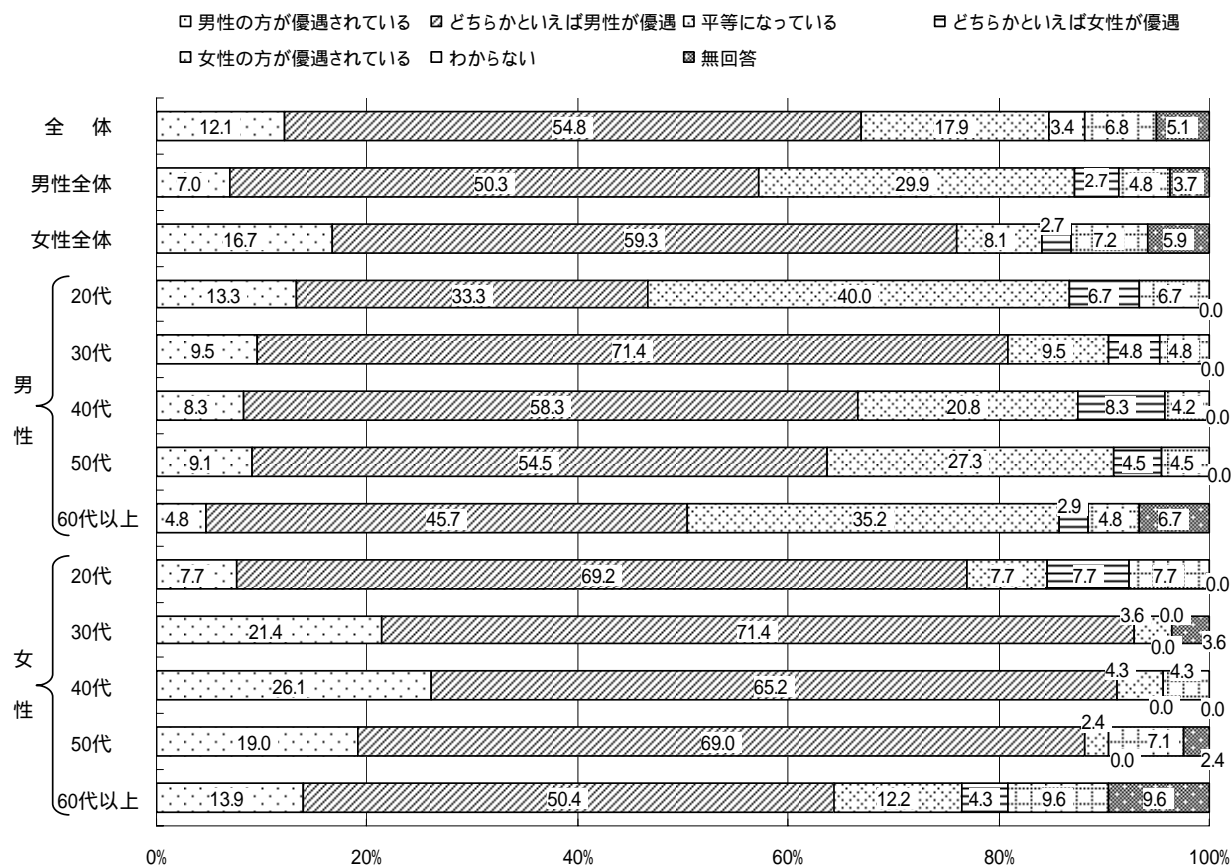
(7) 社会通念・慣習・しきたりで



『男性優遇』の割合は男性，女性とも70%を超えており，慣習やしきたりを変えることはなかなか浸透しないという結果となっている。



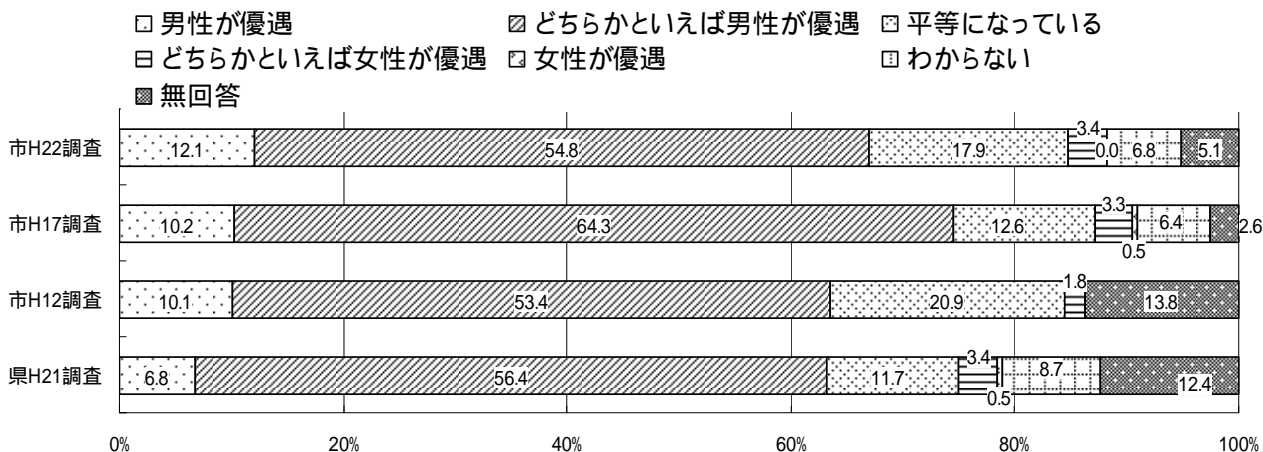
(1)～(7)をふまえて、総合的にみた場合



総合的に見た場合、男性も女性も「どちらかといえば男性が優遇されている」が50%を超えている。

性・年齢別に見ると男性は20代で「平等になっている」が40%と最も高いが、その他の年代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が高くなっている。女性では『男性優遇』が60代以上を除いた、すべての年代で70%を超えており、30代では92.8%と最も高くなっている。

【前回調査，県との比較】



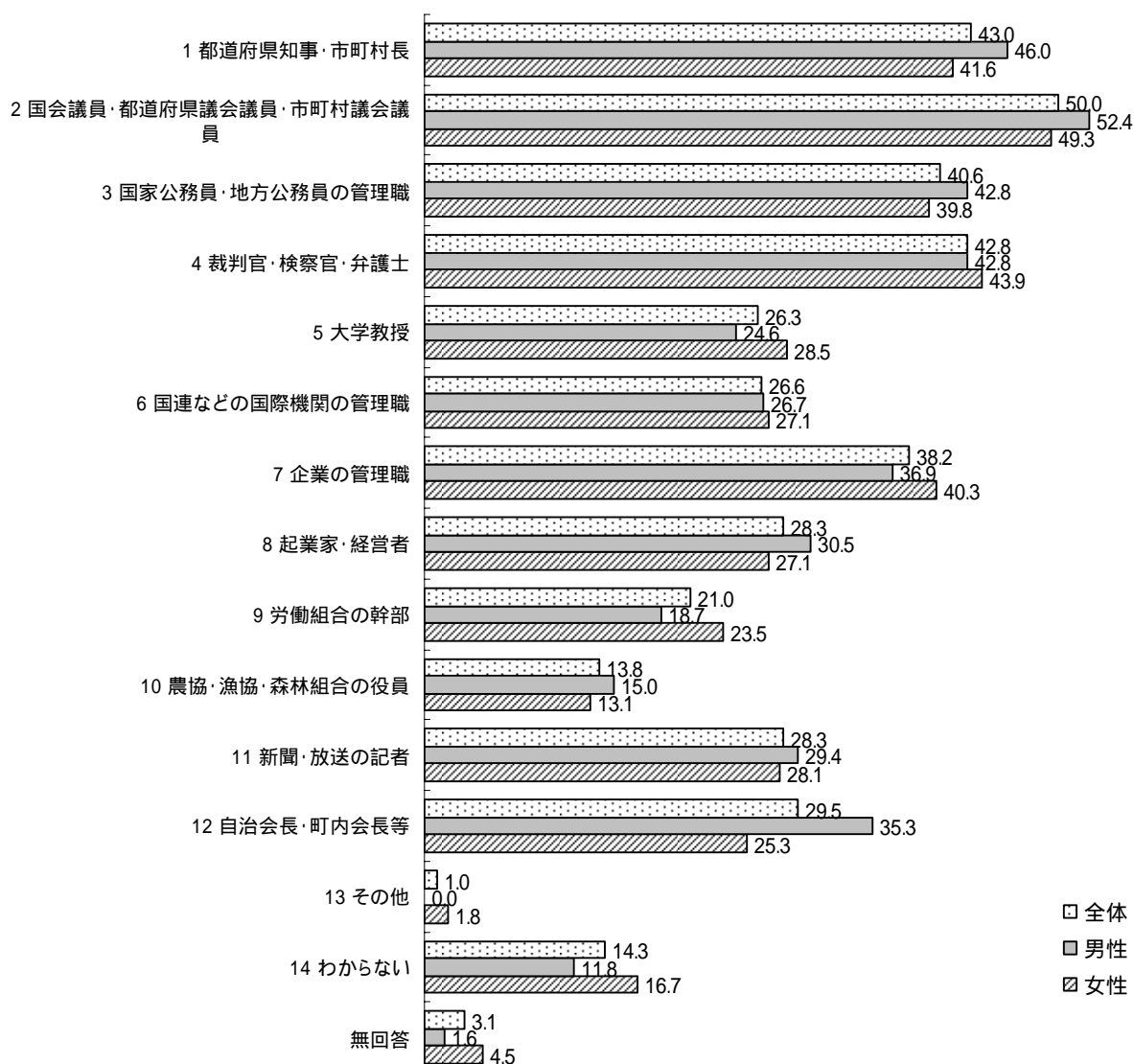
市 H17 調査と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 9.5 ポイント低くなり、「平等になっている」が 5.3 ポイント高くなっている。

県 H21 調査と比較すると、「男性が優遇されている」が 5.3 ポイント高くなっている。一方で「平等になっている」が 6.2 ポイント高くなっている。

この比較によると、男性が優遇されていると考える人が多いことに変わりはないが、「平等になっている」ということについて、県 H21 調査と本市とを比較すると、過去の調査すべてで本市が上回っている。男女平等の意識が県全体より浸透していると考えられる。

### 3 今後女性が増えるのが望ましい役職について

問4 次にあげるような職業や政策・方針の決定にかかわる役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うものをすべてお答えください。(はいいくつでも)



今後、女性が増える方がよいと思う職業について、「2 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が50.0%と最も高く、次いで「1 都道府県知事・市町村長」(43.0%)、「4 裁判官・検察官・弁護士」(42.8%)、「3 国家公務員・地方公務員の管理職」(40.6%)、「7 企業の管理職」(38.2%)の順となっている。

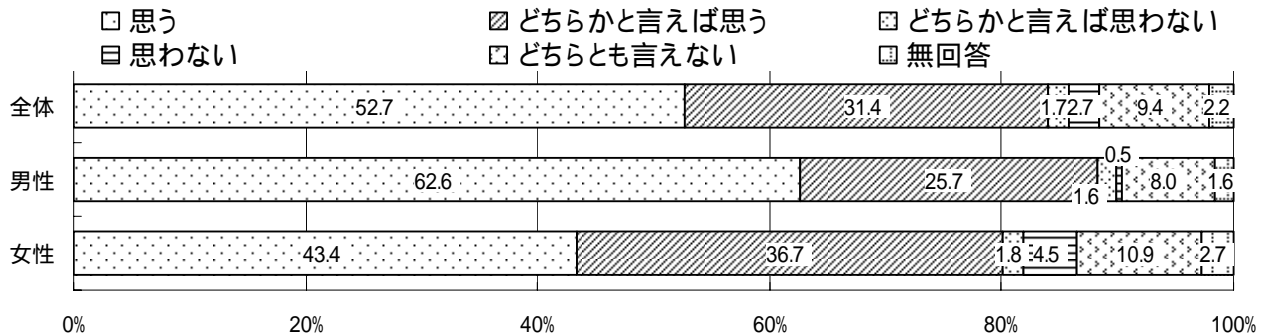
性別に見ると、男女とも「2 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も多くなっている。

## 2. 結婚観・家庭生活

### 1 結婚・家庭・離婚について

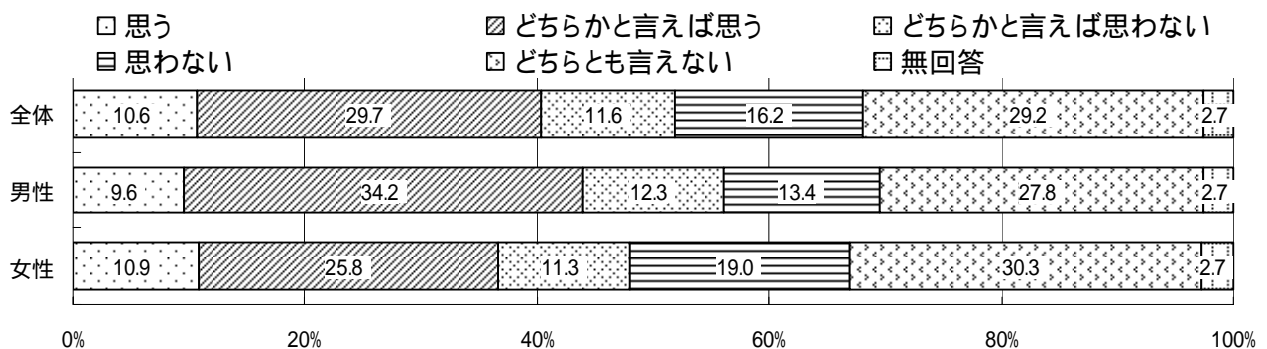
問5 結婚・離婚・子どもを持つことなどについて、あなたの意見に最も近いものを【1】から【7】のそれぞれにお答えください。( はそれぞれ1つ)

#### (1) 人は結婚する方がよい



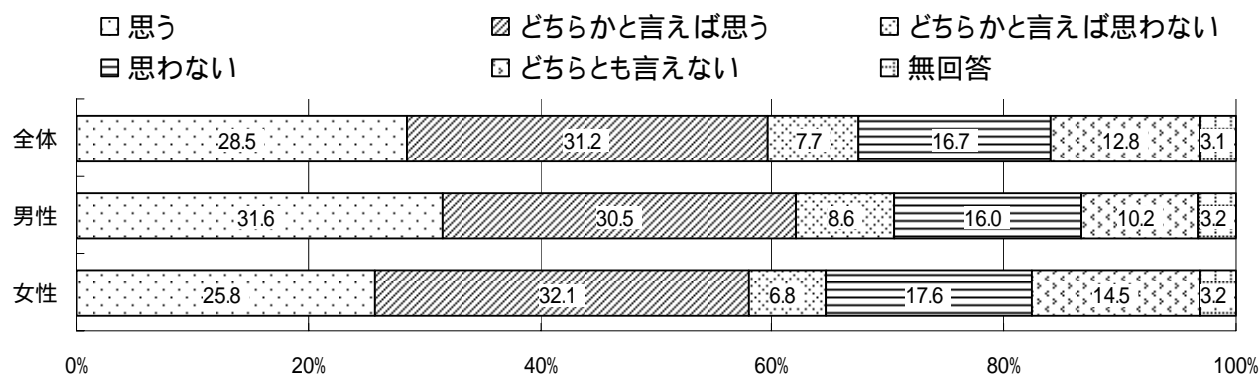
男女とも「思ふ」が最も高く、男性62.6%、女性43.4%となっている。「思ふ」と「どちらかといえば思ふ」をあわせた『そう思ふ』(以下『そう思ふ』と表記する。)では、男女とも8割を超えており、男性、女性とも結婚することを望んでいると考えられる。

#### (2) 女性の幸福は結婚にある



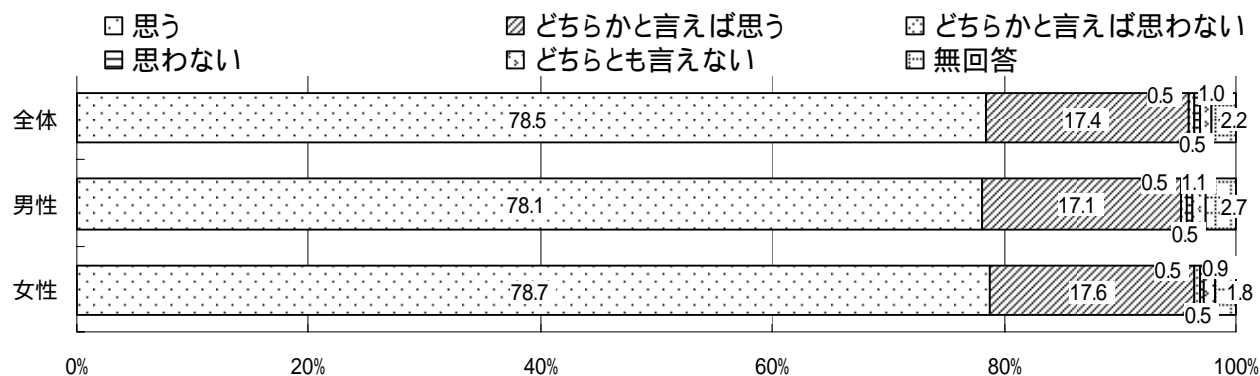
『そう思ふ』は男性43.8%、女性36.7%で男性の方が7.1ポイント高くなっている。「思わない」と「どちらかといえば思わない」をあわせた『そう思わない』(以下『そう思わない』と表記する。)は男性25.7%、女性30.3%で女性の方が4.6ポイント高くなっている。

(3) 男性は結婚し、家庭をもって一人前と言える



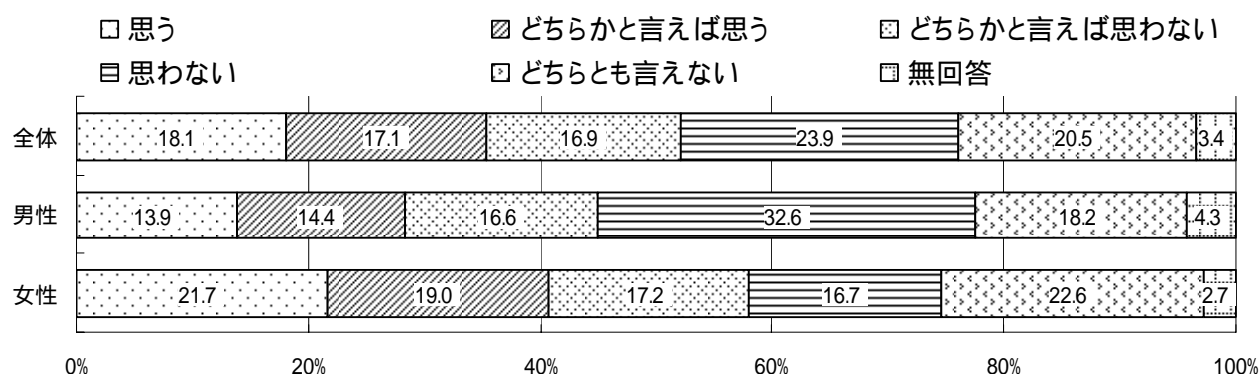
『そう思う』では男性62.1%、女性57.9%で男性が4.2ポイント高くなっている。『そう思わない』では男性24.6%、女性24.4%でほぼ同率であり、男女間での考え方はほぼ同じと考えられる。

(4) 夫も妻も家庭責任は共にもつべきである



男女とも「思う」が最も多く、約80%となっている。『そう思う』では、男性が95.2%、女性が96.3%と、ともに90%を超えている。

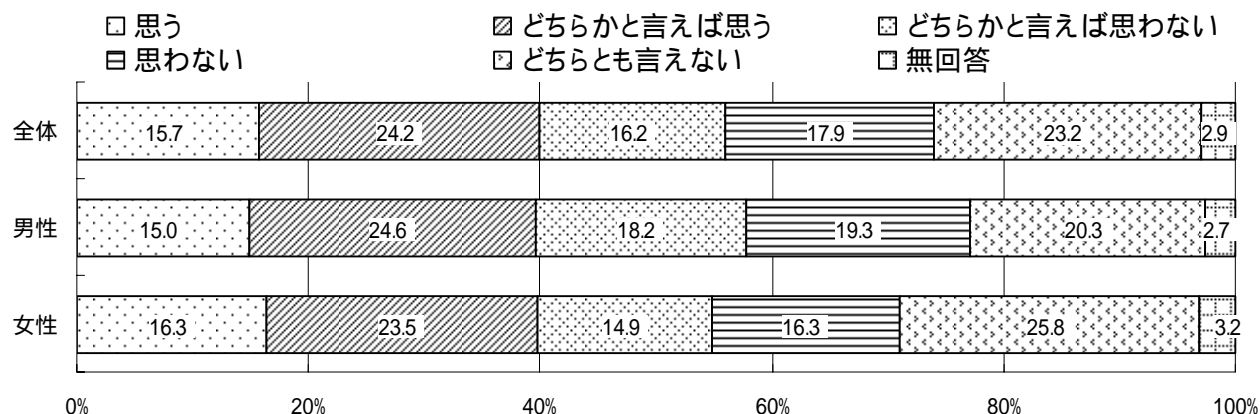
(5) 結婚しても必ず子どもをもつ必要はない



男性は「思わない」が32.6%と最も高く、女性は「思う」が21.7%と最も高い。男性では『そう思わない』が『そう思う』20.9ポイント高く、女性では『そう思う』が『そう思わない』より6.8ポイント高くなっている。

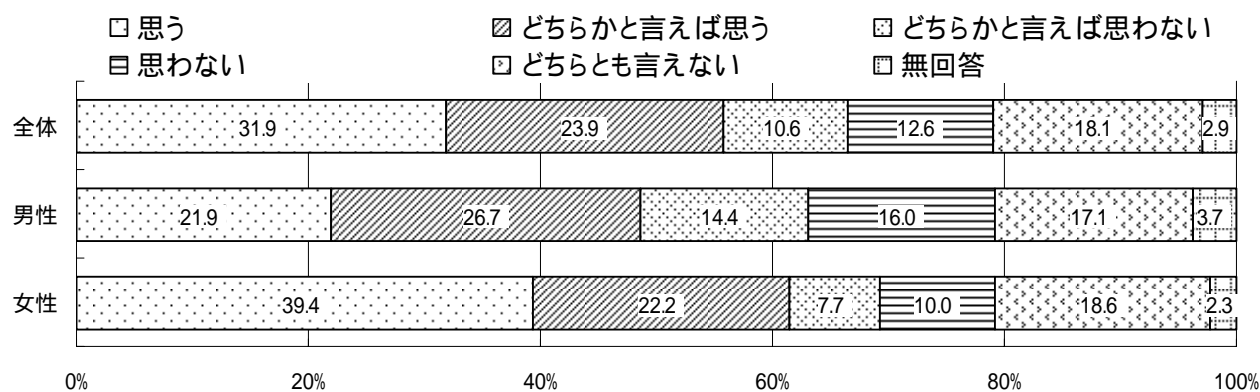
子どもを育てるべきと考える人が35%程度となっており、少子化の原因の1つではないかと考える。

( 6 ) 結婚しても相手に満足できない時は離婚すればよい



『そう思う』は男女とも約40%でほぼ同数であるが、『そう思わない』は男性37.5%、女性31.2%と男性の方が6.3ポイント高くなっており、離婚率が高くなっている現状が現れている。

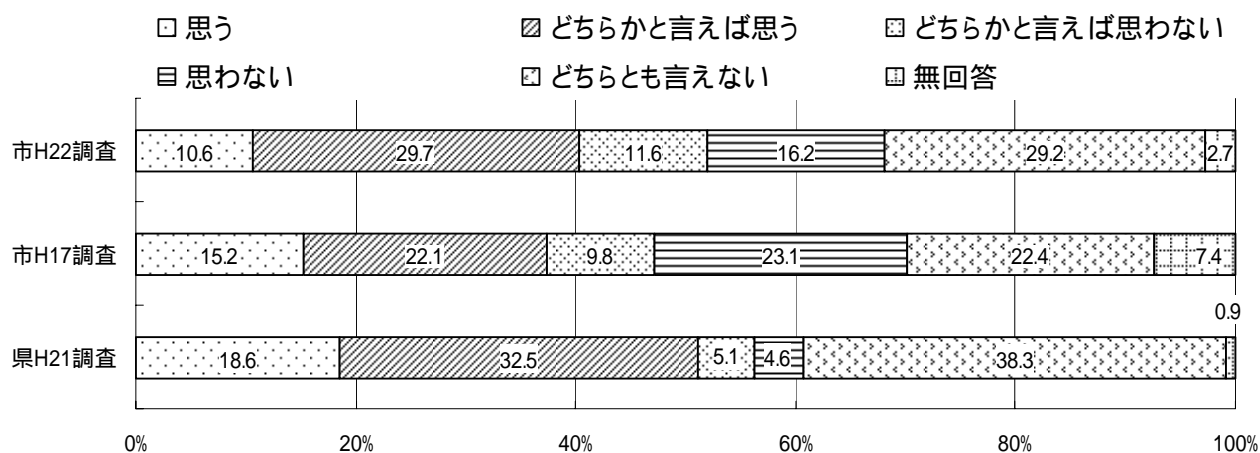
( 7 ) 一般に今の社会では、離婚すると、女性の方が不利である



「思う」では女性39.4%、男性21.9%と女性の方が17.5ポイント高くなっている。『そう思う』についても女性61.6%、男性48.6%と女性の方が13ポイント高くなっている。女性のおかれている現状を、女性の側から見た結果が顕著に出ている。

【前回調査，県との比較】

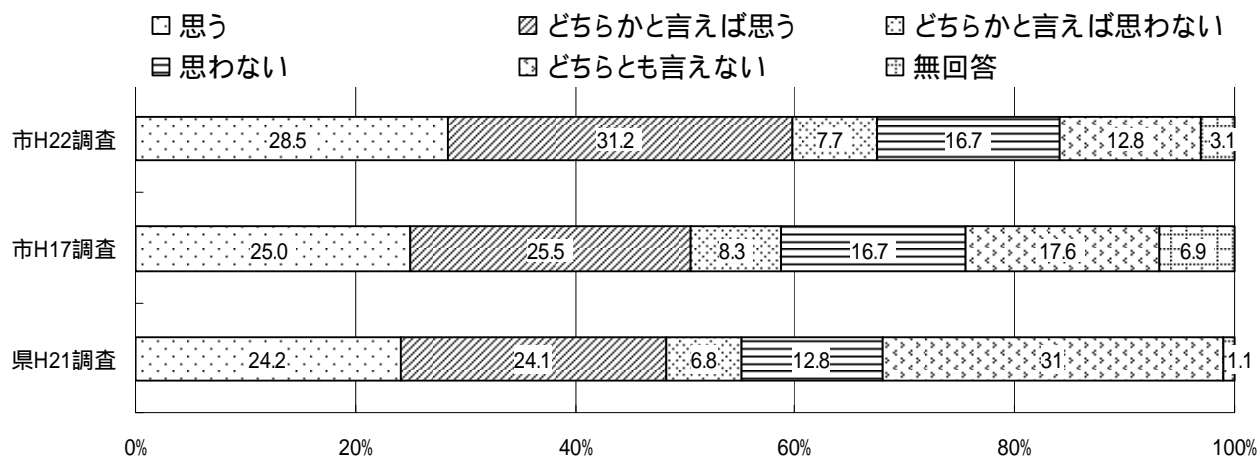
女性の幸福は結婚にある



前回調査と比較して『そう思う』は40.3%で3ポイント上回り，『そう思わない』は27.8%で5.1ポイント下回っている。

岡山県の調査と比較して『そう思う』は10.8ポイント下回り，『そう思わない』は18.1ポイント上回っている。

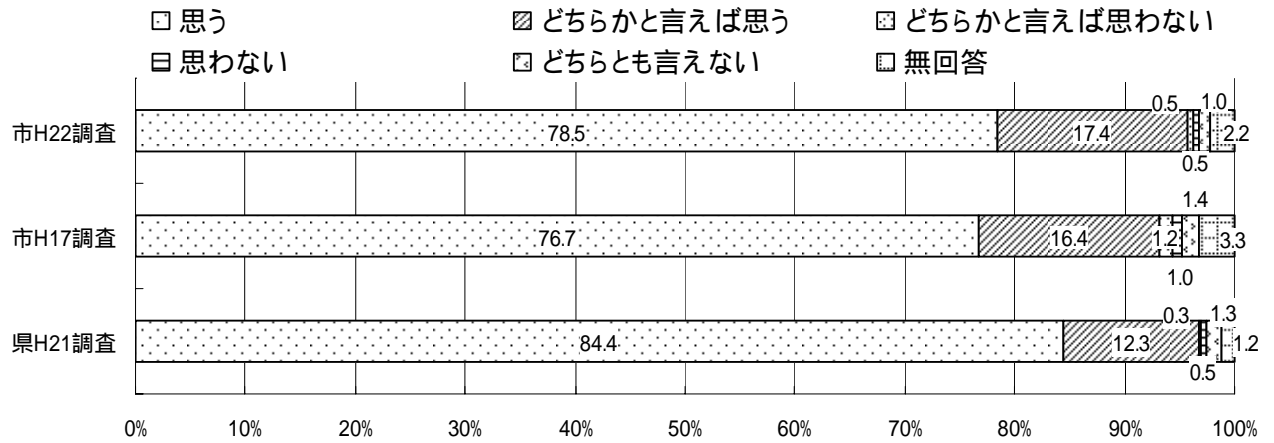
男性は結婚し，家庭を持って一人前と言える



前回調査と比較して『そう思う』は59.7%で9.2ポイント上回り，『そう思わない』は24.4%で0.6ポイント下回っている。

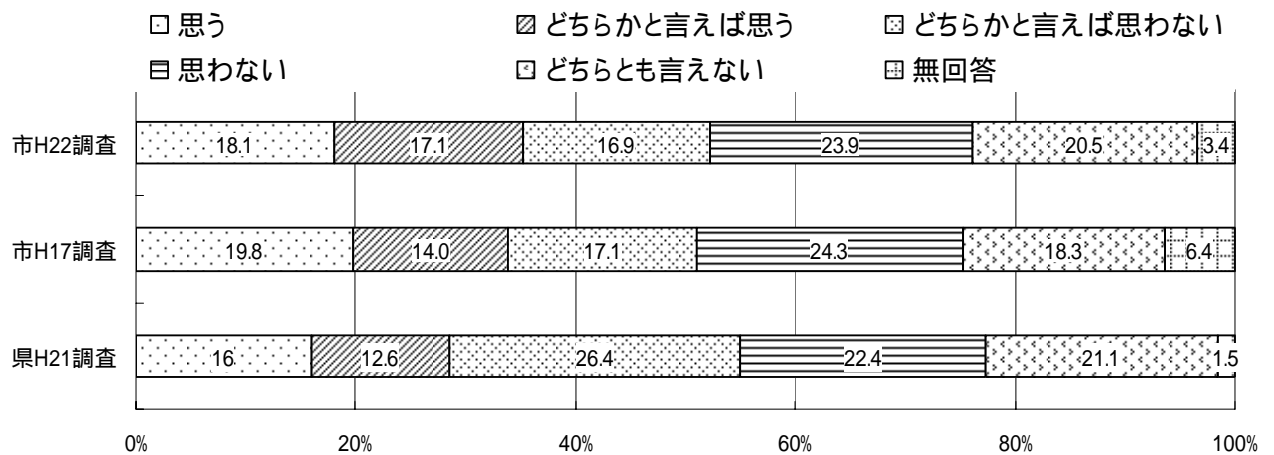
岡山県の調査と比較して『そう思う』は11.4ポイント，『そう思わない』は4.8ポイント上回っている。

夫も妻も家庭責任は共に持つべきである



前回及び岡山県の調査と比較して、同じ傾向である。

結婚しても必ず子どもをもつ必要はない

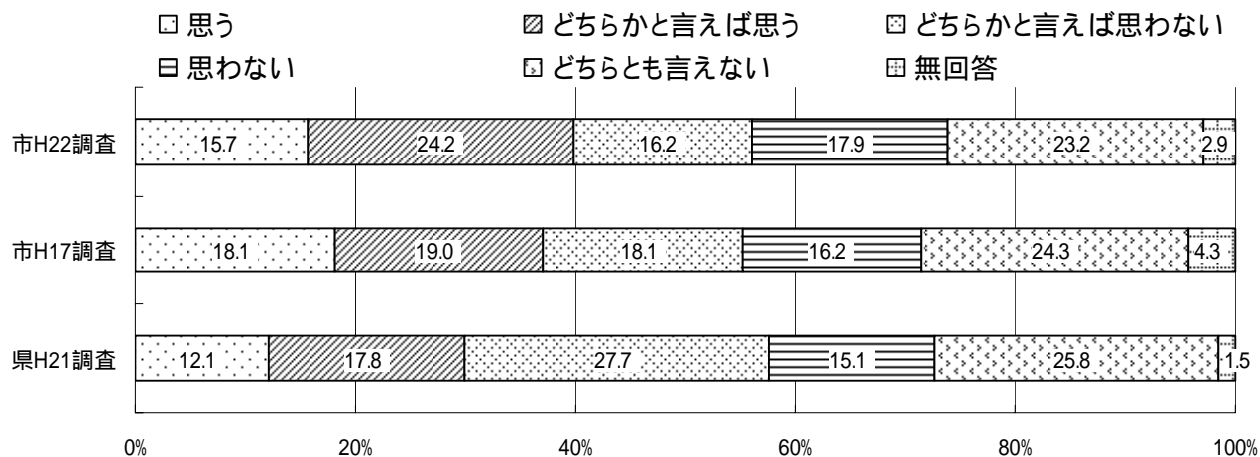


前回の調査と比較すると、ほぼ同じ傾向である。

岡山県の調査と比較すると、『そう思う』は35.2%で6.6ポイント上回り、『そう思わない』は40.8%で8ポイント下回っている。



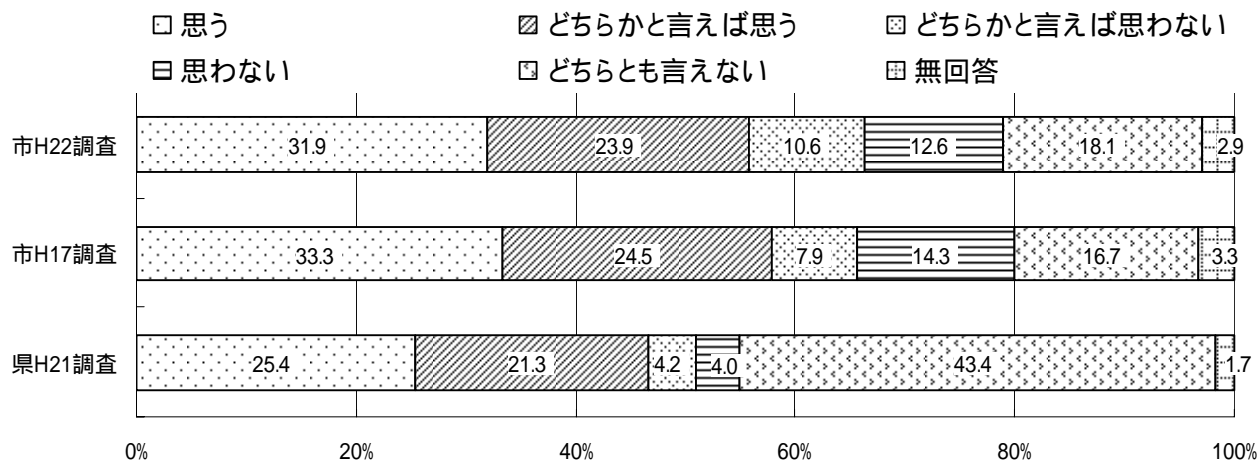
結婚しても相手に満足できない時は離婚すればよい



前回の調査と比較すると、ほぼ同じ傾向である。

岡山県の調査と比較すると『そう思う』は39.9%で10ポイント上回り、『そう思わない』は34.1%で8.7ポイント下回っている。

一般に今の社会では、離婚すると、女性の方が不利である



前回の調査と比較すると、ほぼ同じ傾向である。

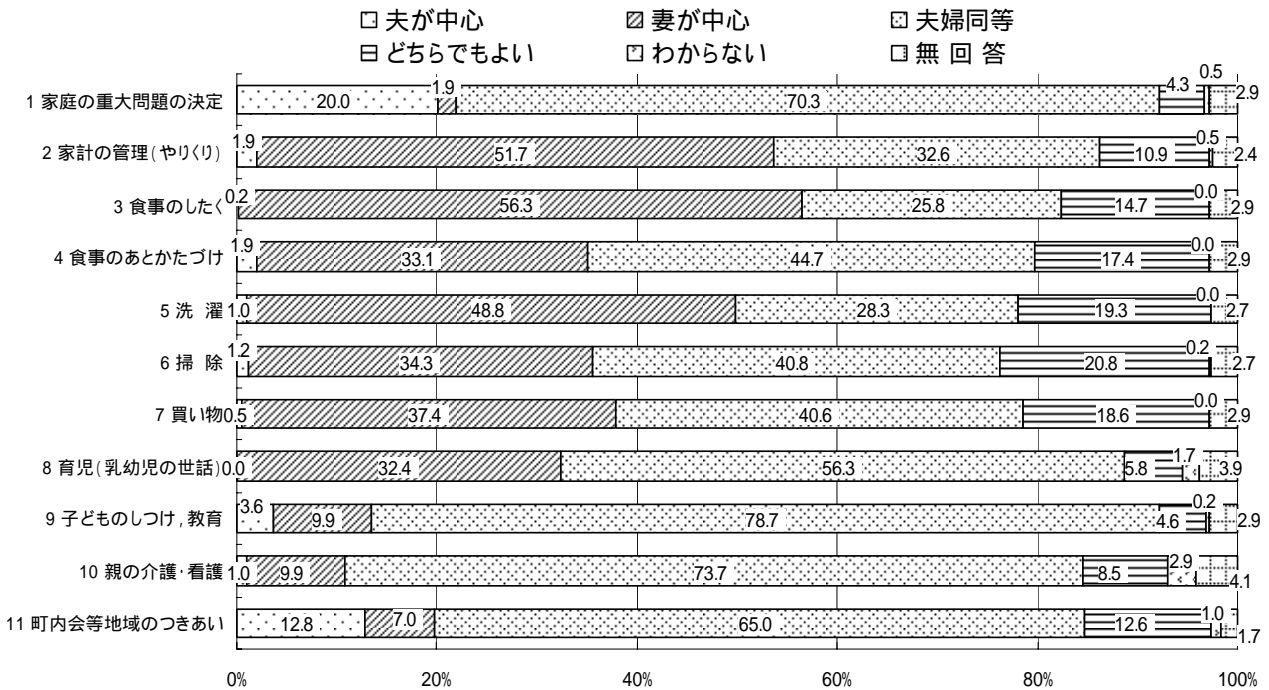
岡山県の調査との比較は、県調査の「どちらとも言えない」が43.4%のため比較は困難である。

## 2 家庭への関わり方について

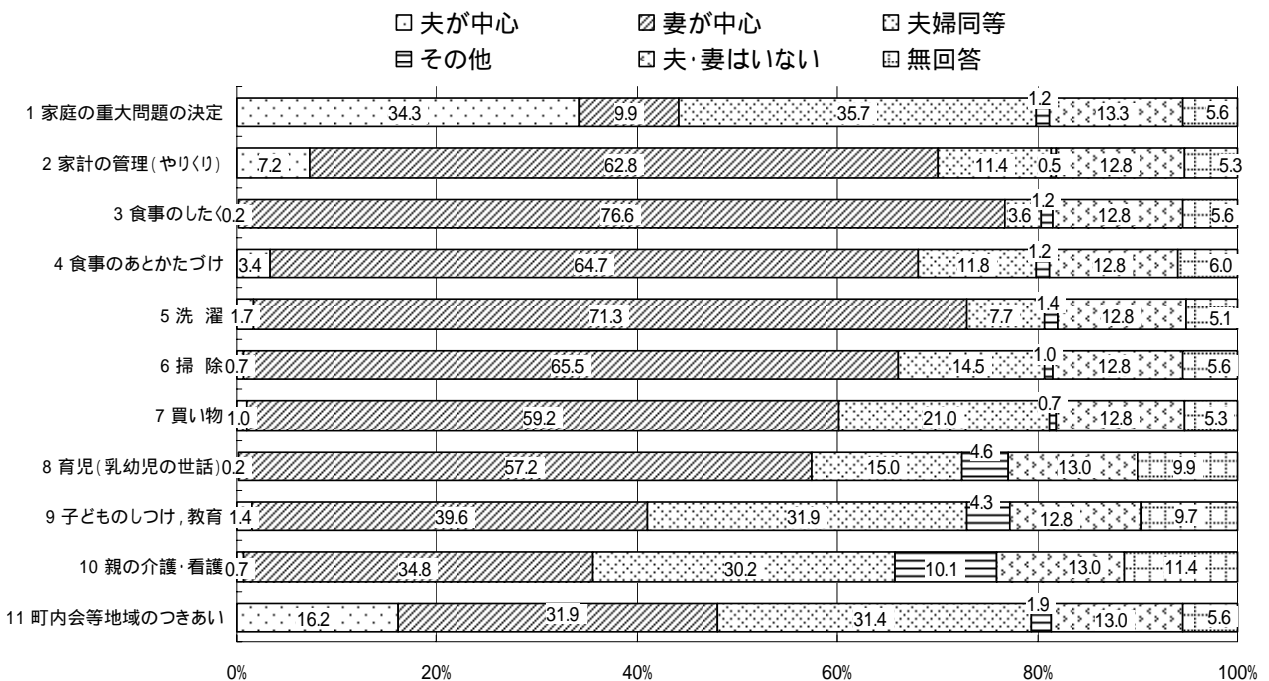
問6 家庭への関わり方について、どうあれば良いと思いますか。また、実際にはどのようなになっていますか。【1】から【11】のそれぞれにお答えください。( は「考え方」と「実際」にそれぞれ1つずつ)

【全体】

考え方



実際

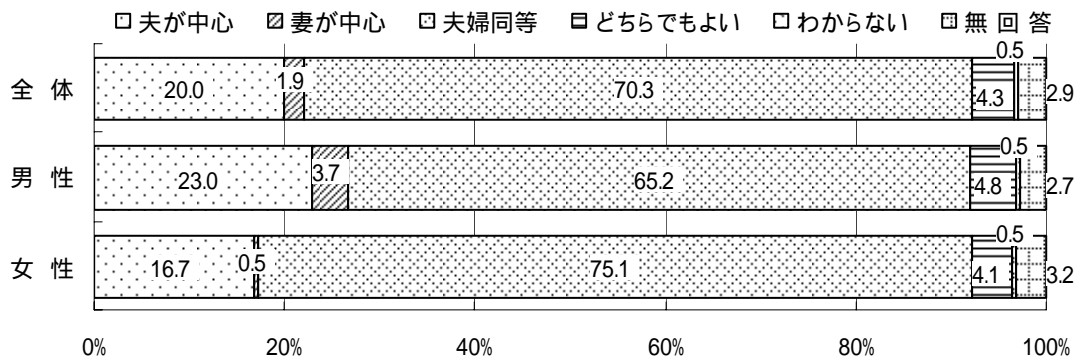


「考え方」で「夫婦同等」の割合が高いのは順に、「9 子どものしつけ、教育」、「10 親の介護・看護」、「1 家庭の重大問題の決定」で70%となっているが、「実際」では30%程度となっている。

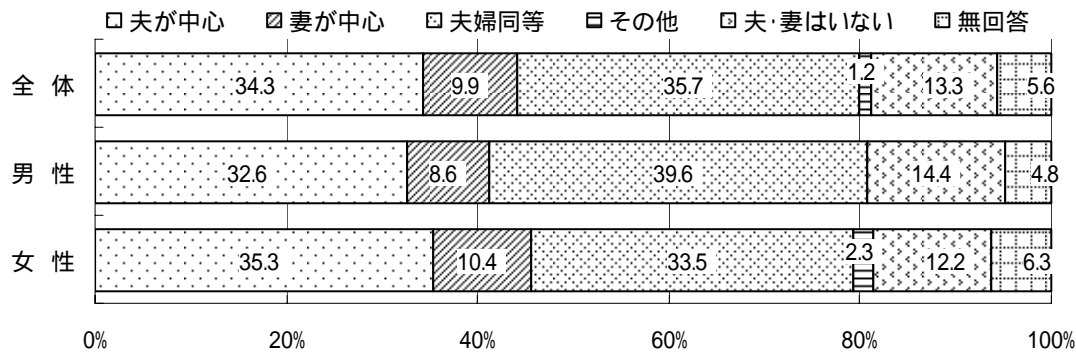
各項目とも、「実際」では「考え方」より、「妻が中心」の割合が高くなっており、家庭への関わり方は妻が中心となっているのが現状である。

【1】家庭の重大問題の決定

考え方



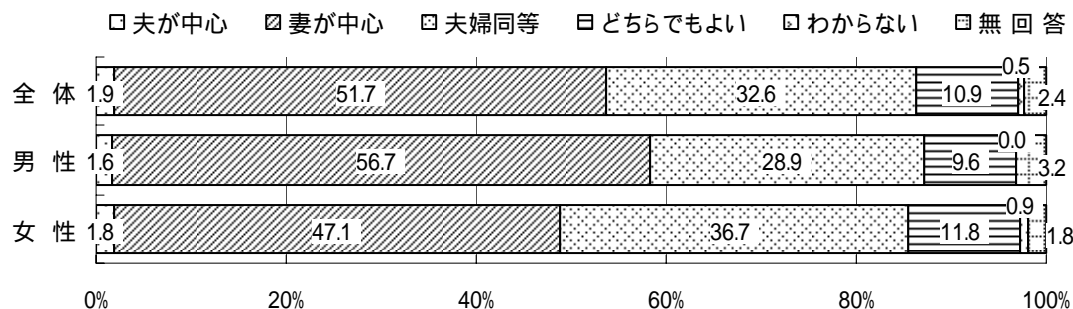
実際



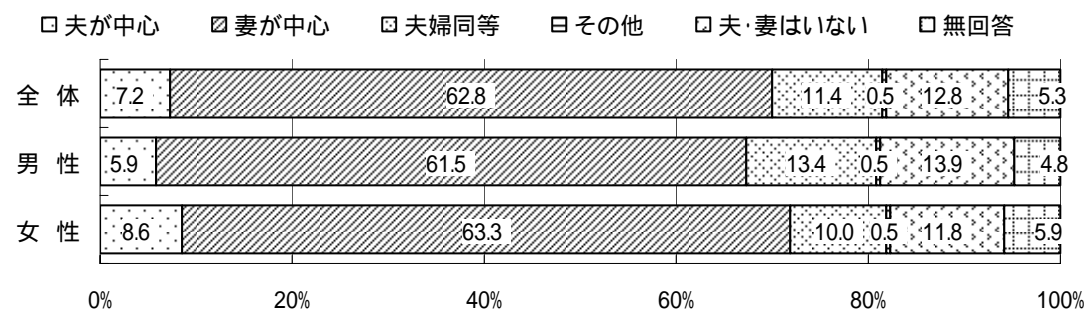
男女とも「考え方」では70%近くが「夫婦同等」であるが、「実際」では30~40%程度にとどまっている。

## 【2】家計の管理（やりくり）

### 考え方



### 実 際

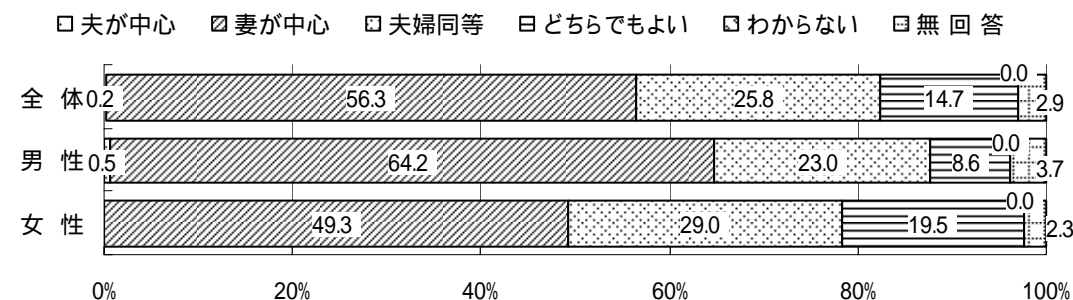


男女とも**考え方**も**実 際**も「妻が中心」が約5割と最も高い。

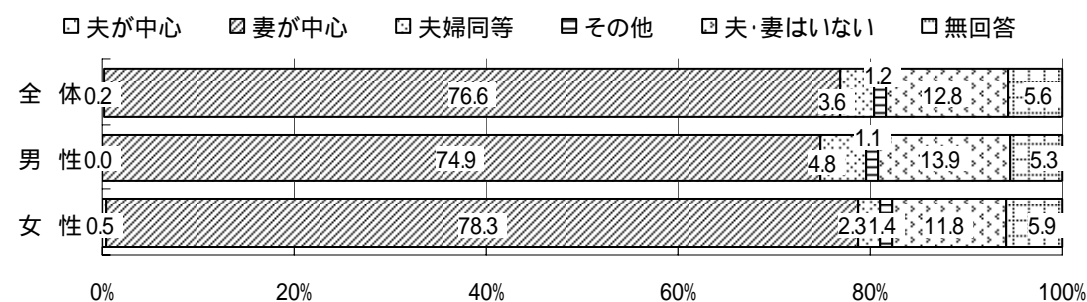
**考え方**では「夫婦同等」が男性28.9%、女性36.7%であるが、**実 際**は「妻が中心」が約60%となり、「夫婦同等」は男性13.4%、女性10.0%と**考え方**の半分以下となっている。

## 【3】食事のしたく

### 考え方



### 実 際

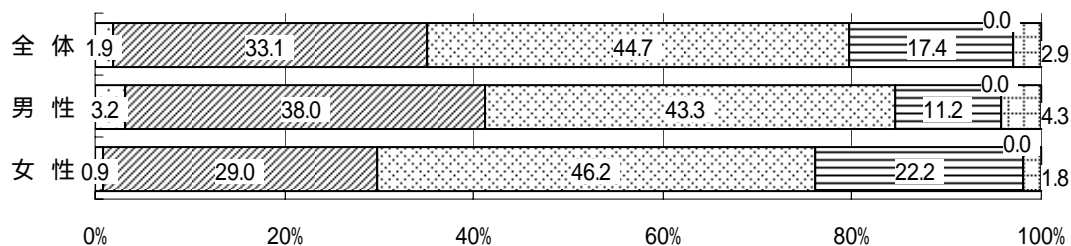


**考え方**では「夫婦同等」が20~30%程度ある一方で、**実 際**では70%以上が「妻が中心」となっている。

#### 【4】食事のあとかたづけ

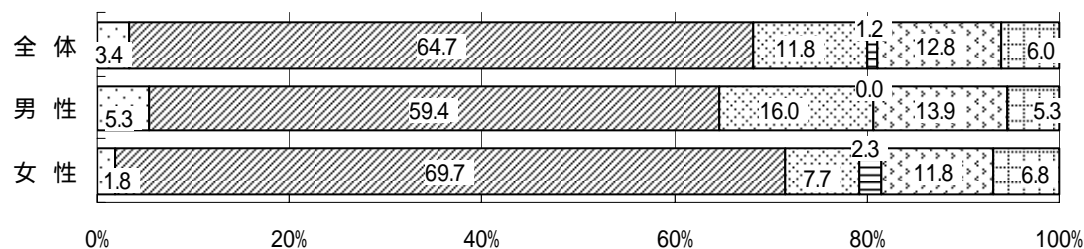
##### 考え方

□夫が中心 □妻が中心 □夫婦同等 □どちらでもよい □わからない □無回答



##### 実際

□夫が中心 □妻が中心 □夫婦同等 □その他 □夫・妻はいない □無回答

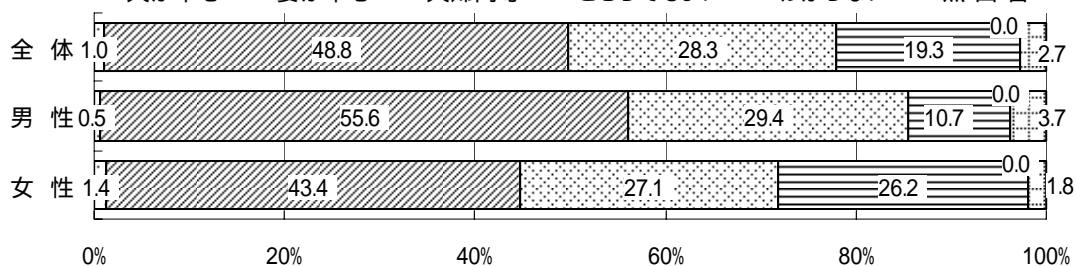


「考え方」では男女とも「夫婦同等」が40%を超え最も割合が高いが、「実際」では「妻が中心」が男性で60%、女性で70%程度となっている。

#### 【5】洗濯

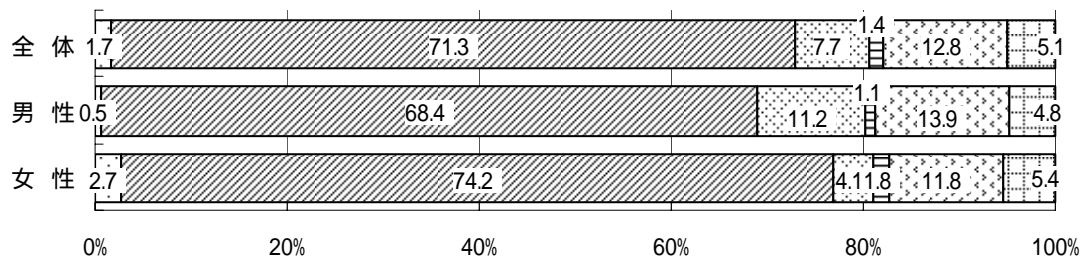
##### 考え方

□夫が中心 □妻が中心 □夫婦同等 □どちらでもよい □わからない □無回答



##### 実際

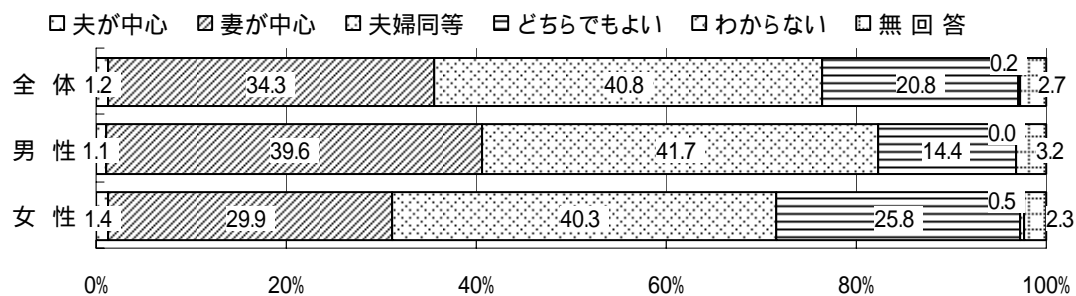
□夫が中心 □妻が中心 □夫婦同等 □その他 □夫・妻はいない □無回答



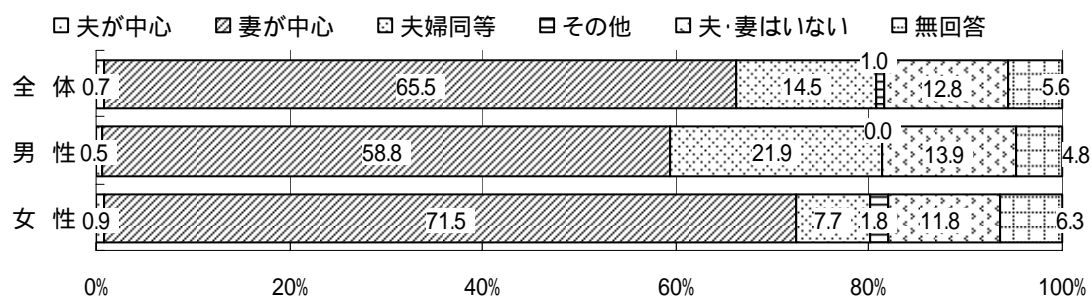
「考え方」では「夫婦同等」が約30%を占めているが、「実際」では「夫婦同等」が10%程度になっており、「妻が中心」が70%を占めている。

【6】掃除

考え方



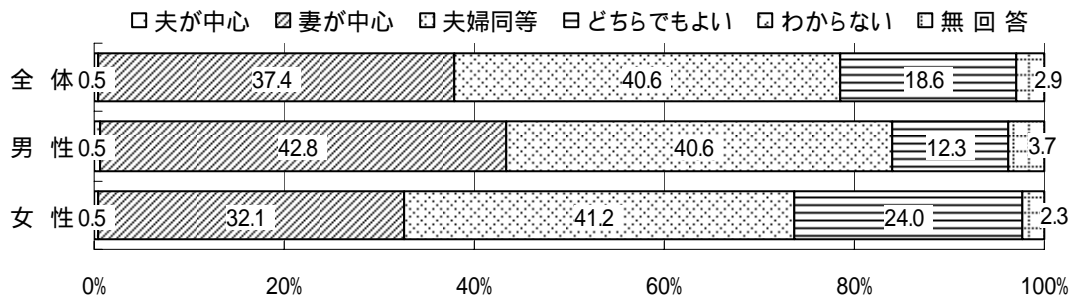
実際



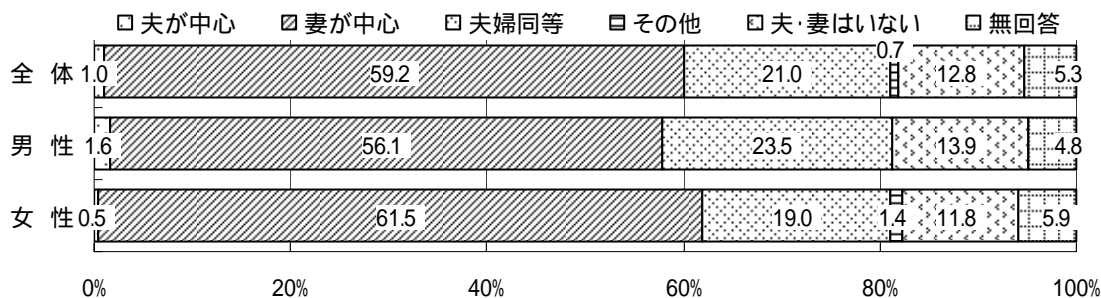
「考え方」では「夫婦同等」の割合が40%を超え、最も高いが、「実際」では「妻が中心」が男性で60%程度、女性で70%程度となっている。

【7】買い物

考え方



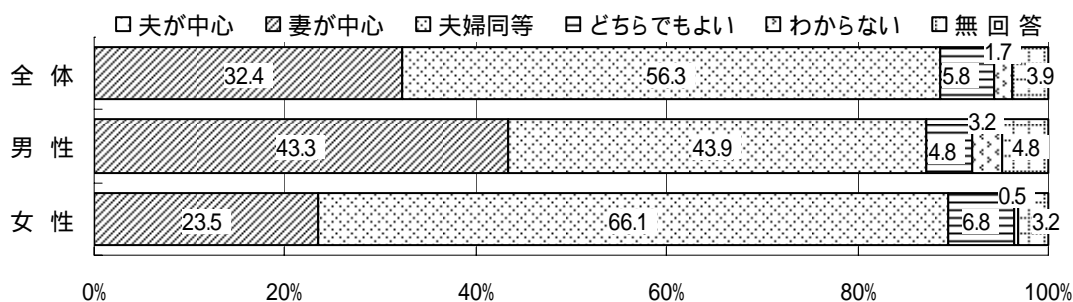
実際



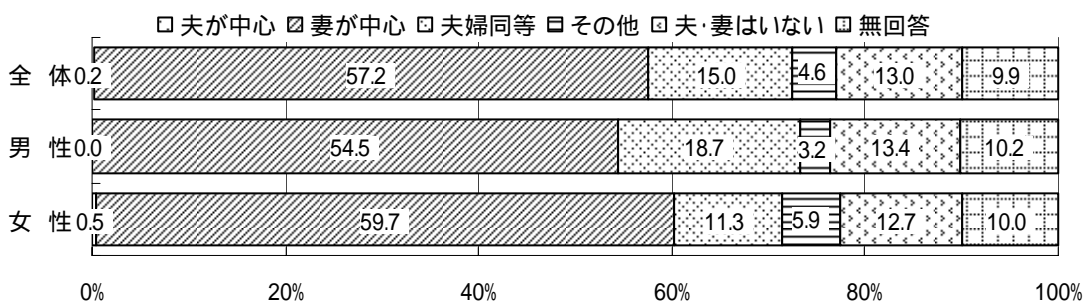
「夫婦同等」が「考え方」では40%を占めているが、「実際」では20%程度になっている。また、「実際」では「妻が中心」が最も割合が高く約60%となっている。

【8】育児（乳幼児の世話）

考え方



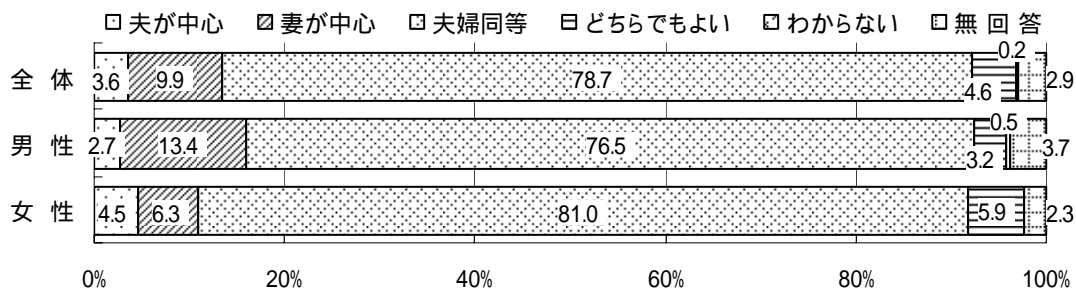
実際



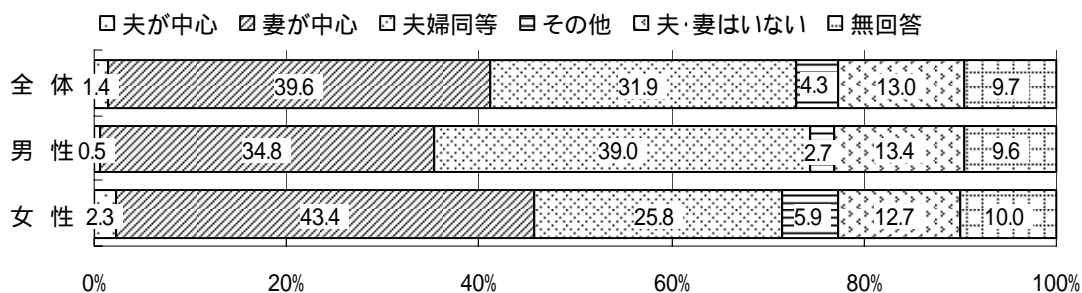
考え方では、男性の約40%、そして女性の約70%が「夫婦同等」としているが、実際では「夫婦同等」が約15%で、「妻が中心」が約60%を占めている。

【9】子どものしつけ、教育

考え方



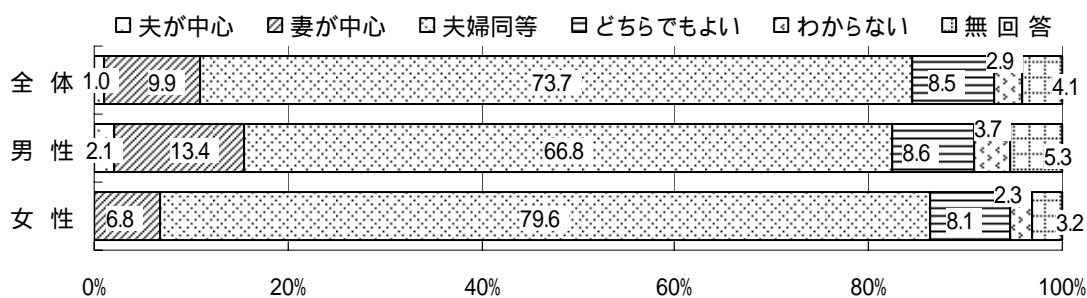
実際



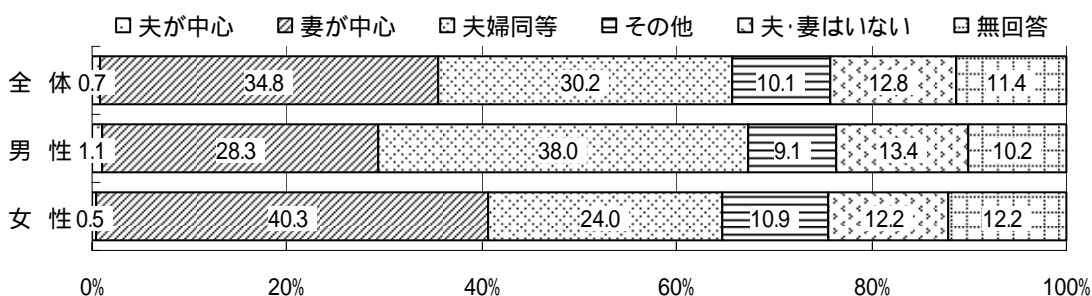
考え方では、男女とも80%程度が「夫婦同等」としているが、実際では「夫婦同等」が男性40%程度、女性25%程度となっている。

【10】親の介護・看護

考え方



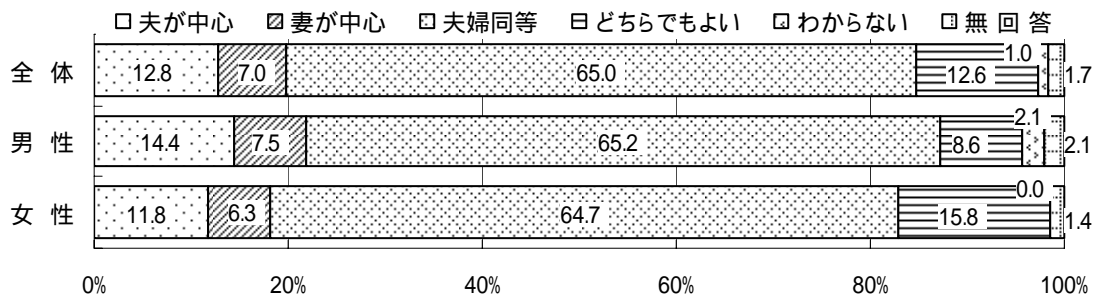
実際



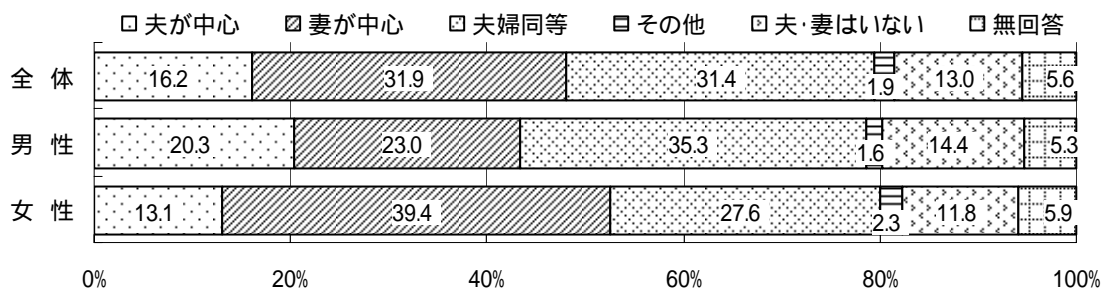
考え方では男性の70%程度、女性の80%程度が「夫婦同等」としているが、実際は「夫婦同等」が男性40%程度、女性25%程度となっている。

【11】町内会等地域のつきあい

考え方



実際



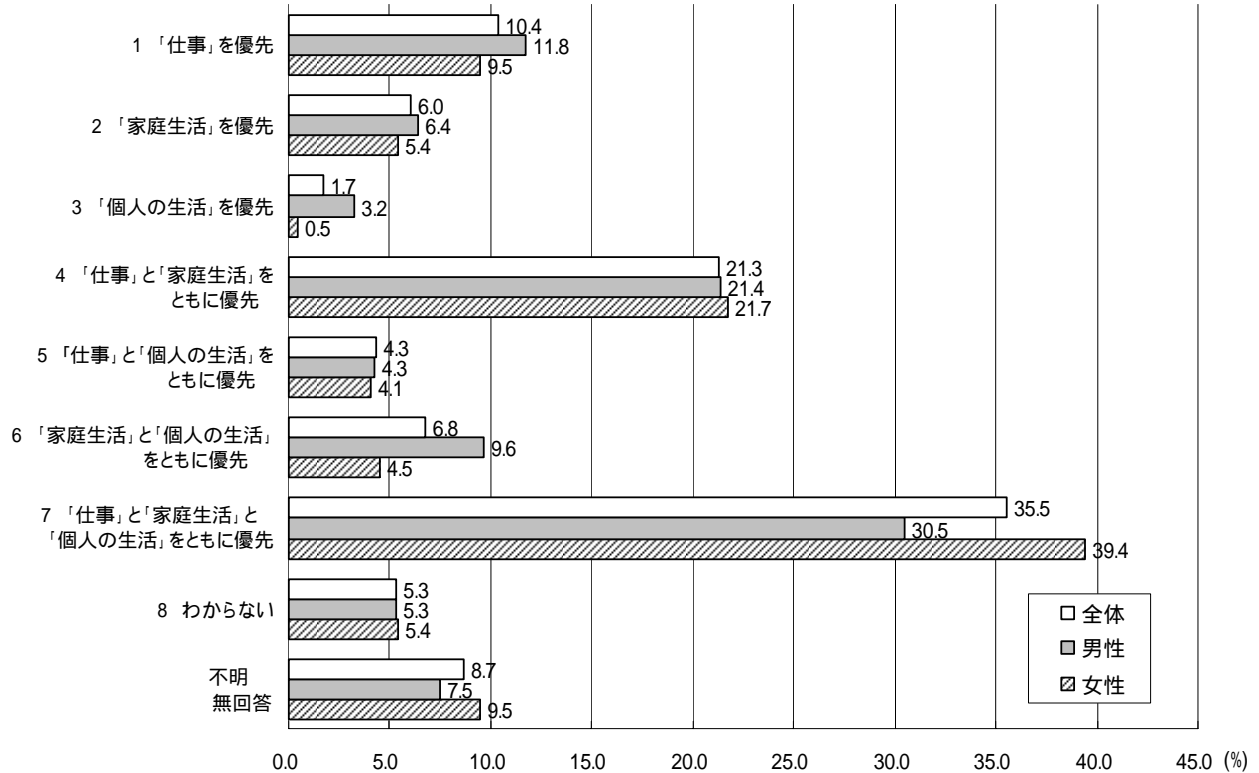
考え方では男女とも65%程度が「夫婦同等」としているが、実際は30%程度が「夫婦同等」で、男性は「夫が中心」と「妻が中心」が共に20%程度で、ほぼ同率となっており、女性は40%程度が「妻が中心」としている。



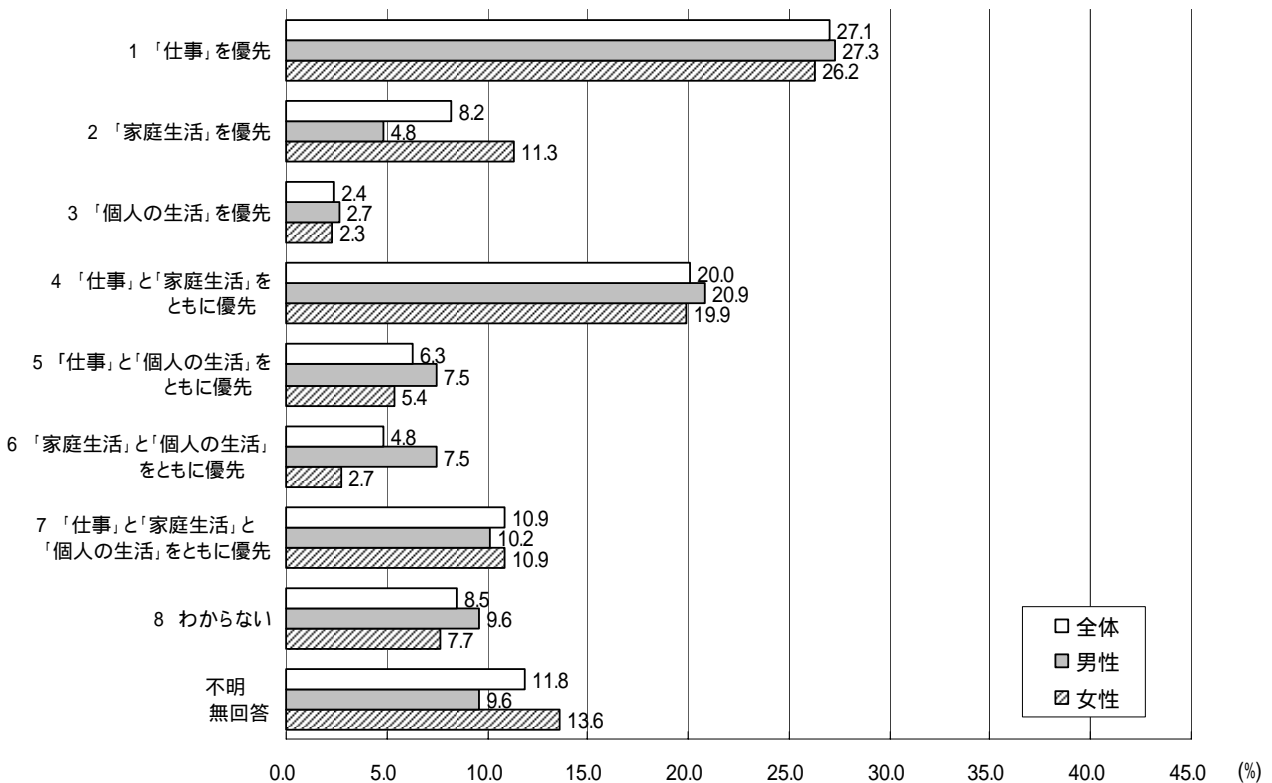
### 3 仕事と家庭生活について

問7 仕事と家庭，個人の生活（地域活動，学習，趣味，付き合い等）について，どうあれば良いと考えますか。また，実際の状況に最も近いものをお答えください。（は「考え方」と「実際」にそれぞれ1つずつ）

#### 考え方



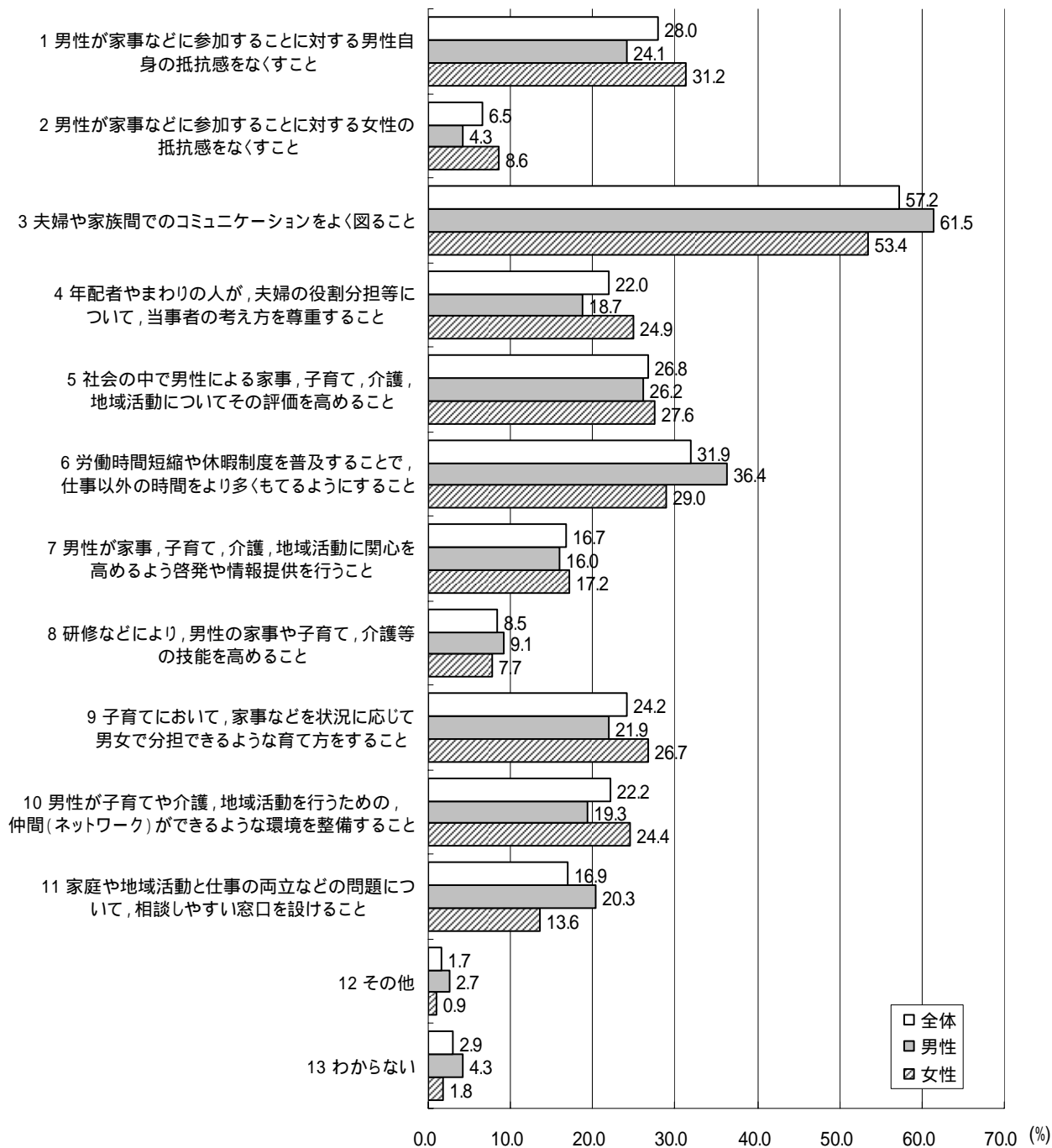
#### 実際



考え方では「7 仕事と家庭生活と個人の生活をともに優先」が最も多く、次いで「4 仕事と家庭生活をともに優先」となっており、合計すると男女とも50%を超えているが、実際では「1 仕事を優先」が最も多く約30%となっている。しかしながら「4 仕事と家庭生活をともに優先」も20%おり、理想と合っている。

#### 4 男女がともに家庭や地域活動に積極的に参加することについて

問8 今後、男女がともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。( は3つまで)

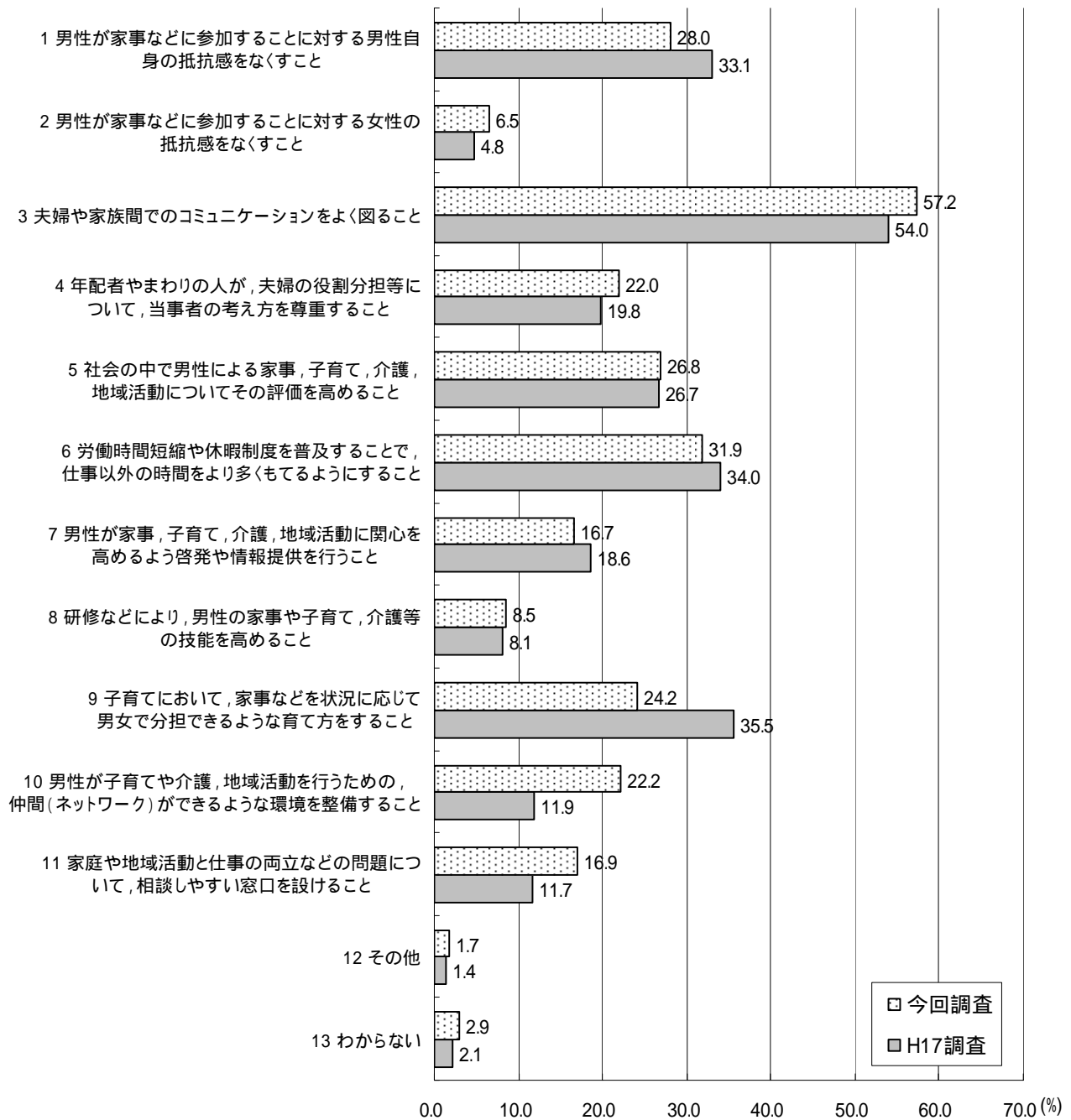


男女とも「3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」が最も多く50%を超えている。また、この他では、男女で順位は異なるが、割合が高いものは「1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、「6 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」となっている。

\* その他の意見

- ・ 本人のやる気
- ・ 給料が増えて生活が安定していれば何でもする。実際そうではないから「仕事」を優先している。
- ・ 低所得者向けの支援, 「8 研修などにより, 男性の家事や子育て, 介護等の技能を高めること」, 「9 家事などを男女で分担するようしつけや育て方をすること」, 「10 男性が子育てや介護, 地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりをすすめること」の項目のようなムダな税金を使う前に, 市税の減税を。
- ・ 介護, 保育園を無資格でできるようにし, 地域で助け合えるシステムの確立!
- ・ 男性の仕事と女性の仕事の給与の差がありすぎる為, 共に正社員の職についていても, 何かあったとき, 給与の多い男性よりも, 給与の少ない女性の方が休み・早退等をしなければならなくなる。
- ・ ゆとりある生活ができるよう賃金アップなどで収入を増やすこと。
- ・ もともと男女差があり, 互いに話し合いをし責任分担をする

【前回調査との比較】(全体の比較)

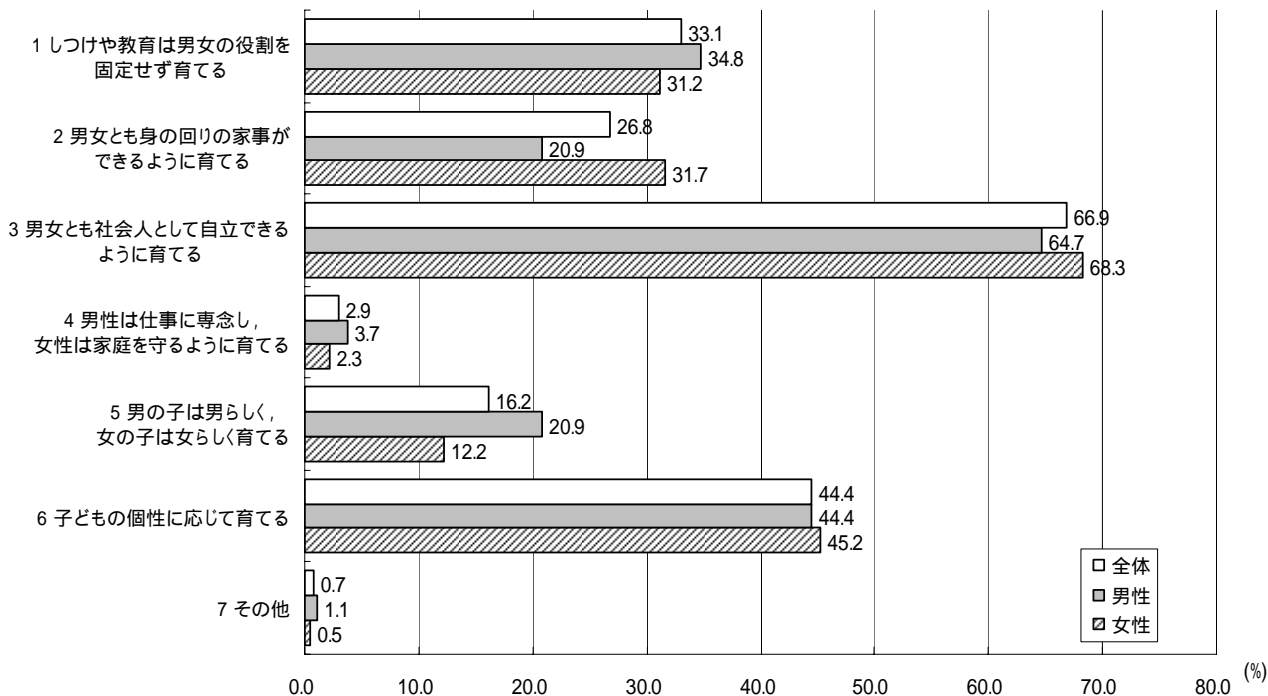


5年前の前回調査と比較すると変化が見られず, いまだに現状が改善されていない様子がうかがえる。

### 3. 子育て・教育

#### 1 子育ての方針について

問9 これからの子どもは、どのような方針で育てるのが望ましいと思いますか。( は2つまで)



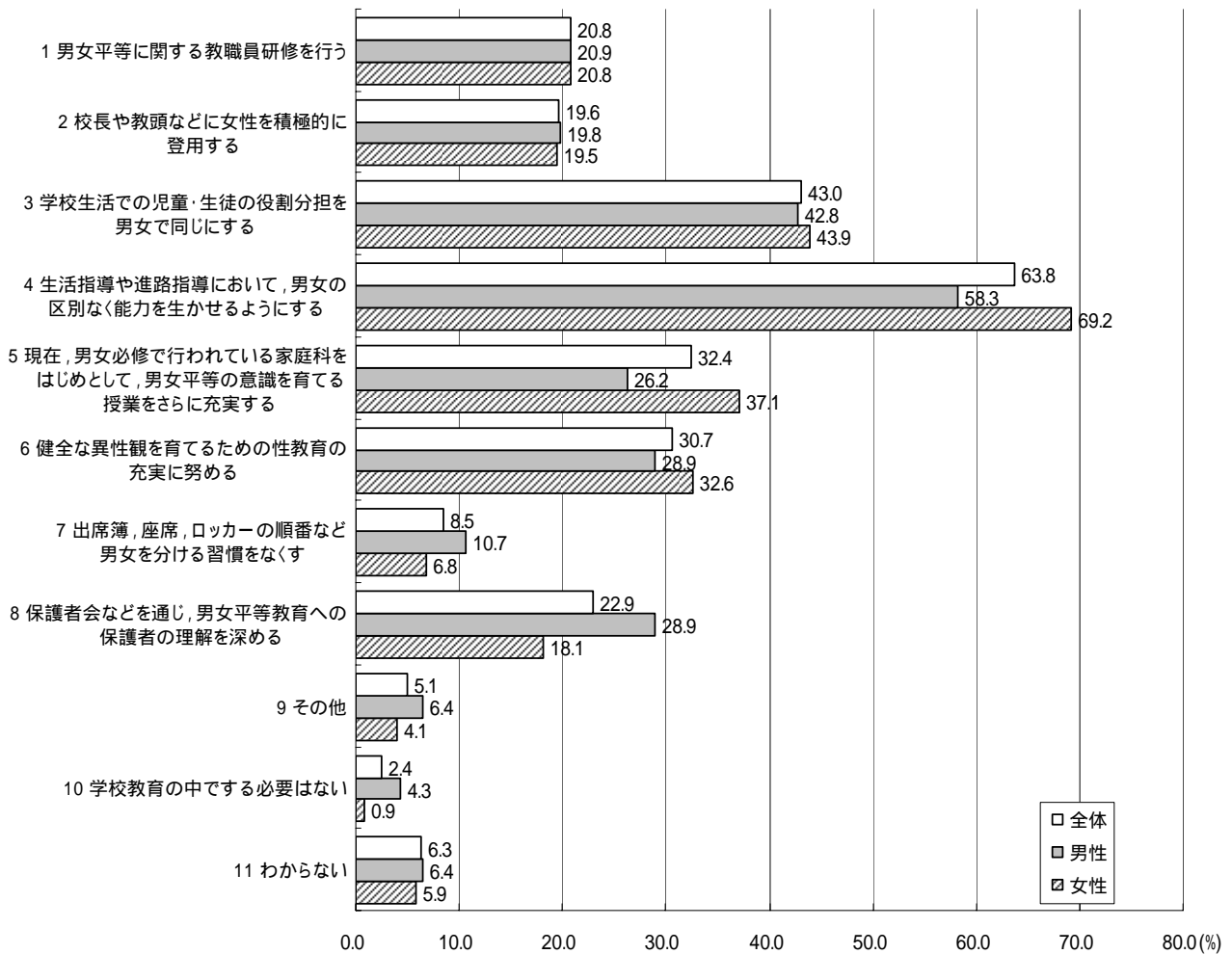
男女とも「3 男女とも社会人として自立できるように育てる」が最も高く60%を超えている。その後は順に「6 子どもの個性に応じて育てる」、「1 しつけや教育は男女の役割を固定せず育てる」と続く。

男性では「5 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」が20.9%で、女性の12.2%より8.7ポイント上回る。

女性では「2 男女とも身の回りの家事ができるように育てる」が31.7%で、男性の20.9%より10.8ポイント上回る。

## 2 学校教育における男女平等の推進について

問 10 今後、男女平等を推進していくために、小・中・高等学校で行うとよいと思うのはどれですか。(はいいくつでも)



男女とも「4 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるようにする」が最も多く約60%を占める。その後の順位は異なるが、男女とも「3 学校生活で児童・生徒の役割分担を男女で同じにする」、「5 現在、男女必修で行われている家庭科をはじめとして、男女平等の意識を育てる授業をさらに充実する」、「6 健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める」となっている。

### \* その他の意見

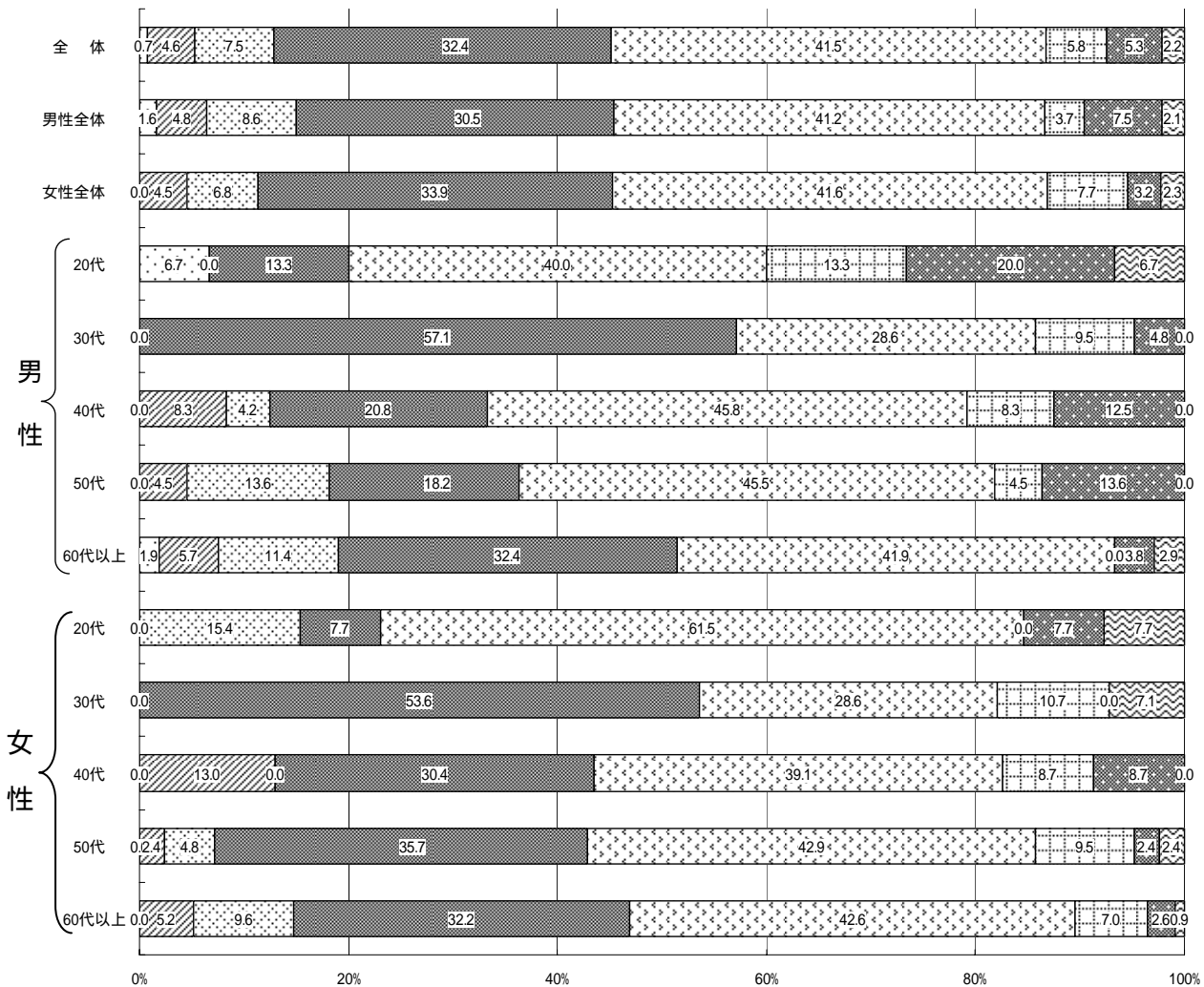
- ・男女平等とは不可能だと考えています。
- ・男女が同じことをすることが平等とは思いません。
- ・男女平等はもちろんだが、男性は男性の女性は女性の良さを生かす事も大事だと思う。
- ・身体的に差があり、差があって平等。
- ・現在のままで良いと思う。
- ・人格的には平等を尊重の上、男女の本能・特性を認識し、伸ばすこと。
- ・人間性を身に付ける徳育をする。
- ・人権を尊重する教育を行う。
- ・真の男女平等って何だろうと考える機会を持つ。
- ・先生に権限を与える。
- ・基本的には各家庭で行うことだ。

## 4. 仕事・職場

### 1 女性が職業を持つことについて

問 11 女性の社会進出が進んでいますが、女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。  
( は1つ)

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- ▣ 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ▤ 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 5 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- ▣ 6 その他
- 7 わからない



全体で見ると「5 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が約40%と最も多く、次いで「4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が30%を占める。男女で大きく異なる点はない。

年代別に見ると、30代では男女とも「4 ずっと職業を続ける方がよい」で50%を超えているが、他の年代では「5 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が最も高くなっている。

\* その他の意見

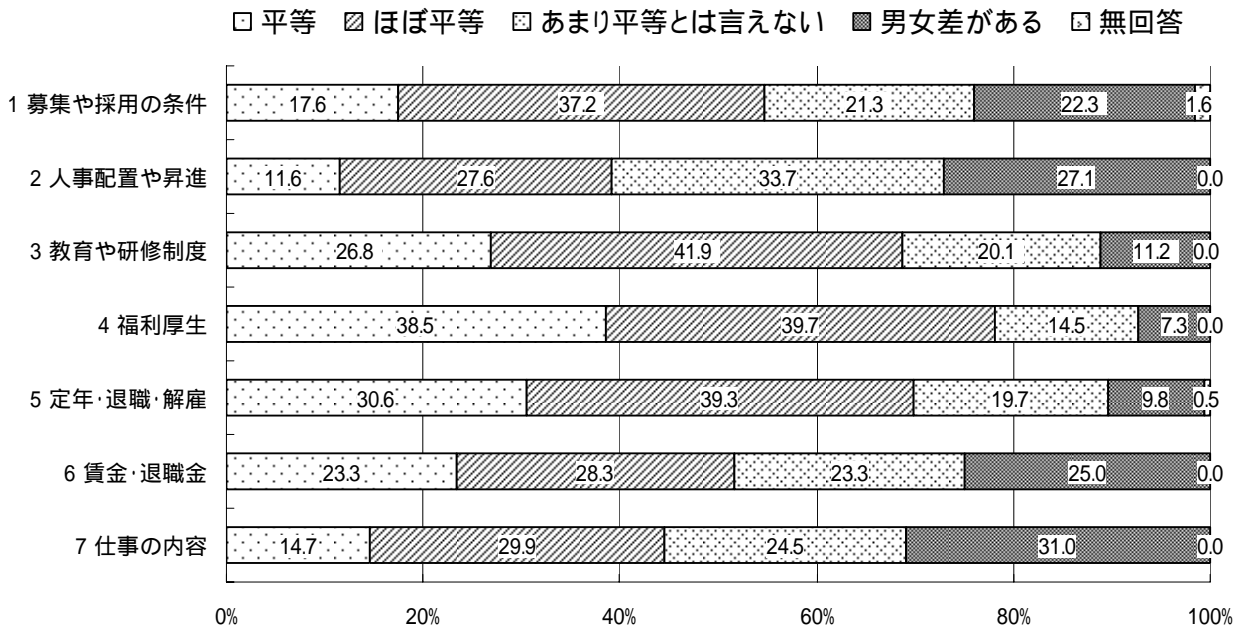
- ・ 個人の自由。
- ・ その人の適性に依りて選択すればいい。
- ・ 家で子育てに専念していることが、社会から取り残されたように感じるという方が増えていますが、子育ての大切さに気付いてほしいです。
- ・ 本人の意思を尊重。
- ・ 独身でも結婚していても職業を持てる環境ならば働けばいいし、結婚してから専業主婦をやりたいなら、無理に社会進出をしなくても良いと思う。
- ・ 働き方を選べる正職の制度があるとよい。
- ・ 再就職・復帰できる所がある事。
- ・ 環境に依るため一概には言えない。
- ・ 好きなようにすればいい。
- ・ 老後の事、年金の事を考え、仕事は続けるべきである。
- ・ 各人（私）が決めればよいことであり、一般的（女性）な考えはどうかと思う。
- ・ おじいちゃん、おばあちゃん、保育所等協力して子供を見てもらえるような環境を充実させること、そして女性の考え方（子供の世話がいいのか、働く方がいいか）を尊重することがいいと思う。
- ・ 女性が子育てをしながら働ける職場環境があればよい。保育園を増やす。
- ・ 職業をずっと持っていたい人は持っていたら良い。
- ・ 人生一度は職業を持つ、社会に出る経験をした方がよいと思います。
- ・ 家を出て気分を変えることは必要。
- ・ 個々の考え方もあり、こうあるべきとは言い切れない。又、生活のスタイル、情勢によっては希望と現実違う場合も多々あると思うから。
- ・ 子どもがいても仕事をすればいいが、参観やプール等当番は母親が休んでする事がほとんど。職場が理解してくれれば、もっと父親も参加するべきだと思う。父親は何かと仕事を理由に逃げる。
- ・ 時と場合による。

## 2 職場での男女平等について

問 12 あなたの職場では、次にあげることがらについて男女平等になっていますか。

( はそれぞれ1つ ) ( 職業についている人のみ回答 )

( 全体 )

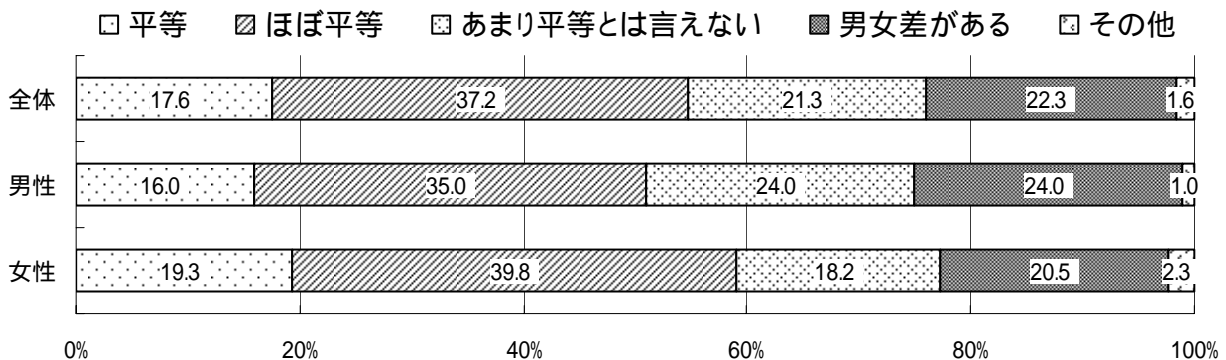


「平等」と「ほぼ平等」の合計を『平等傾向』(以下『平等傾向』と表記する。), 「あまり平等とはいえない」と「男女差がある」の合計を『不平等傾向』(以下『不平等傾向』と表記する。)としてみると、『平等傾向』は「4 福利厚生」(78.2%), 「5 定年・退職・解雇」(69.9%), 「3 教育や研修制度」(68.7%)で高くなっている。

逆に『不平等傾向』は「2 人事配置や昇進」(60.8%), 「7 仕事の内容」(55.5%)で高くなっている。

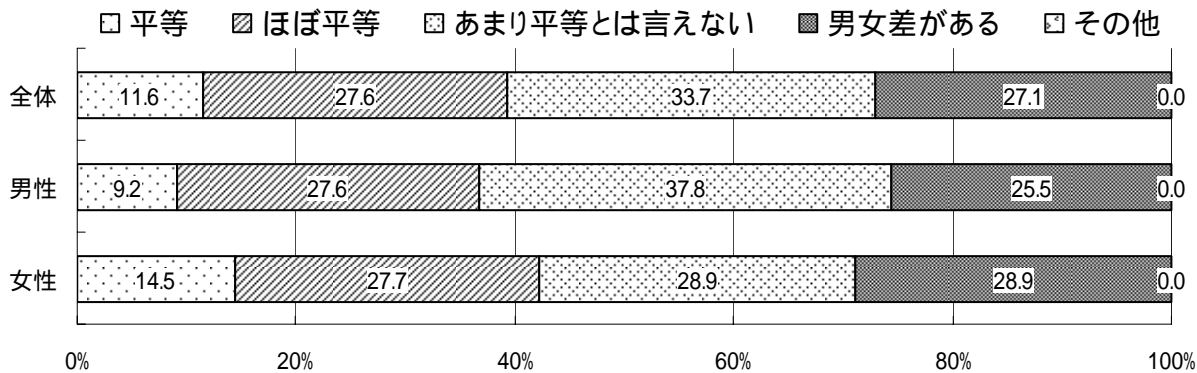
( 男女別 )

( 1 ) 募集や採用の条件

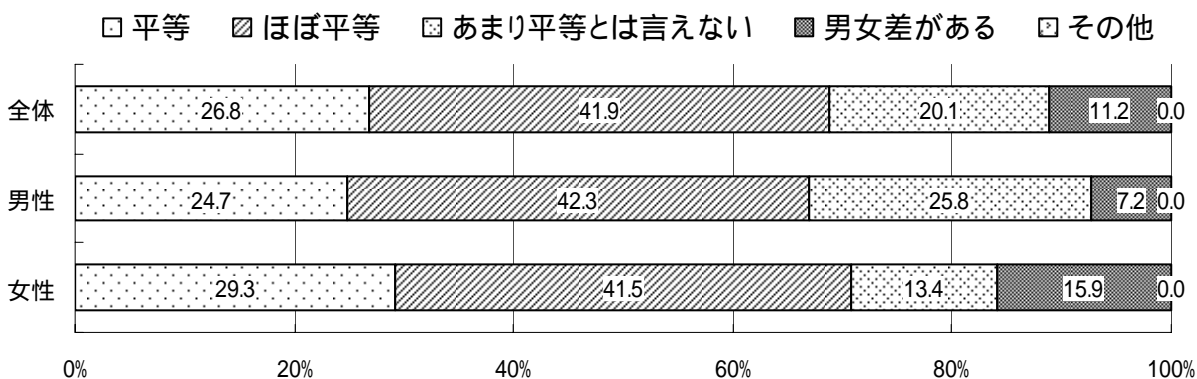




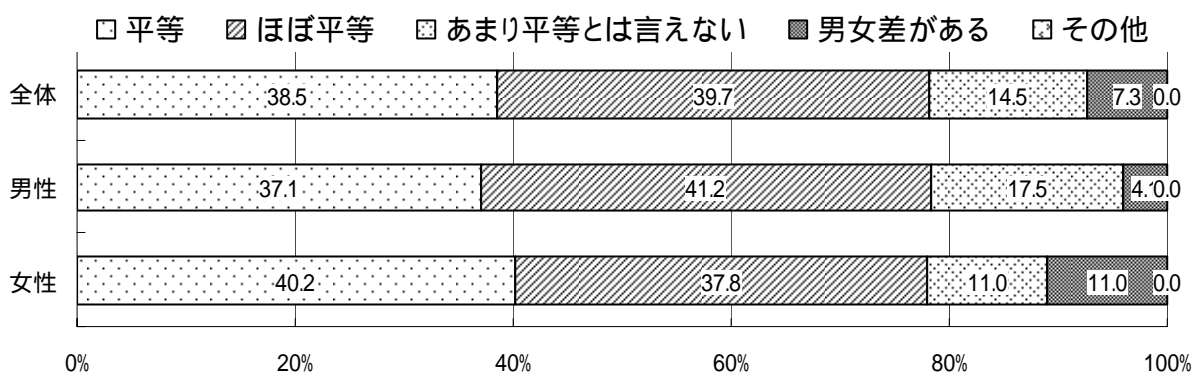
(2) 人事配置や昇進



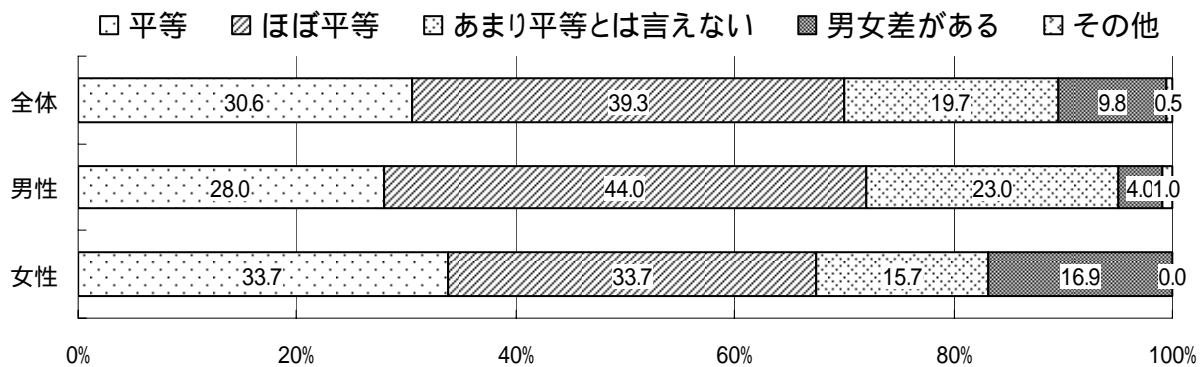
(3) 教育や研修制度



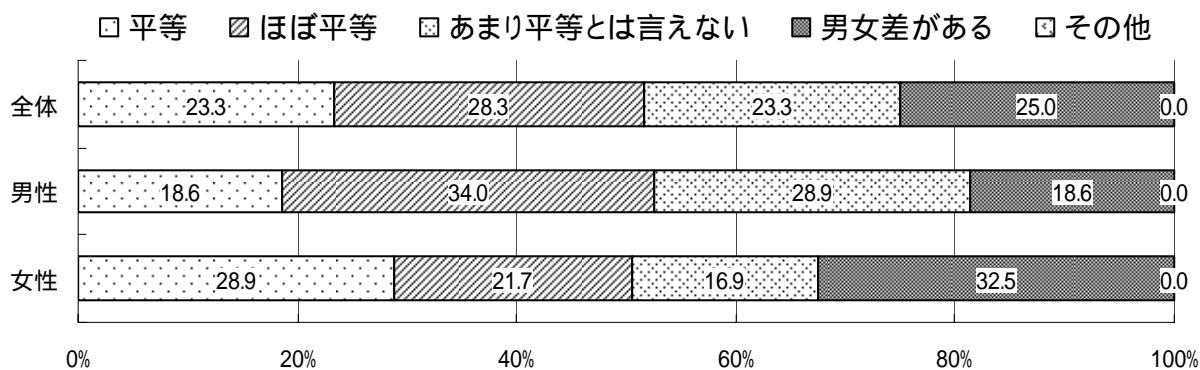
(4) 福利厚生



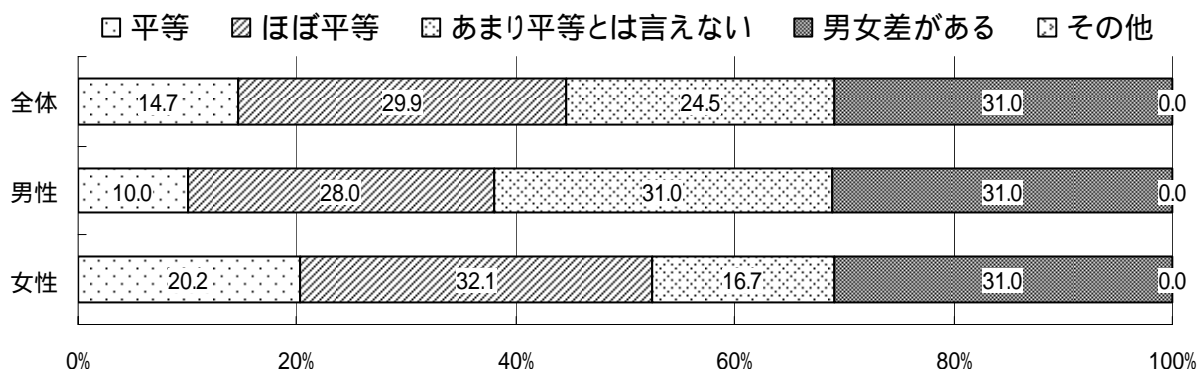
( 5 ) 定年・退職・解雇



( 6 ) 賃金・退職金



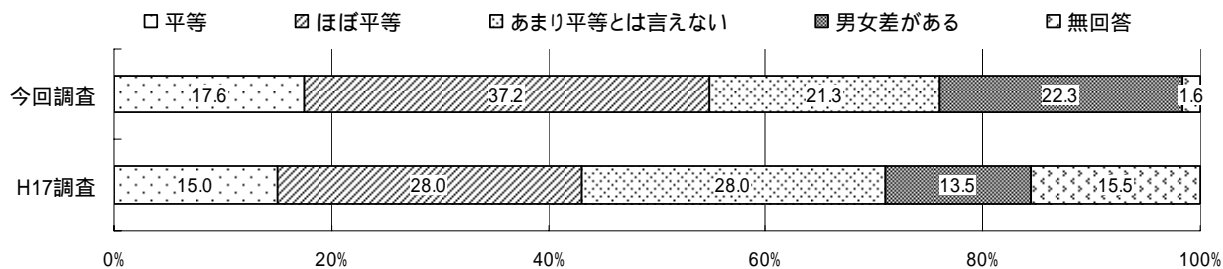
( 7 ) 仕事の内容



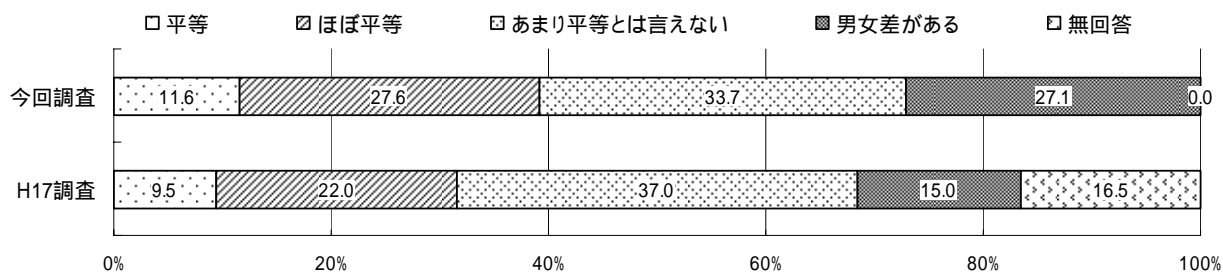
男女別でみると、( 1 ) ~ ( 6 ) の各項目では男女差があまり見られないが、( 7 ) 仕事の内容については『平等傾向』が男性 38.0%、女性 52.3%と大きく異なり、これまでの「女性から見ると不平等」という考え方と反対の結果となっている。

【前回調査との比較】

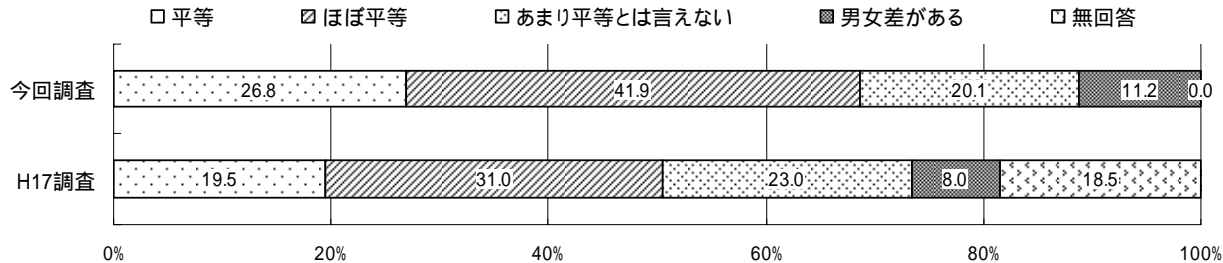
(1) 募集や採用の条件



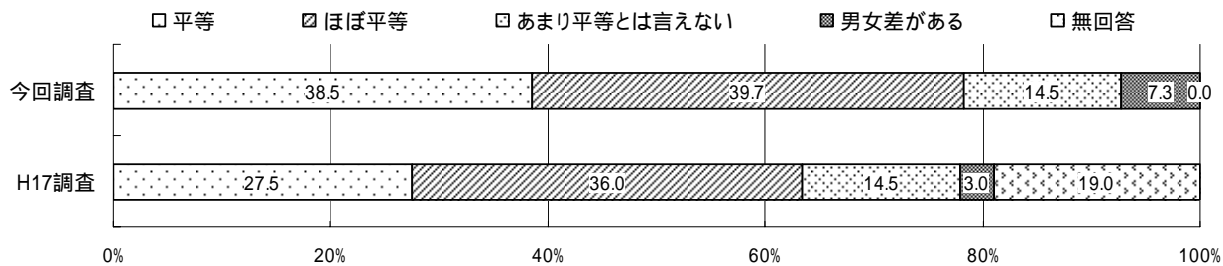
(2) 人事配置や昇進



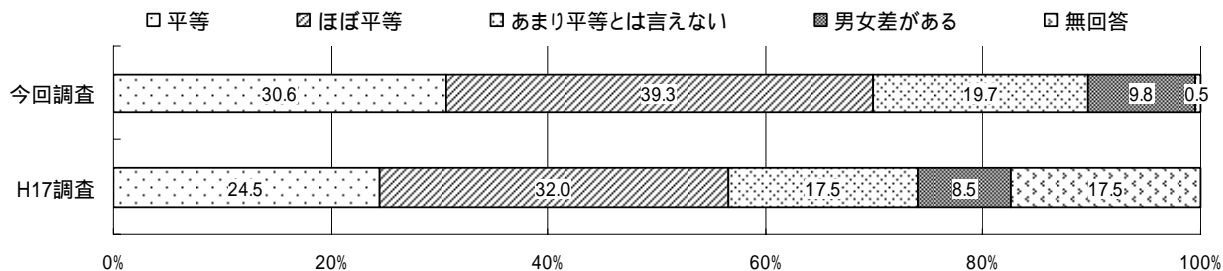
(3) 教育や研修制度



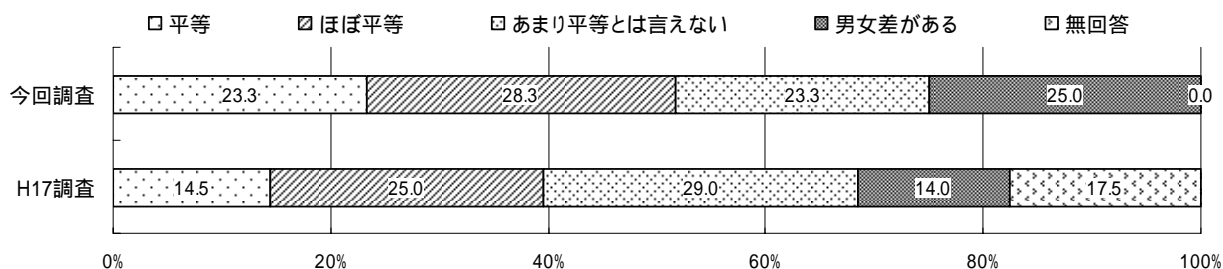
(4) 福利厚生



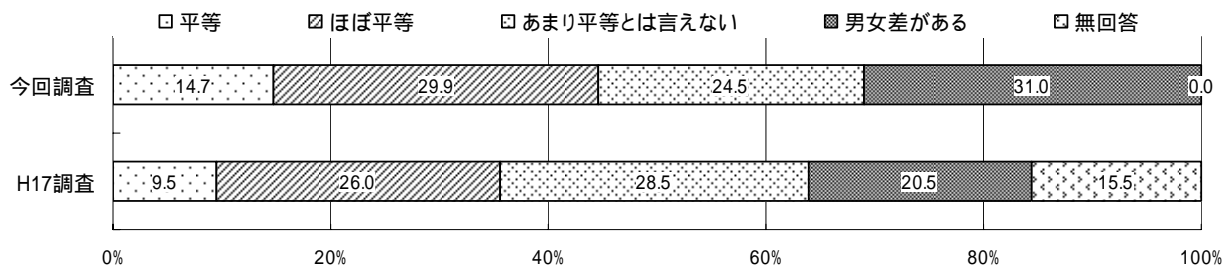
( 5 ) 定年・退職・解雇



( 6 ) 賃金・退職金



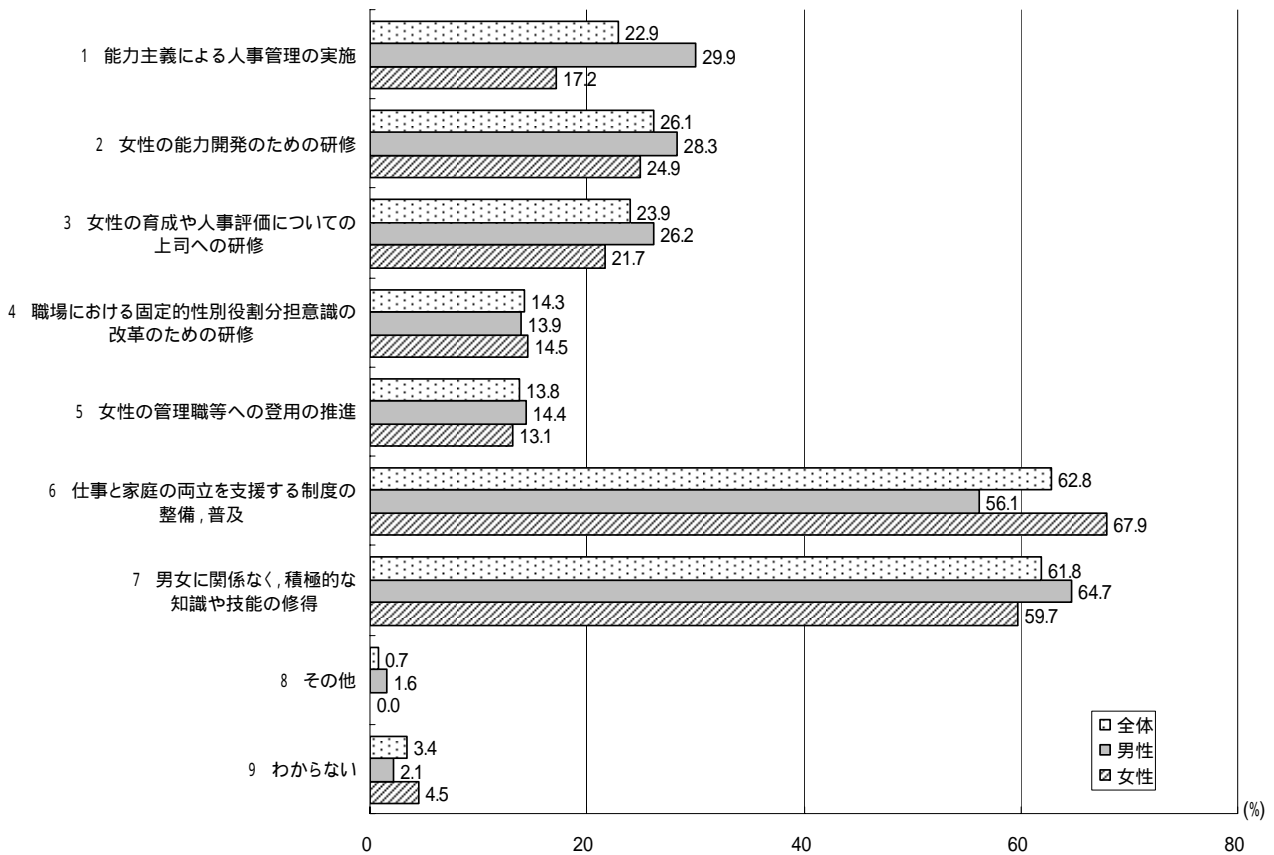
( 7 ) 仕事の内容



前回の調査と比較すると、すべての項目で『平等傾向』の割合が上昇している。(前回調査では無回答の割合が高かったため、今回調査の結果では『不平等傾向』の割合も上昇している。)( 3 ) 教育や研修制度,( 4 ) 福利厚生,( 5 ) 定年・退職・解雇で特に上昇が見られ、男女平等と考える意識の向上がうかがえる。

### 3 男女の平等な能力発揮について

問 1 3 職場で、男女が平等に能力を発揮するために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで をつけてください。( は3つ以内)

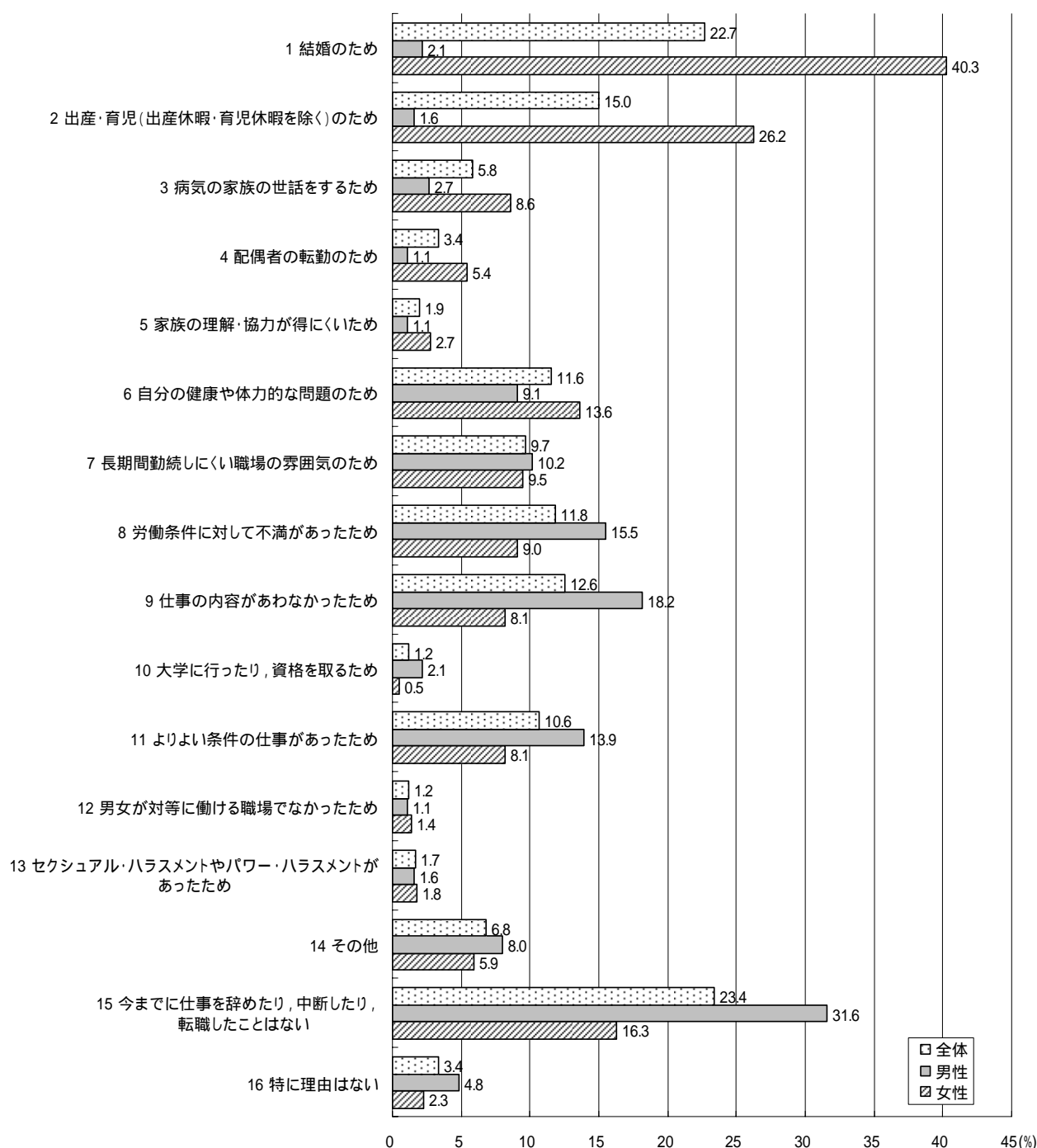


男女とも60%程度が「6 仕事と家庭の両立を支援する制度の整備, 普及」および「7 男女に関係なく, 積極的な知識や技能の修得」が必要だと考えている。

男女の考え方で異なる項目は「1 能力主義による人事管理の実施」で、男女差が12.7ポイントもあり、問3の回答から得られた「職場では男性が優遇されている, 平等とはいえない」という結果と同じ傾向であることがわかる。

#### 4 退職，転職とその理由について

問 14 あなたは，今までに仕事を辞めたり，中断したり，転職をしたりしたことはありますか。あるとすれば，どのような理由からですか。（はいいくつでも）



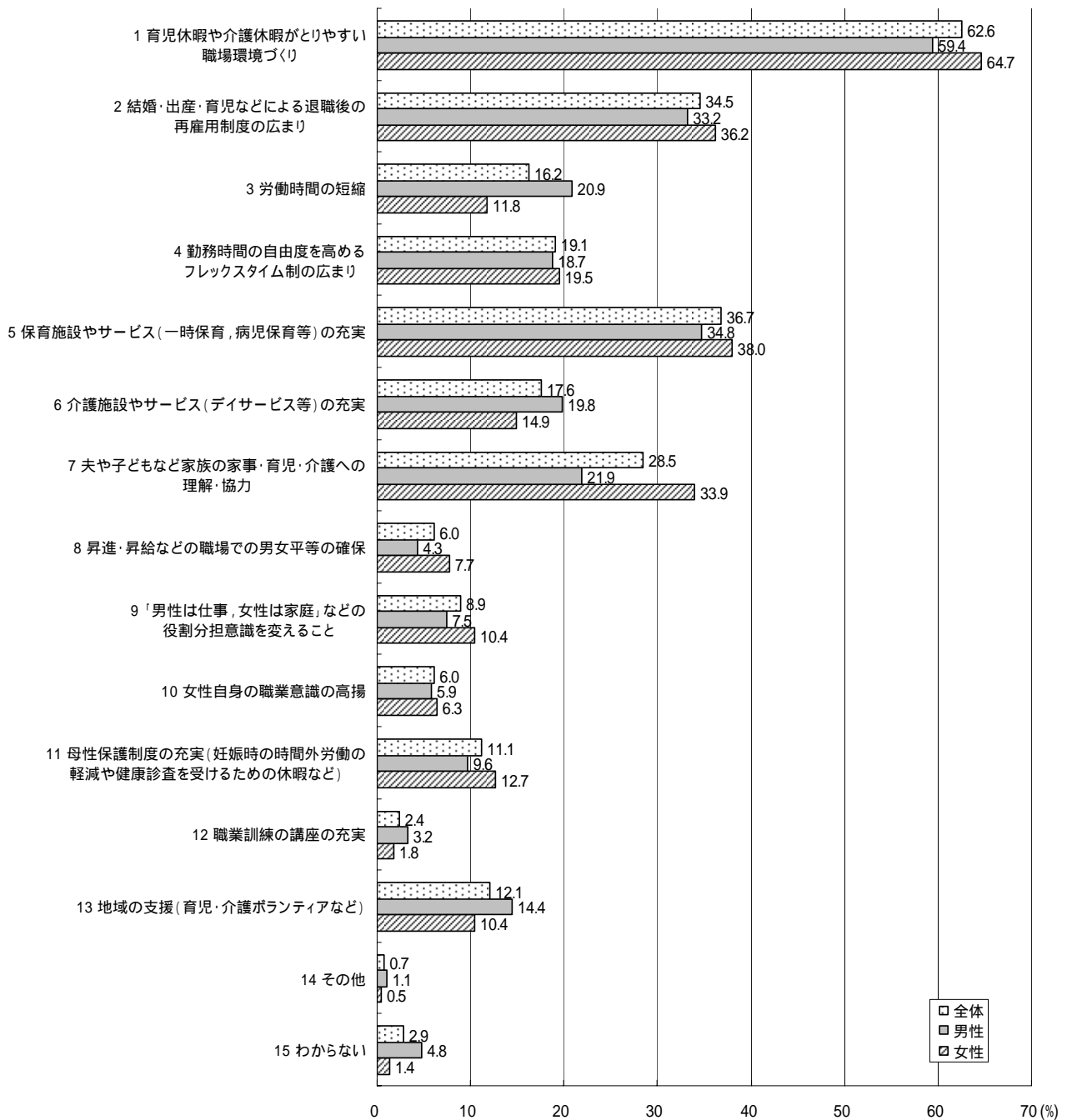
仕事を辞めたり，転職したりした理由は男女で大きく異なっている。

男性では「5 今までに仕事を辞めたり，中断したり，転職したことはない」が31.6%と最も高かったが，仕事を辞めたり転職したりした理由としては「9 仕事の内容があわなかったため」，「8 労働条件に対して不満があったため」，「11 よりよい条件の仕事があったため」と労働条件，内容によるものが上位を占めている。

一方，女性では「1 結婚のため」，「2 出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」とライフサイクルによるものが上位を占めている。

## 5 仕事と家庭の両立に必要なことについて

問 15 仕事と家庭を両立させるために、どのようなことが必要だと思いますか。次にあげた中で、特に必要と思うものを3つまでお答えください。( は3つ)



男女とも「1 育児休暇や介護休暇がとりやすい職場環境づくり」、「2 結婚・出産・育児などによる退職後の再雇用制度の広まり」、「5 保育施設やサービス(一時保育, 病児保育等)の充実」が上位を占めている。

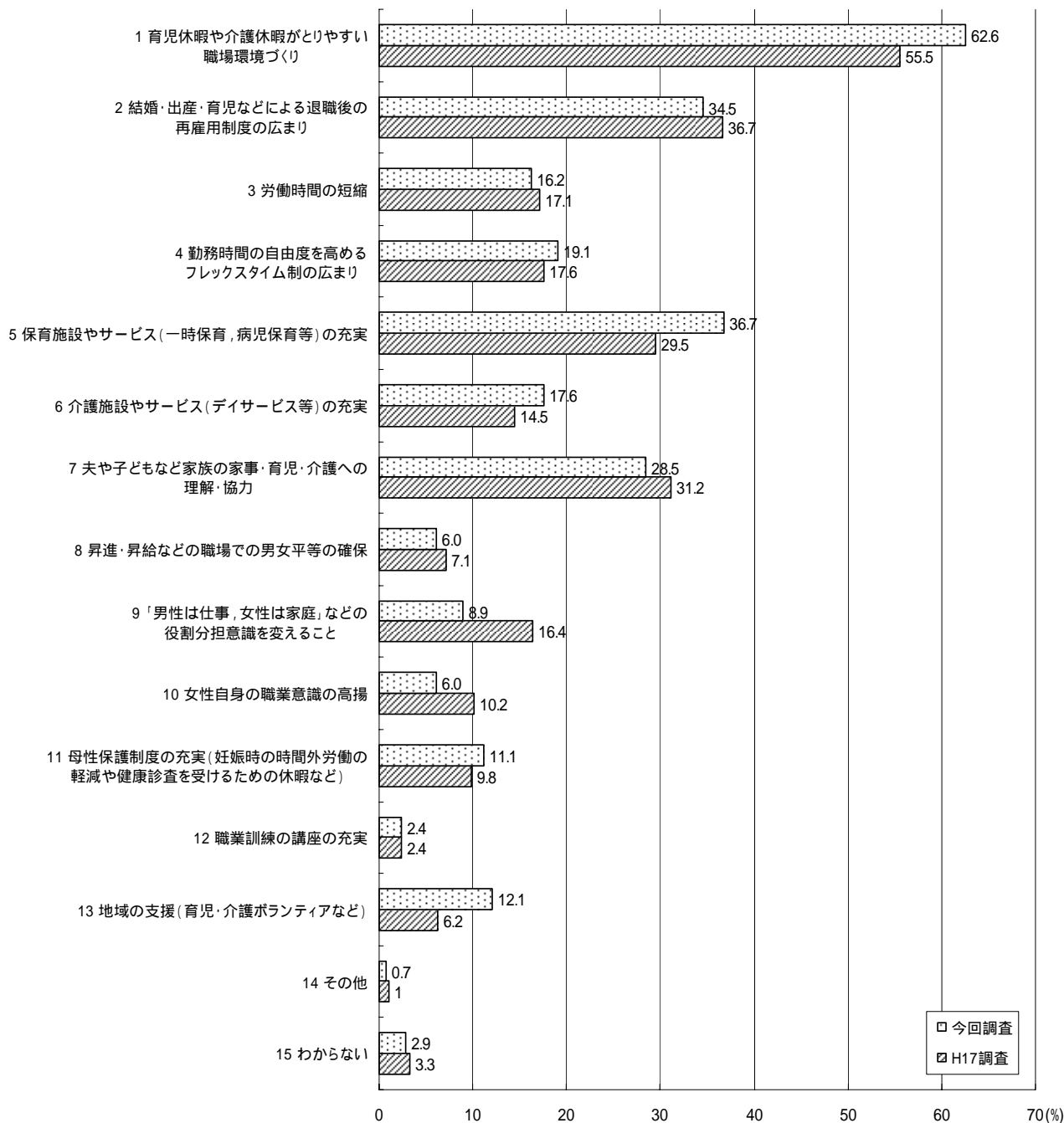
また、男性では「3 労働時間の短縮」が20.9%で、女性の11.8%を9.1ポイント上回っている。女性では「7 夫や子どもなど家族の家事・育児・介護への理解・協力」が33.9%で、男性の21.9%を12ポイント上回っている。

雇用側の男女共同参画の取り組みに期待される項目が多く見られる。

\* その他の意見

- ・小学生でも預けられるところの充実。

【前回調査との比較】



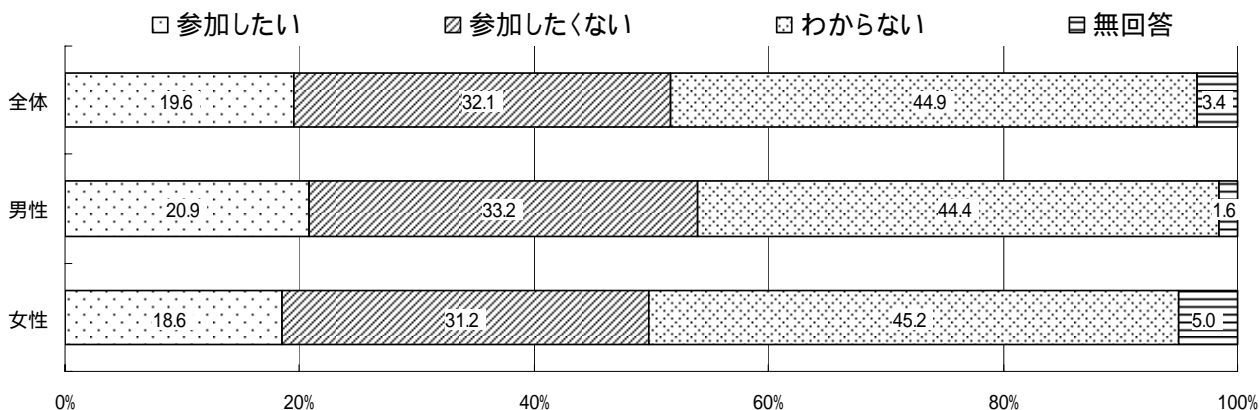
前回の調査結果と比較しても「1 育児休暇や介護休暇がとりやすい職場環境づくり」、「2 結婚・出産・育児などによる退職後の再雇用制度の広まり」、「5 保育施設やサービス(一時保育, 病児保育等)の充実」が上位を占めている。

「9 男性は仕事, 女性は家庭などの役割分担意識を変えること」、「10 女性自身の職業意識の高揚」はポイントを下げている。一方、「13 地域の支援体制の強化」はポイントを上げている。



## 6 政策・方針決定の場への参画について

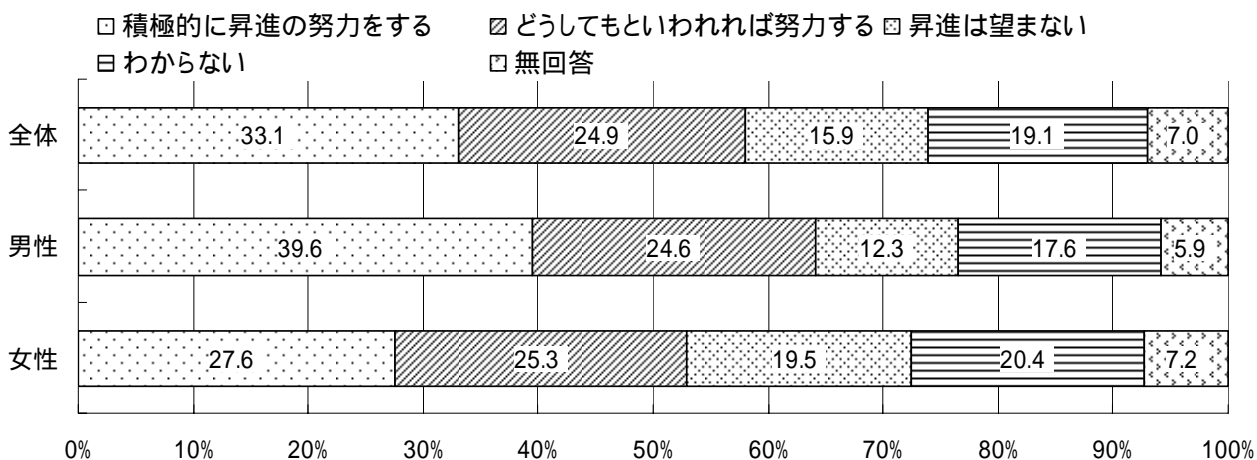
問 16 男女共同参画を進めるうえで、政策・方針決定の場で男女の比率をできるだけ均等にしようと進めています。もし機会があれば、審議会等の政策・方針決定の場に参画したいと思いますか。( は1つ)



男女とも、ほぼ同様となっている。男女とも「参加したい」が2割程度、「参加したくない」が3割程度である。

## 7 昇進について

問 17 職場等において、昇進の機会があれば、積極的に昇進の努力をしたいと思いませんか。( は1つ)



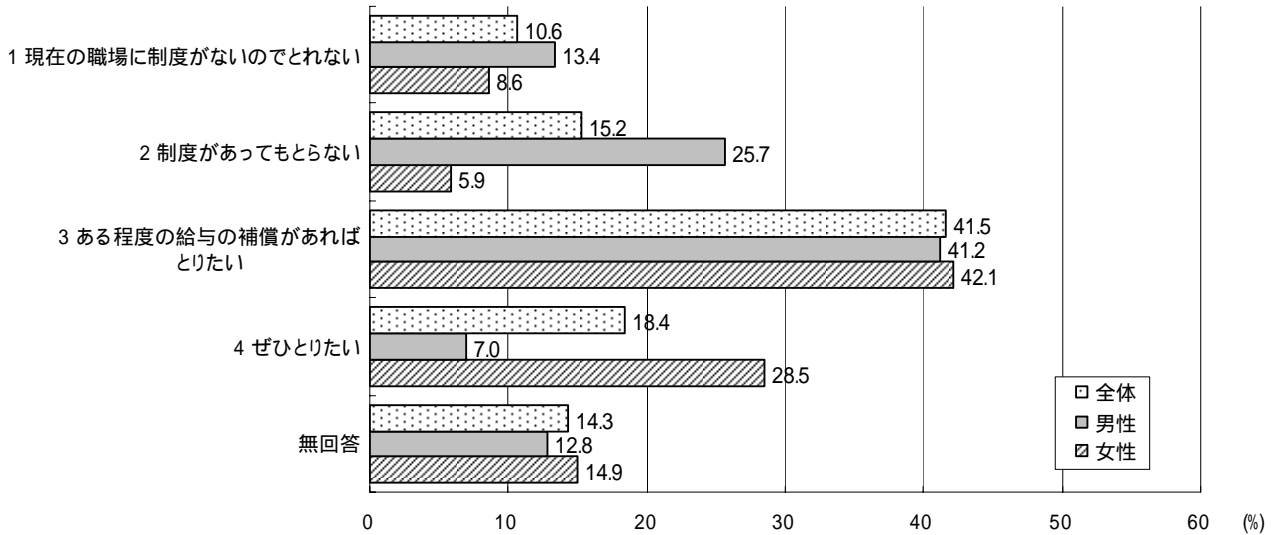
男女とも「積極的に昇進の努力をする」が最も高く、次いで「どうしてもといわれれば努力する」となっており、合わせると50%を超えている。

女性では「昇進は望まない」が19.5%で男性より7.2ポイント上回っている。

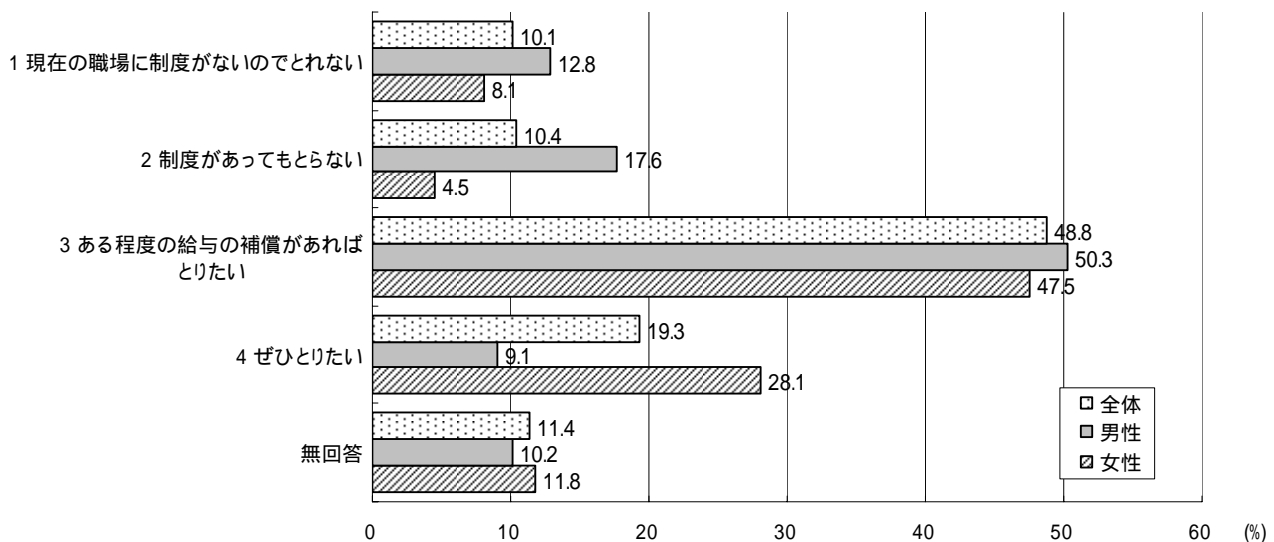
## 8 育児・介護休暇制度の取得について

問 18 男女が共にとれる育児・介護休業制度が法的に保障されていますが、あなたが当事者になった場合、どうしたいと思いますか。

### (育児休業)



### (介護休業)



育児休業，介護休業とも同じ傾向となっている。「3 ある程度の給与の補償があればとりたい」が育児休業では40%，介護休業では50%を占める。

「2 制度があってもとらない」は，男性が女性を，育児休業で19.8ポイント，介護休業で13.1ポイント上回っている。

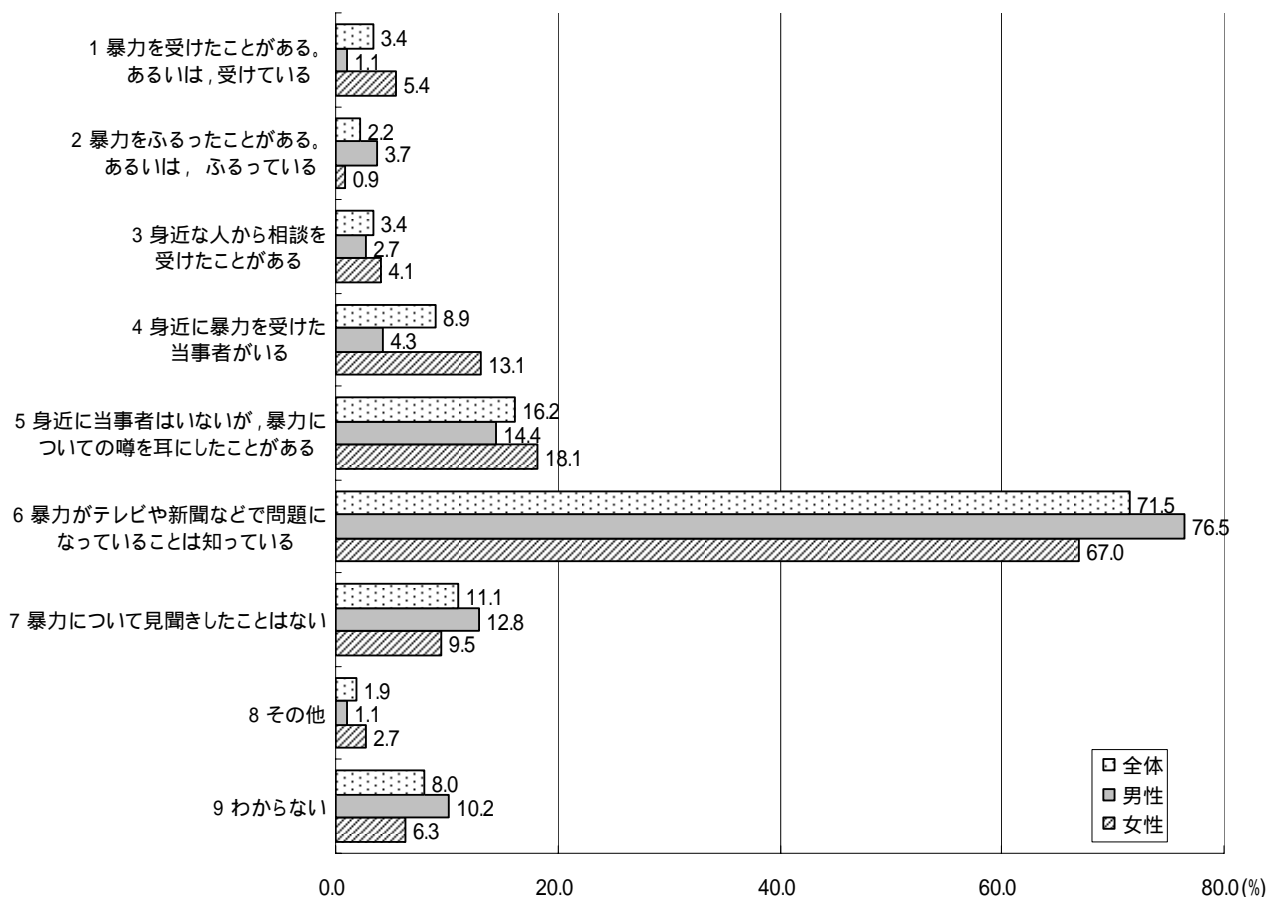
「4 ぜひとりたい」は，女性が男性を，育児休業で21.5ポイント，介護休業で19ポイント上回っている。

男性では，「育児休業」，「介護休業」を取り難いと考えている人が多いのが現状である。

## 5. 人権

### 1 ドメスティック・バイオレンスの関わりについて

問 19 最近，ドメスティック・バイオレンス（DV，配偶者・交際相手などによる身体的・精神的・性的暴力）が社会問題視されていますが，このDVについて近年，身近に見聞きしたことがありますか。（はいいくつでも）

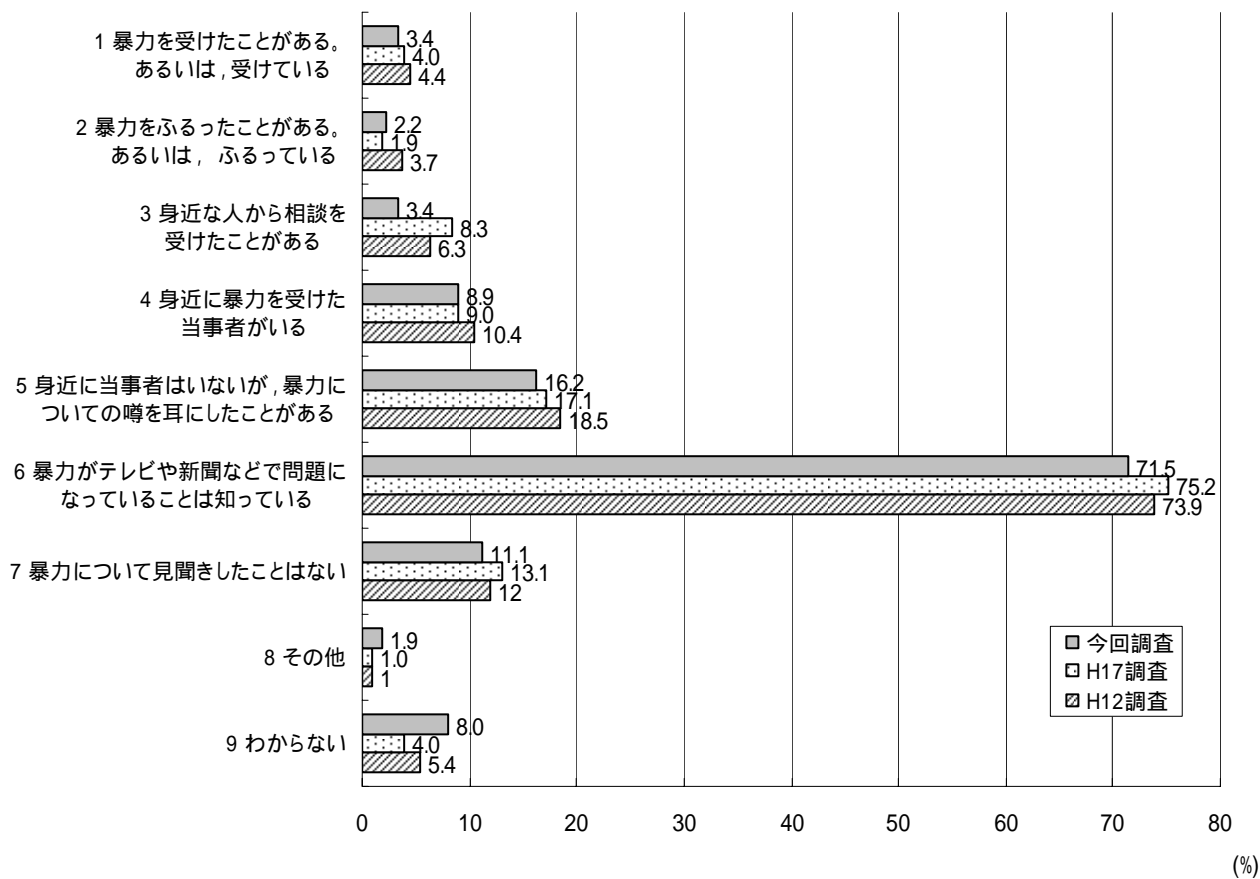


男女とも「6 暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」と回答した人が最も多く70%を超えている。暴力が問題となっていることは認識しているが，身近なことではないと考えていると思われる。

#### \* その他の意見

- ・以前勤務中に家庭訪問をしている時，奥さんが不在で主人が一人いた。その時性的に襲いかかってきたが大声を出したので何もせずに終わった。とても怖かった。
- ・実際に自分の姉が姉の夫から精神的暴力を受けている。
- ・言葉の暴力はあります。娘から。
- ・昔だから，問題ない。
- ・身近に暴力を受けた当事者がいましたが，今はいません。
- ・暴力は駄目。
- ・許してはならない。暴力反対。
- ・シェルター家庭で使ってもらえるタオル，医薬品サンプルなどを提供させてもらっている。

【前回調査との比較】



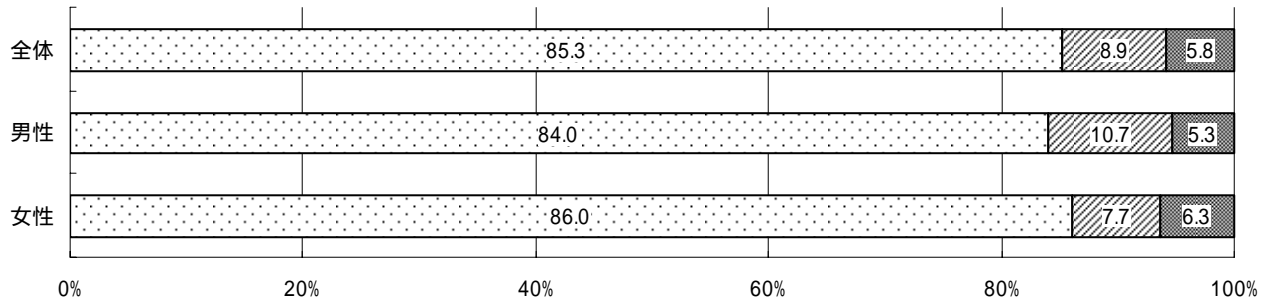
前回，前々回の調査結果と比較しても，同様の傾向が見られる。

## 2 配偶者等からの暴力の受け止め方について

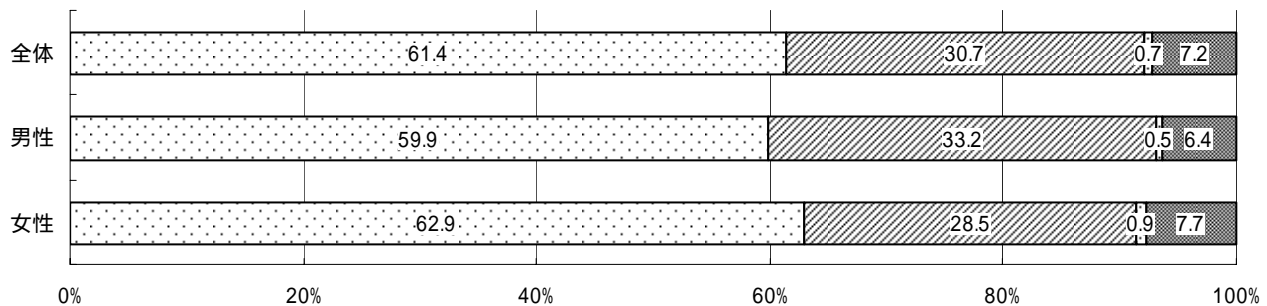
問 20 次のようなことが、もし配偶者や交際相手から行われた場合、あなたはそれを暴力だとおもいますか。【1】から【10】のそれぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つ)

□ 暴力にあたると思う    ▨ 場合による    ▩ 暴力にあたるとは思わない    ■ 無回答

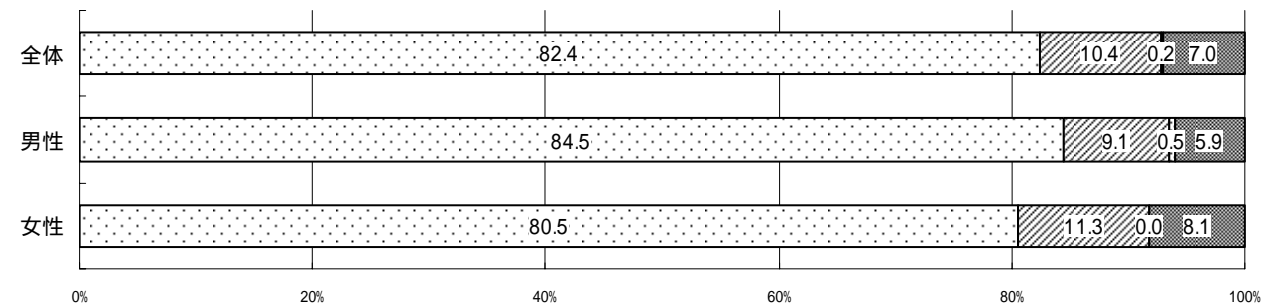
### 【1】平手で打つ，足でける，身体を傷つける可能性のある物でなぐる



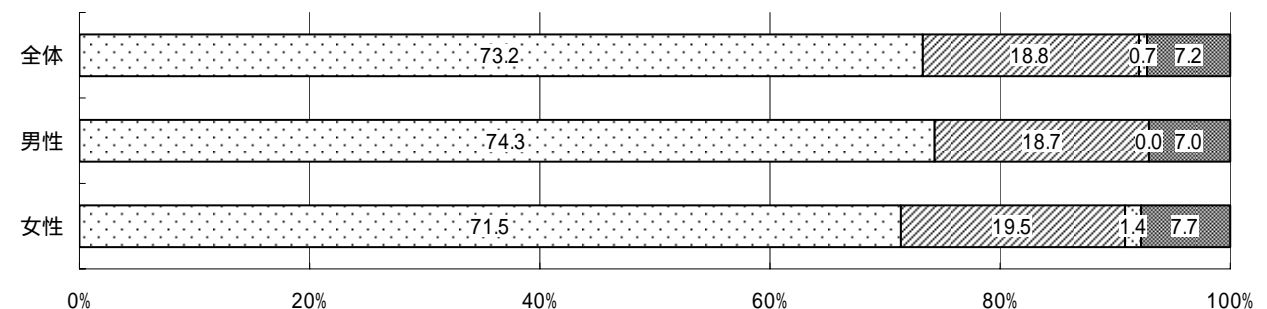
### 【2】物を投げつける



### 【3】なぐるふりをしておどす，刃物などを突きつけておどす

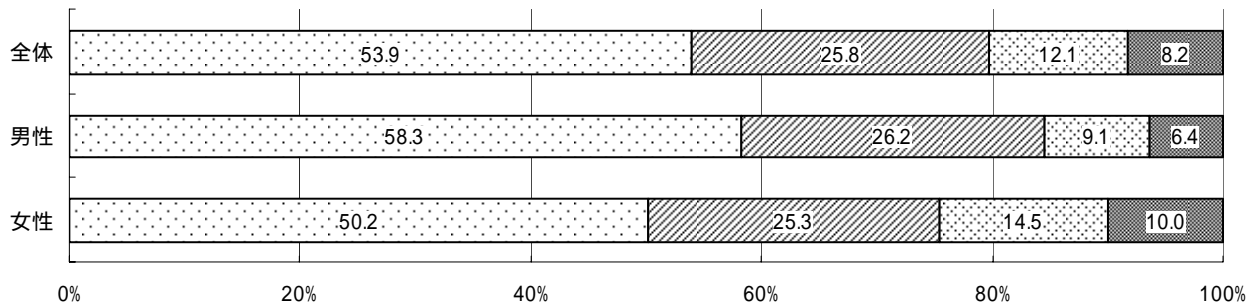


### 【4】いやがっているのに性的な行為を強要する

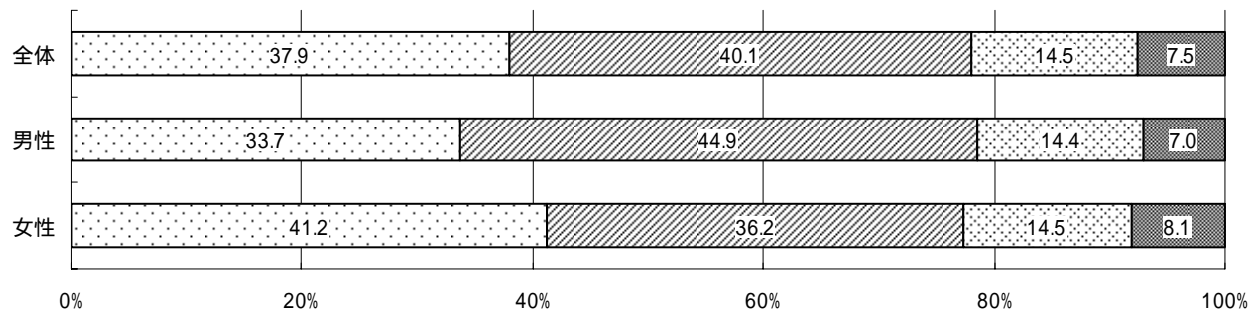


□ 暴力にあたると思う   ▨ 場合による   ▩ 暴力にあたるとは思わない   ■ 無回答

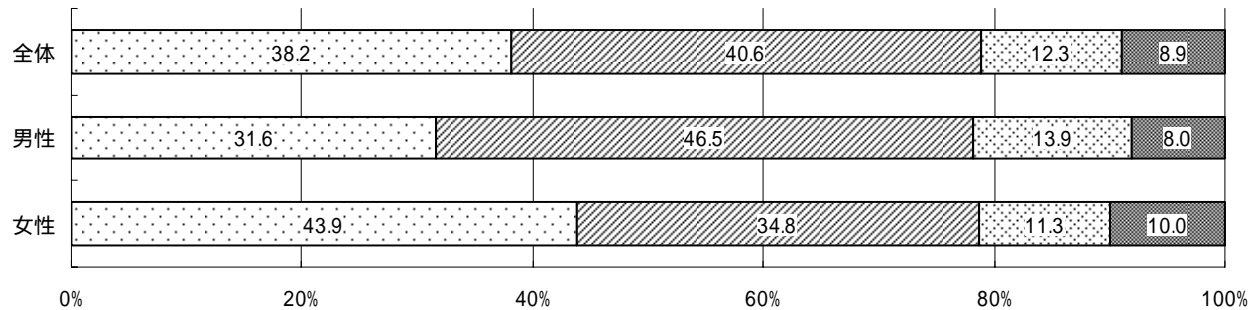
【 5 】 見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる



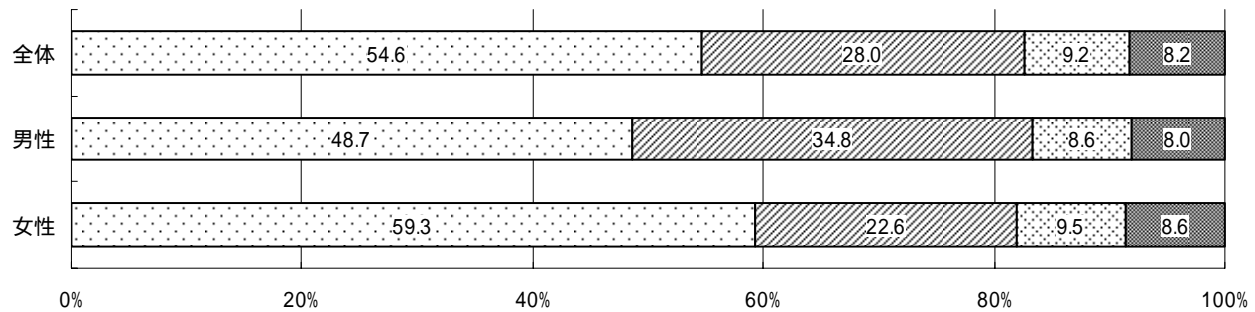
【 6 】 何を言っても長時間無視し続ける



【 7 】 交友関係や電話を細かく監視する

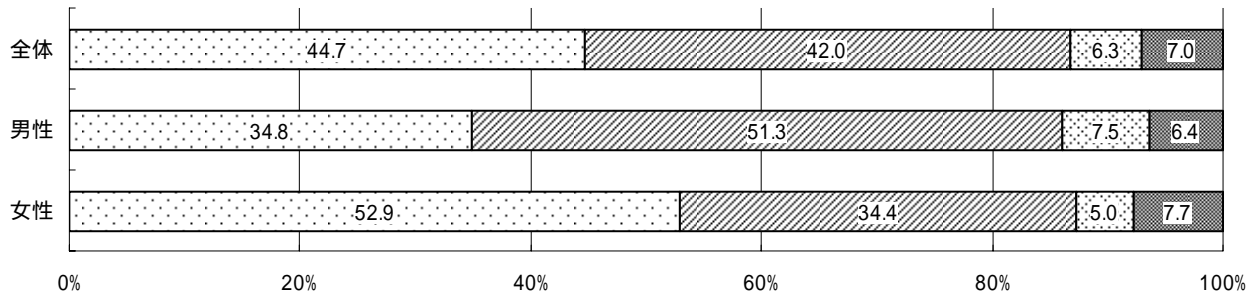


【 8 】 「誰のおかげで生活できているんだ」、「かいしょうなし」と言う

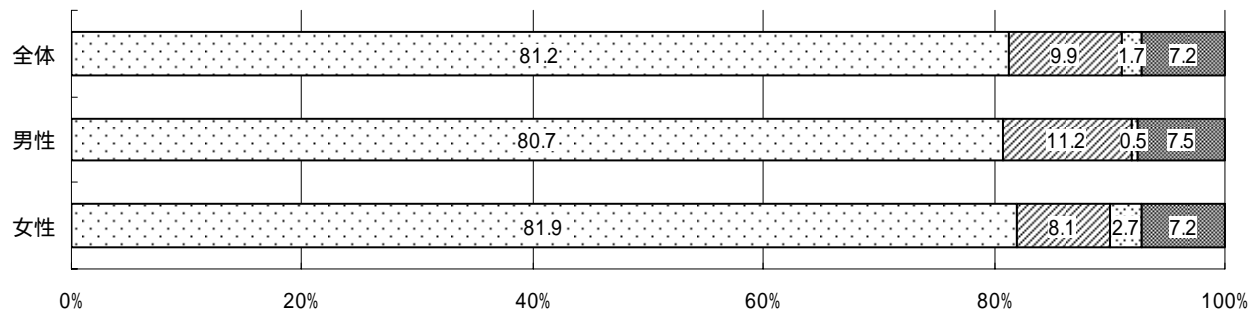


□ 暴力にあたると思う   ▨ 場合による   ▩ 暴力にあたるとは思わない   ■ 無回答

【9】大声でどなる



【10】生活に必要なお金を渡さない，食事をさせない

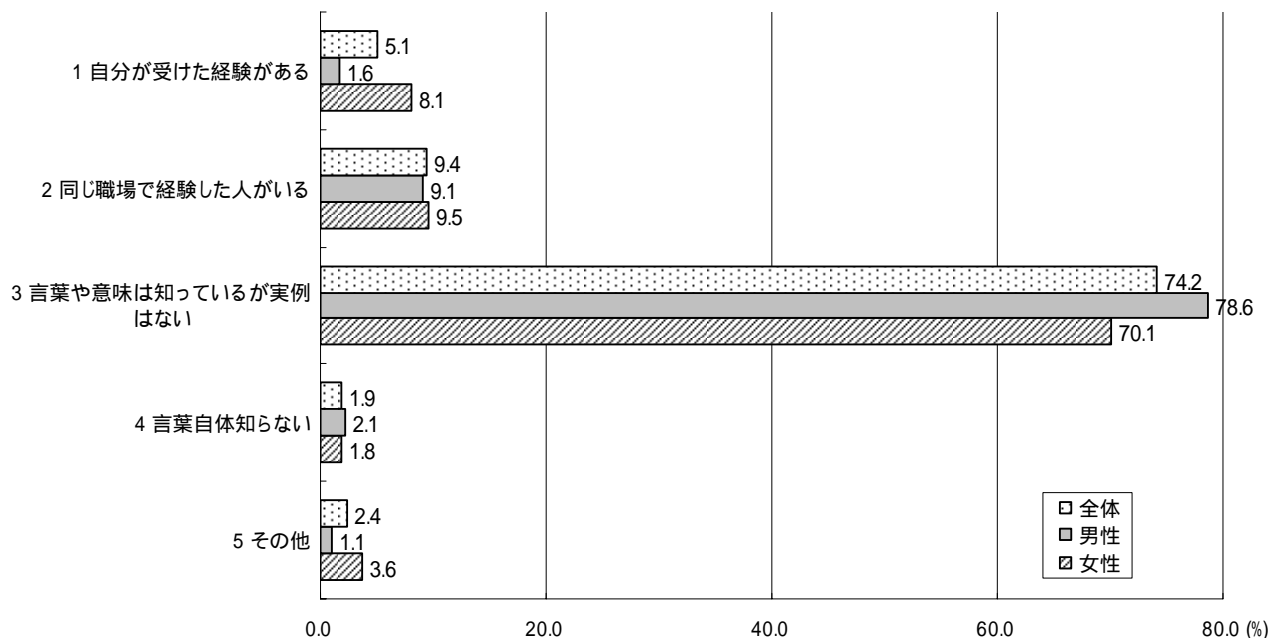


身体的な暴力【1】～【3】，性的な暴力【4】～【5】については男女による差はあまり見られない。一方，精神的な暴力【6】～【10】については「暴力にあたると思う」で女性に比べ男性の占める割合が低い傾向がある。ただし，「場合による」も含めて考えると男女による差はあまり見られない。

### 3 セクシュアル・ハラスメントの関わりについて

問 21 職場や学校でのセクシュアル・ハラスメント(セクハラ, 性的嫌がらせ)が人権侵害として問題となっていますが,あなたは近年,セクハラを受けた経験や見聞きしたことはありますか。

(はいいくつでも)



男女とも「3 言葉や意味は知っているが実例はない」が70%を超えている。

「2 同じ職場で経験した人がある」は男女とも10%程度,「1 自分が受けた経験がある」は男性が1.6%,女性が8.1%となっている。

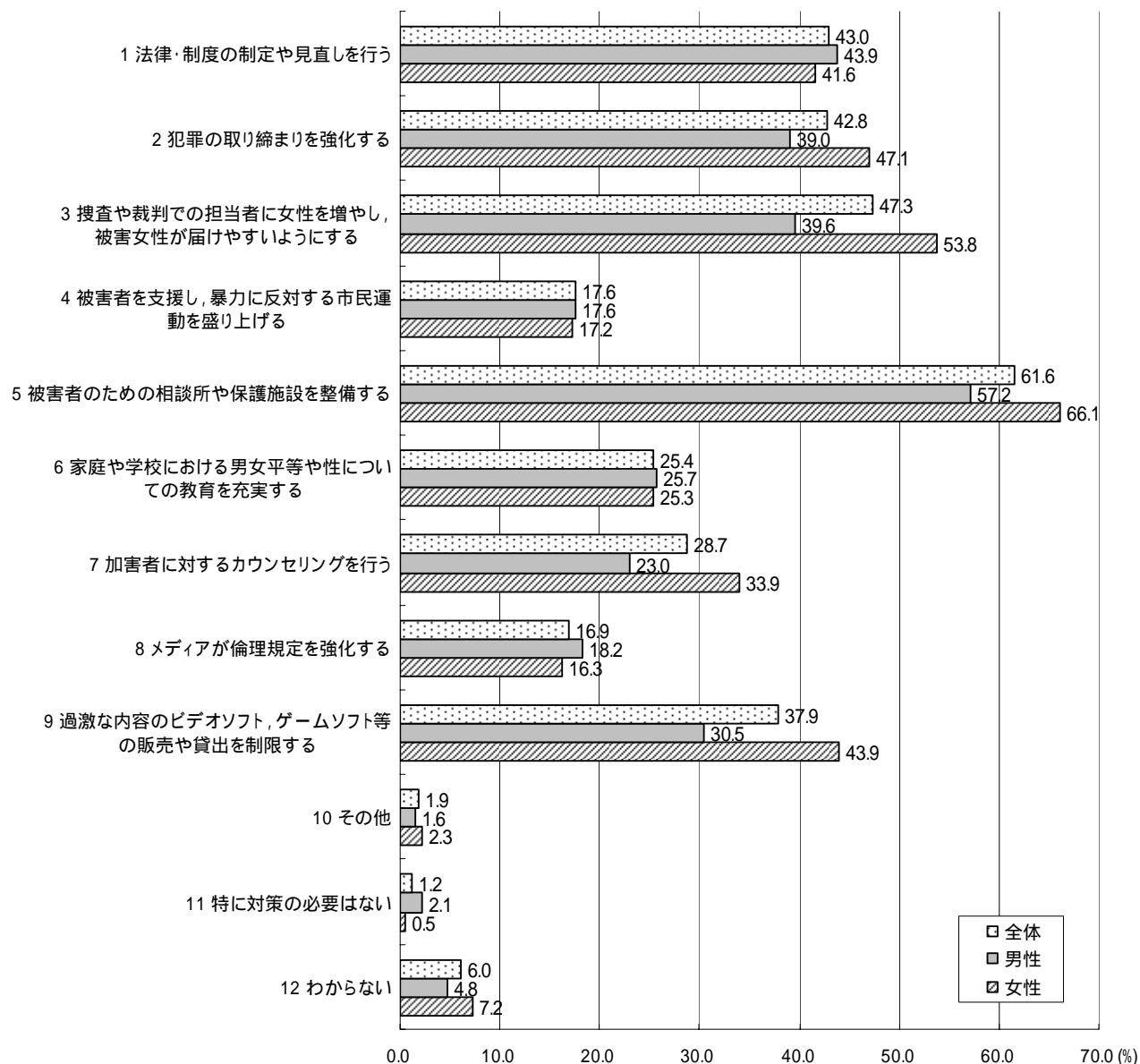
#### \* その他の意見

- ・セクハラ基準がわからない。
- ・自分がしているかもしれない。
- ・昔は職場であった人がいたが最近知らない。
- ・深刻な問題はないが,どこまでか?という事は良く見聞きする。
- ・前の職場でセクハラをされた人がいた。
- ・転職前の職場で受けた人を知っている。
- ・問題にするほどではなかったが受けた。
- ・以前から水面下ではあったと思う。
- ・受けた経験,見聞きしたことがない。



#### 4 男女間の暴力を根絶するために必要なこと

問 22 性犯罪，ドメスティック・バイオレンス，セクシュアル・ハラスメント等，男女間の暴力が問題となっています。これらの暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。（はいいくつでも）



男女とも「5 被害者のための相談所や保護施設を整備する」が最も多くなっており，約60%を占めている。その他に「1 法律・制度の制定や見直しを行う」，「2 犯罪の取り締まりを強化する」，「3 捜査や裁判での担当者に女性を増やし，被害女性が届けやすいようにする」，「9 過激な内容のビデオソフト，ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」の割合が高くなっている。

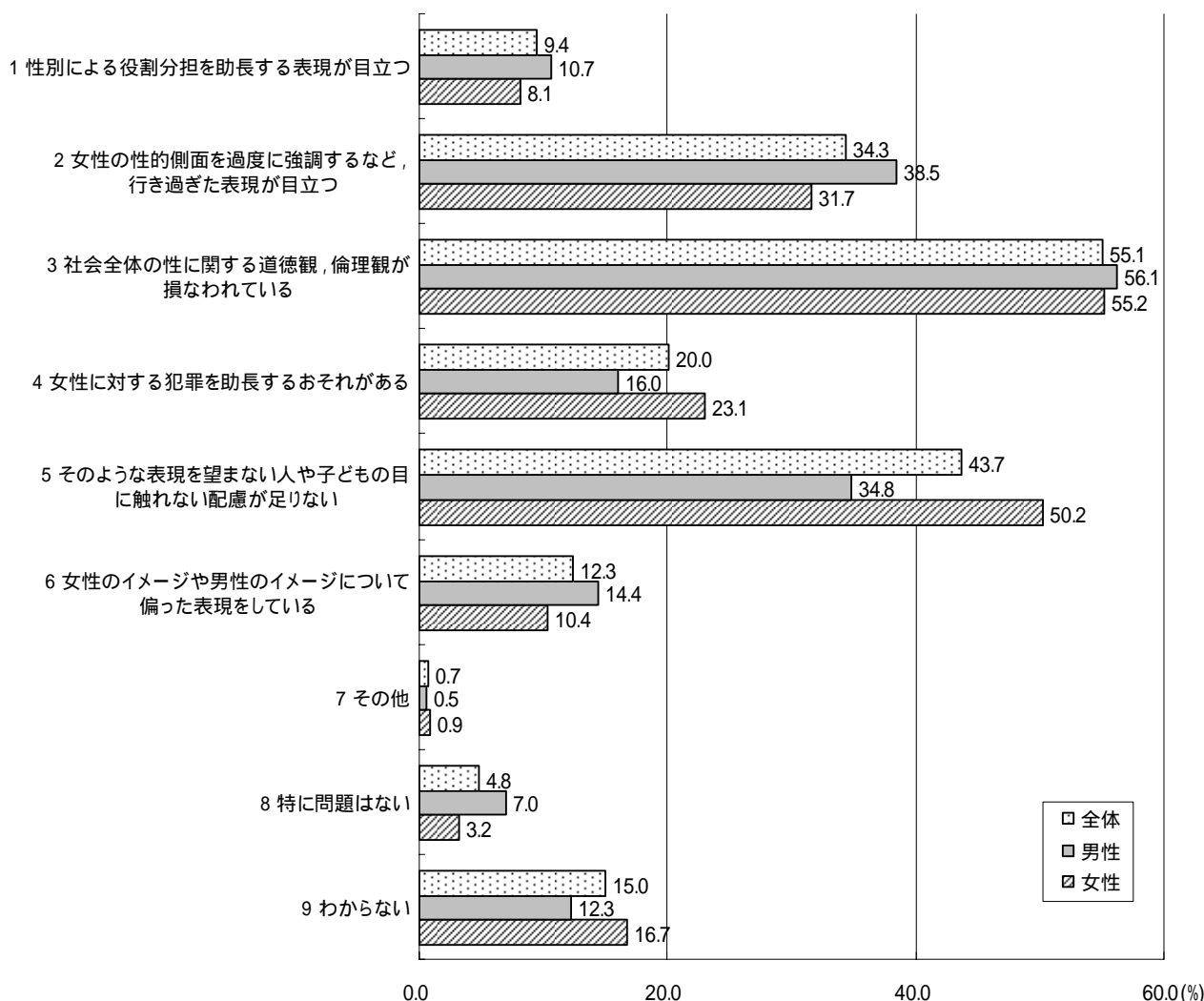
#### \* その他の意見

- ・市町村・県・国の窓口を増やしてほしいです。
- ・警察の対応を早くする。
- ・家庭・学校での教育（男女尊重，男女の本能特性の認知）を幼少より確実にを行う。…「平等」1本ではダメ。

- ・自分の家庭の事は他人には言えない。
- ・性のことより、道徳的な教育・育児が必要だと思う。
- ・「9 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出」を制限するのではなく、禁止する。
- ・家庭や性格が問題だから9で制限しても意味がない。

## 5 メディアでの表現について

問 23 テレビや雑誌などメディアでの性別による固定的な役割分担の表現や女性に対する暴力、性の表現について、あなたはどのようにお考えですか。次の中からあなたの考え方に近いものを選んでください。( はいいくつでも)



男女とも「3 社会全体の性に関する道徳観、倫理観が損なわれている」が最も高く50%を超えている。男女で順位は異なるが、「2 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」、 「5 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れない配慮が足りない」が続いている。

### \* その他の意見

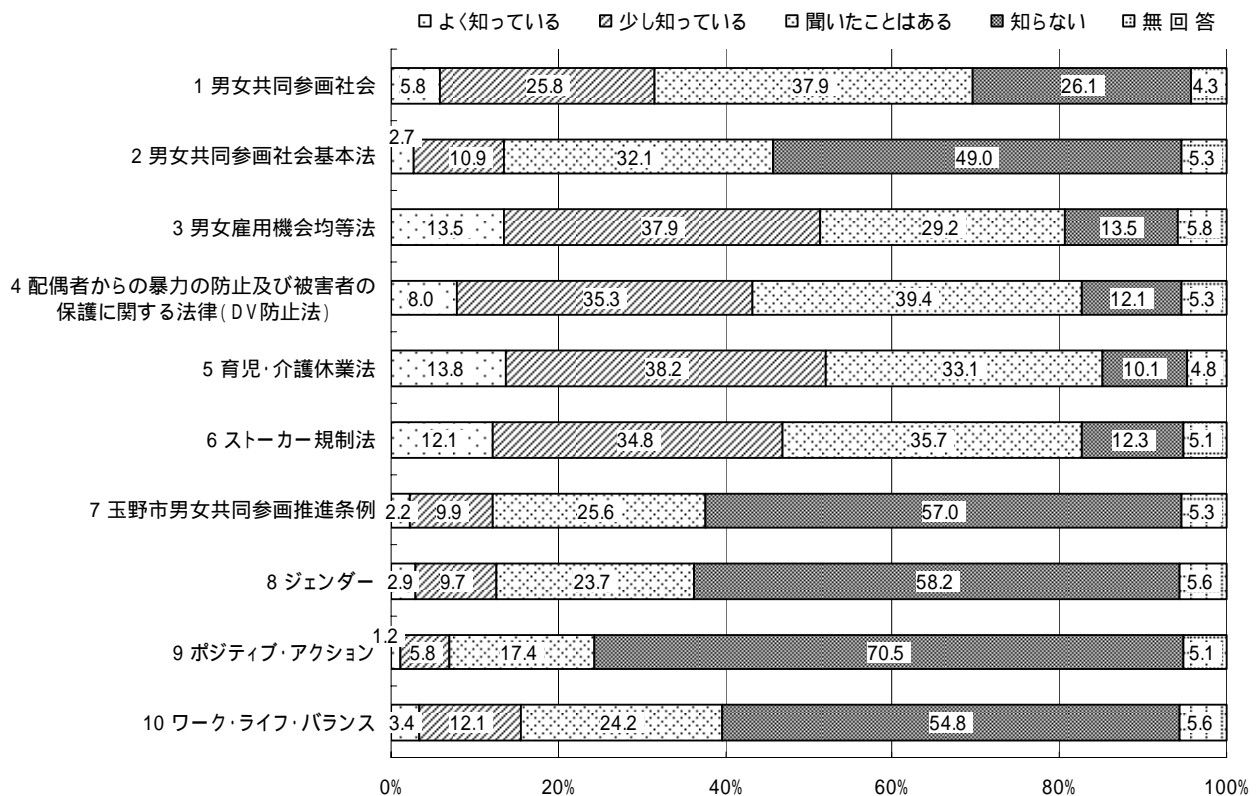
- ・メディアがあまりにも面白おかしく取り上げすぎている様に思います。
- ・気にしすぎ！

## 6. 法律・施策

### 1 男女共同参画に関する法律等の認知度について

問 24 あなたは、次にあげる男女共同参画に関する項目や法律についてどの程度知っていますか。  
( はそれぞれ1つ )

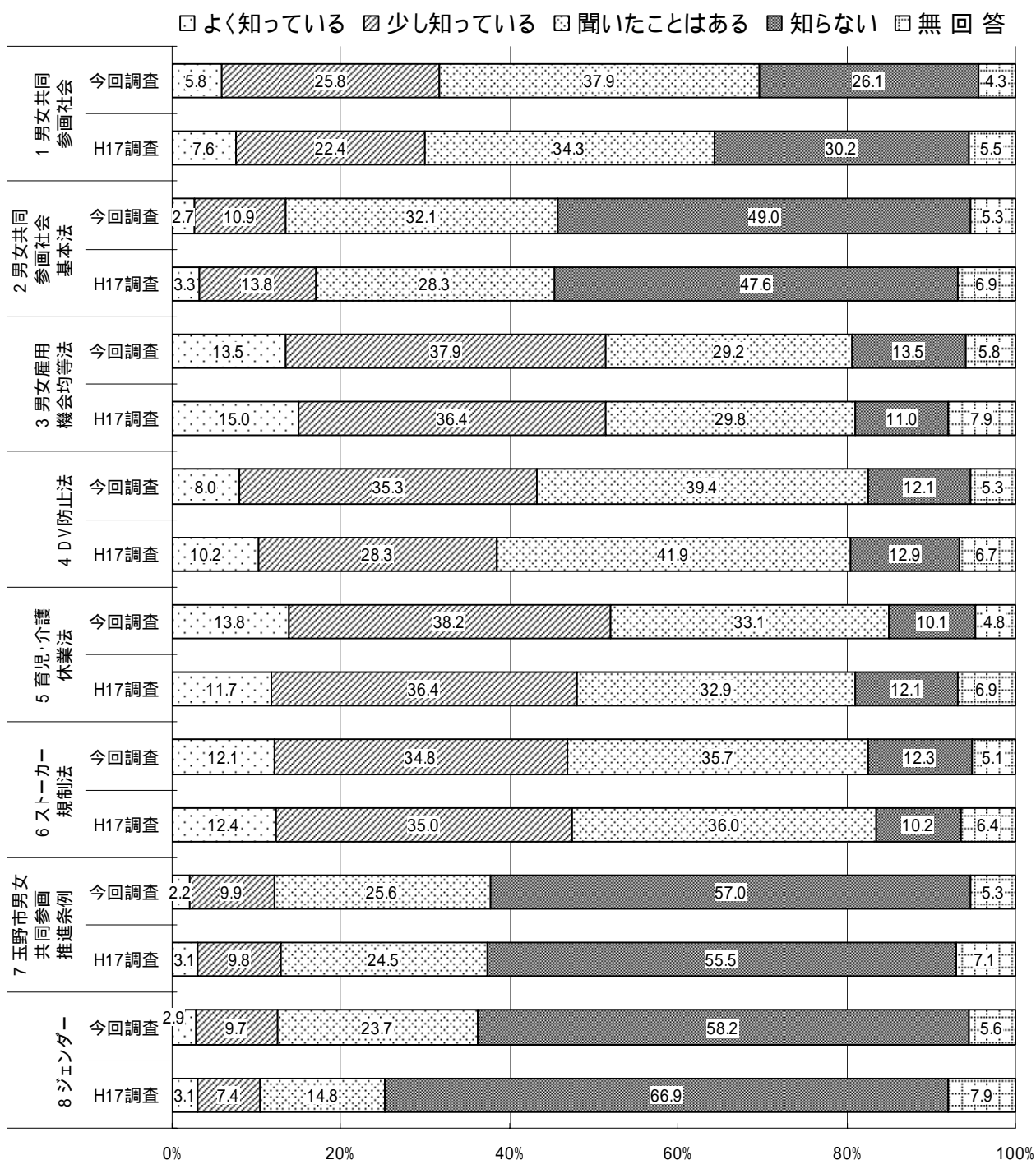
【全体】



全体の項目のうち、「よく知っている」が最も高い項目は「5 育児・介護休業法」で13.8%となっている。その後は「3 男女雇用機会均等法」13.5%、「6 ストーカー規制法」12.1%と続いている。

逆に、50%程度が「知らない」と回答しているのは、「9 ポジティブ・アクション」、「8 ジェンダー」、「7 玉野市男女共同参画推進条例」、「10 ワーク・ライフ・バランス」、「2 男女共同参画社会基本法」の順になっている。

【前回調査との比較】(全体での比較)



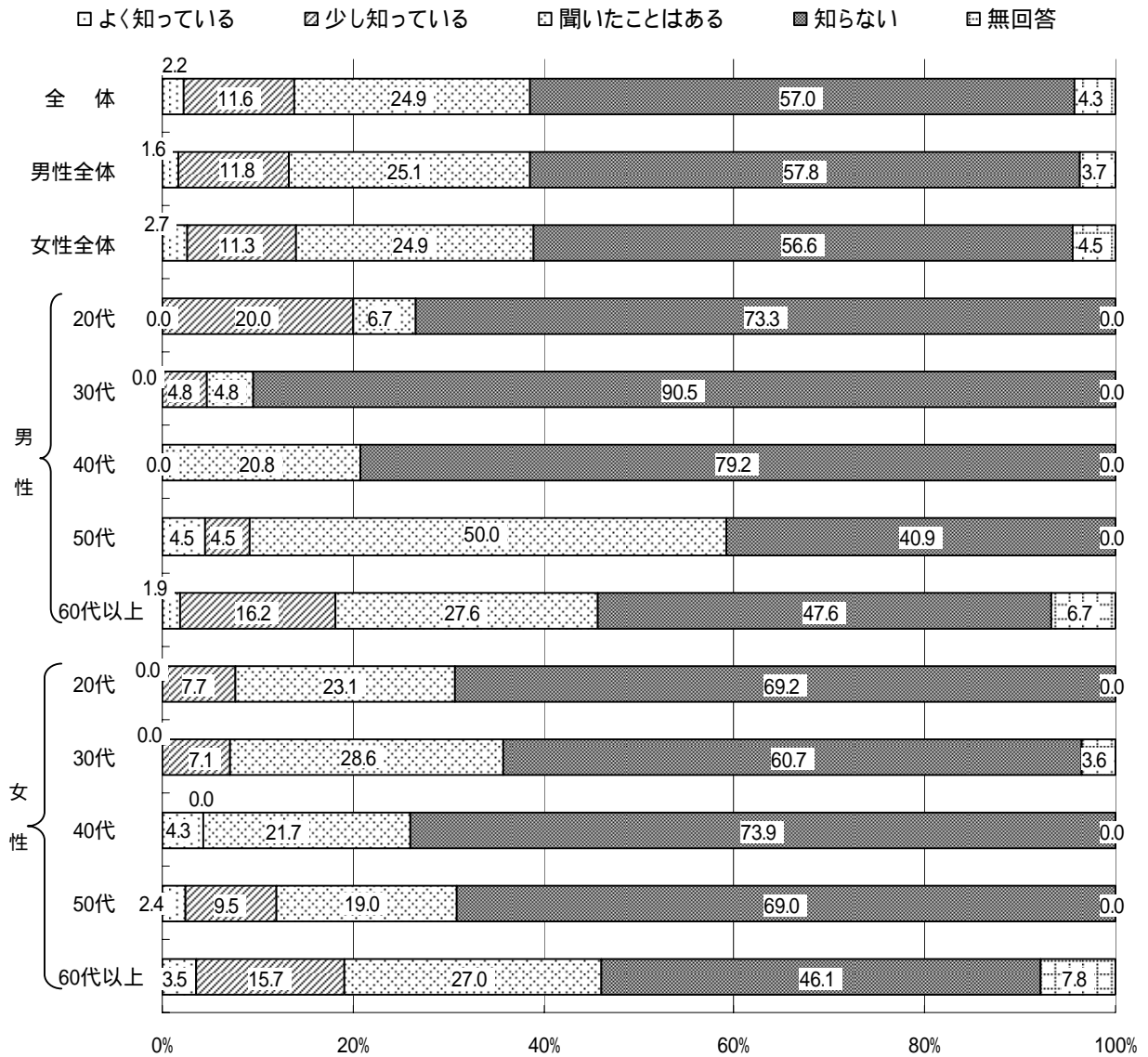
「9 ポジティブ・アクション」、「10 ワーク・ライフ・バランス」については前回調査に項目なし。

前回調査と比較してみると「1 男女共同参画社会」では「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことはある」の合計が64.3%から69.5%と5.2ポイント上昇している。同様に「5 育児・介護休業法」では81.0%から85.1%と4.1ポイントの上昇、「8 ジェンダー」では25.3%から36.3%と11ポイント上昇している。

## 2 玉野市の施策の認知度について

問 25 あなたは、玉野市が行っている次の施策をご存知ですか。( はそれぞれ1つ)

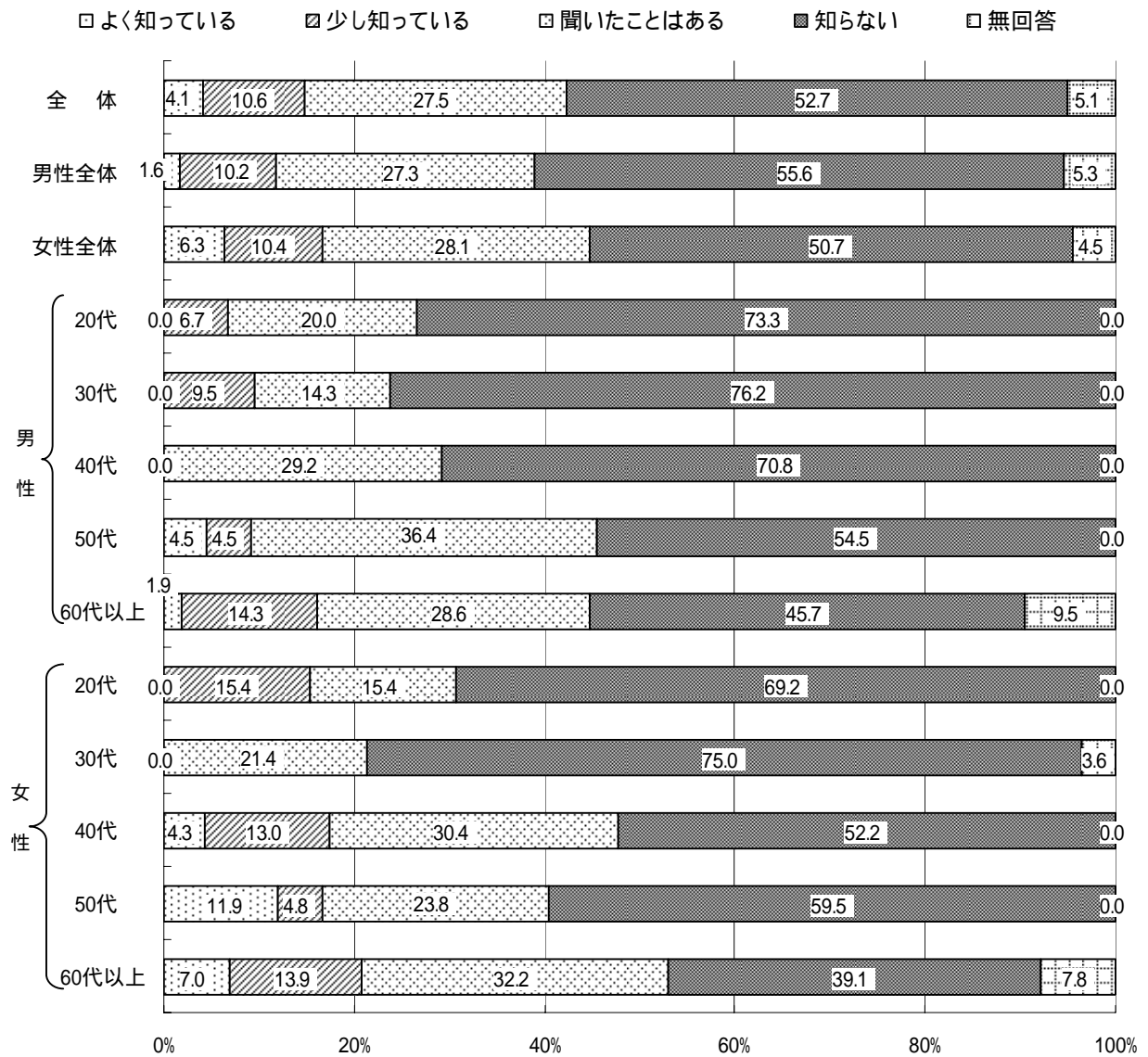
### (1)「新たまの男女共同参画プラン」



性・年齢別にみると、男性の50代、60代以上での「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことはある」を合わせた認知度が特に高く、それぞれ59.0%、45.7%となっている。

女性では、すべての年代で30%程度の認知度となっており、60代以上では46.2%と、高くなっている。

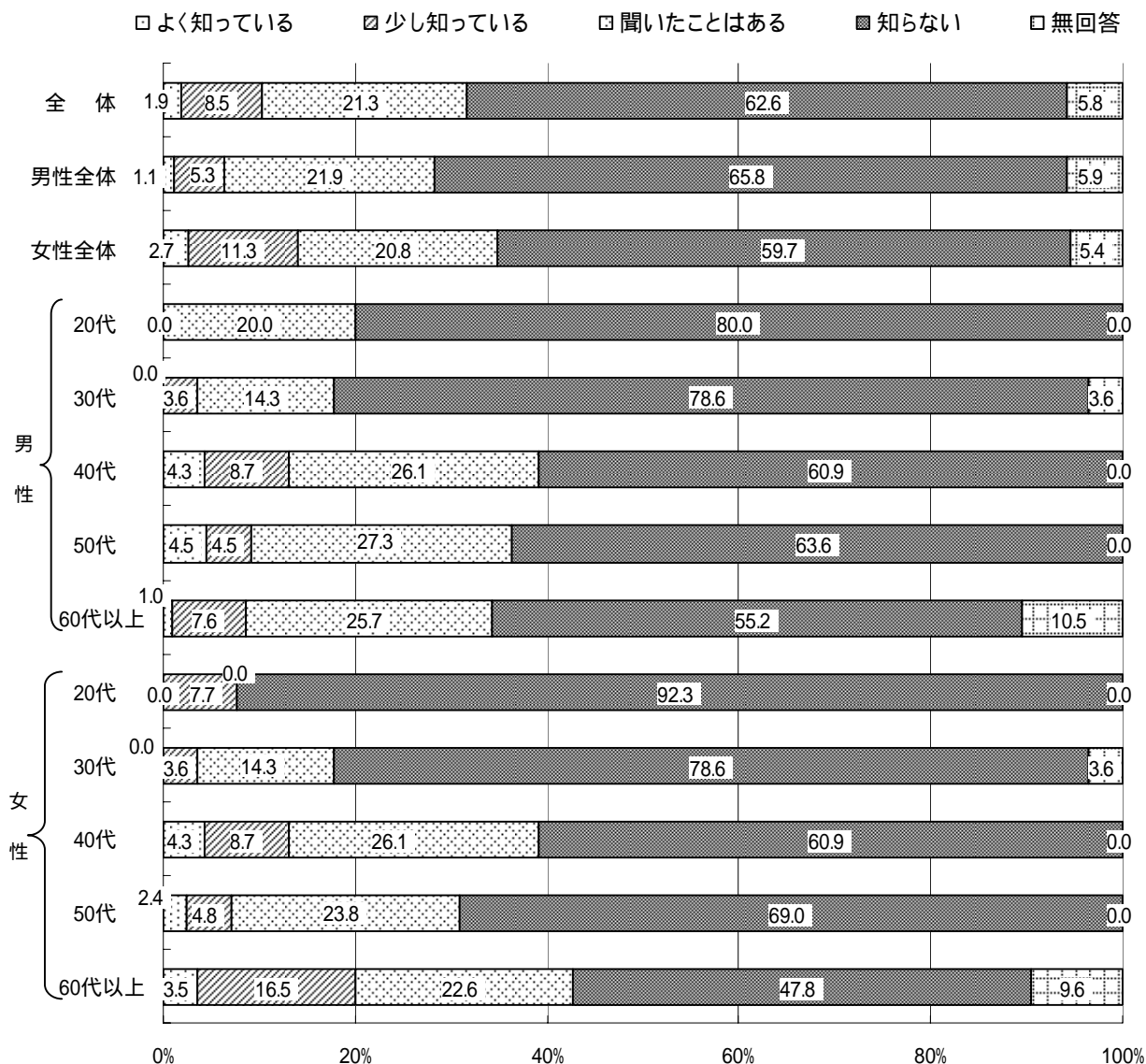
(2) 男女共同参画ページ「ら・め～る」の発行



性・年齢別にみると「知らない」の割合が、男女とも30代で最も高くなっている。

男女とも、年齢が上がるにつれ、認知度が高くなり、女性の50代では「よく知っている」が11.9%で最も高い。

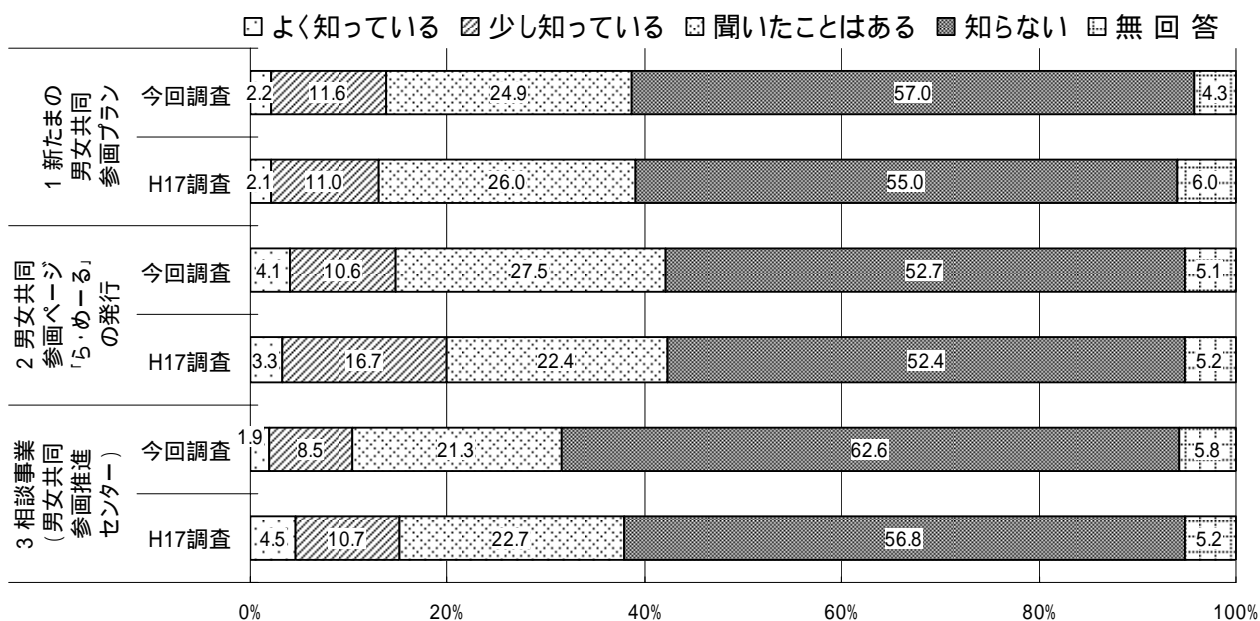
(3) 相談事業 (男女共同参画推進センター)



性・年齢別で見ると、男女とも「知らない」が約80%で、女性の20代で92.3%と特に高くなっている。

一方で、男女とも40代以上では「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことがある」を合わせると30~40%となっている。

【前回調査との比較】

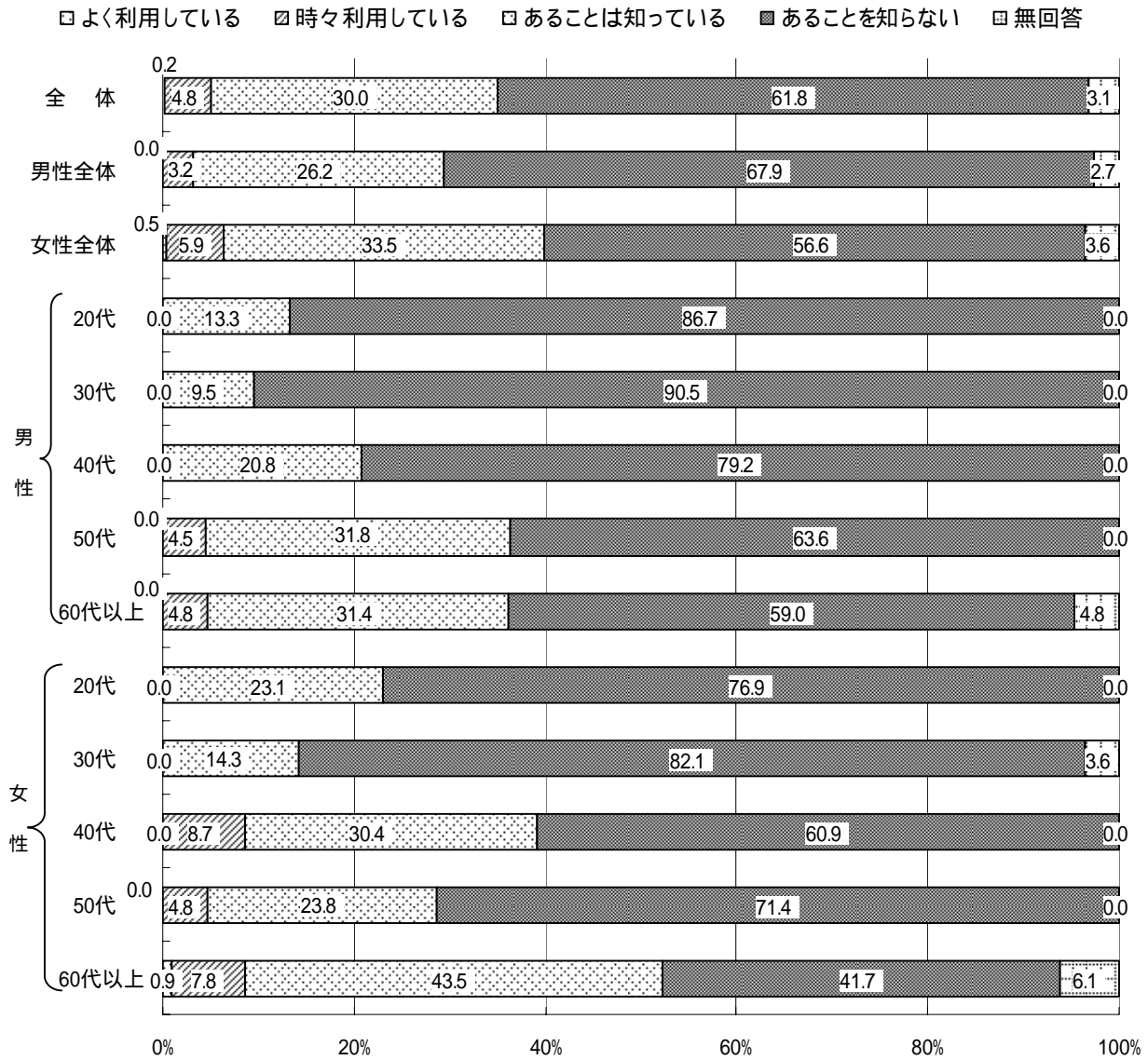


「1 新たまの男女共同参画プラン」については、前回とほぼ同じ傾向が見られる。「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』を見ると「2 男女共同参画ページ「ら・めーる」の発行」では5.3ポイント、「3 相談事業（男女共同参画推進センター）」では4.8ポイント低下している。



### 3 玉野市男女共同参画推進センターの利用度

問 26 あなたは、玉野市男女共同参画推進センター（日の出ふれあい会館）を利用したことがありますか。（ は1つ）



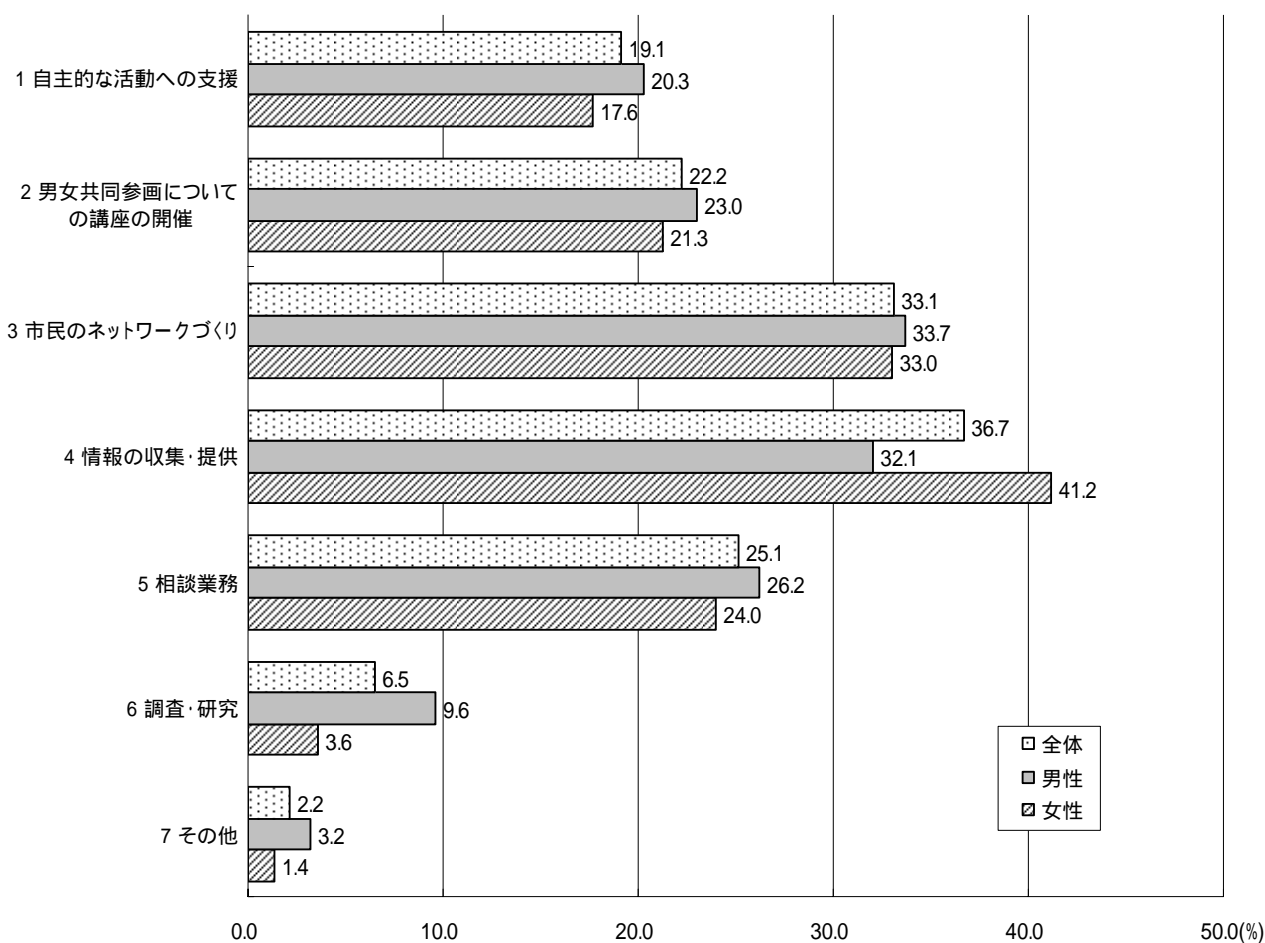
男女とも「あることを知らない」が最も高く、50%を超えている。次いで「あることは知っている」が利用したことはないが30%程度となっている。

「よく利用している」、「時々利用している」を合わせても男性が3.2%、女性が6.4%であり、利用度は低い。

年齢別にみると、男女とも年齢が上がるにつれ、利用度、認知度が高くなっている。

#### 4 玉野市男女共同参画推進センター事業で必要なこと

問 27 男女共同参画推進センターでは、男女共同参画に関する啓発事業や相談事業などを行っていますが、あなたが特に必要だと思うことは何ですか。( は2つまで)



男性では、「3 市民のネットワークづくり」と「4 情報の収集・提供」がほぼ同じで約30%を占める。後は「5 相談業務」、「2 講座の開催」と続く。

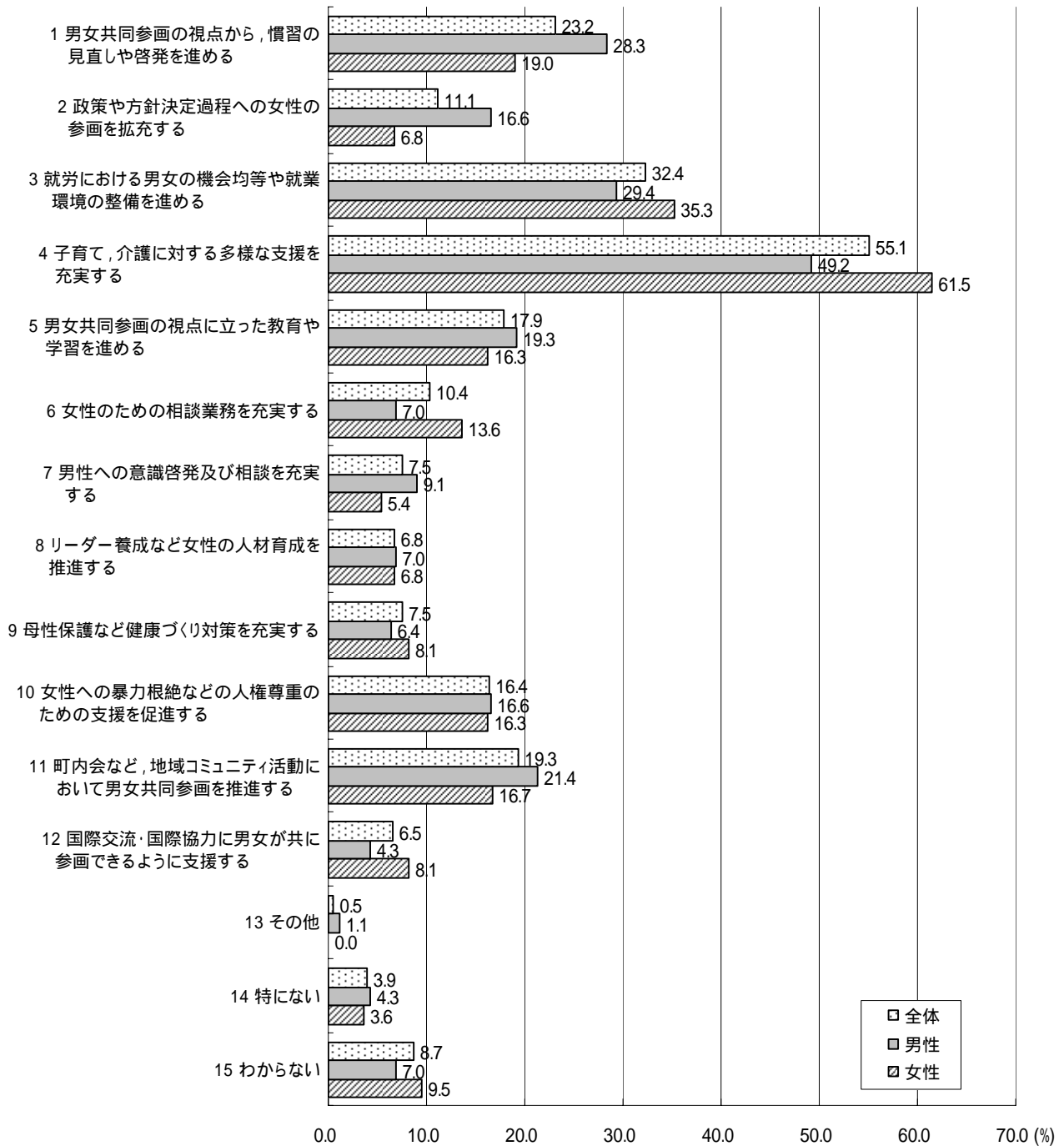
女性では、「4 情報の収集・提供」が最も高く40%を超え、「3 市民のネットワーク作り」、「5 相談業務」、「2 講座の開催」と続く。

#### \* その他の意見

- ・市担当課へ一元化する。不要な職員雇用の適正化。
- ・そもそも何をやる所か知らない。
- ・センターが不必要。役所で対応しましょう。
- ・必要なし。
- ・どのような活動をしているのか解りません。センター自体の宣伝が必要では。
- ・男女共同参画という目的がわかりにくいので、何をしてほしいかもわかりません。

## 5 玉野市が今後取り組むべき事項について

問 28 男女共同参画社会の実現を目指して、玉野市が今後どのようなことに取り組みばよいと思いますか。（ は3つまで）



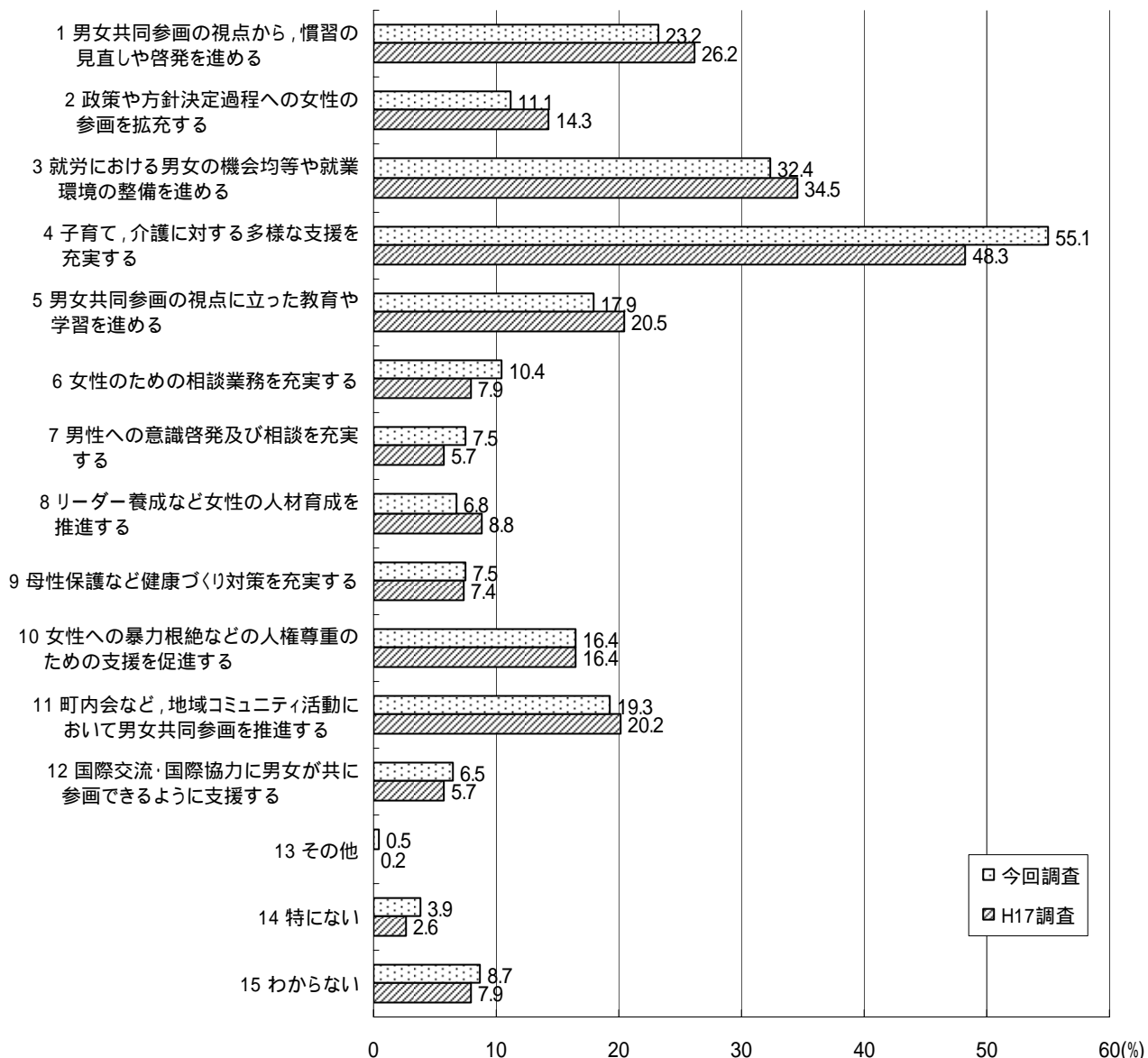
男女とも同じような上位は順に1位「4 子育て、介護に対する多様な支援を充実する」、2位「3 就労における男女の機会均等や就業環境の整備を進める」、3位「1 男女共同参画の視点から、慣習の見直しや啓発を進める」となっている。

核家族が多く見られる現代の家族構成において、必要とされる支援のあり方、就業環境の改善などに強い要望があることがうかがえる。

### \* その他の意見

- ・目標を明確に示して、実績を市民に公開する。
- ・平等ってなに？

【前回調査との比較】



前回調査と比較すると、同様の傾向が見られる。「4 子育て、介護に対する多様な支援を充実する」で前回は6.8ポイント上回っている。

少子高齢化を反映する結果が表れている。

## 6 男女共同参画施策についての意見・要望

問 29 男女共同参画施策について、ご意見・ご要望などをお聞かせ下さい。

### 男女共同参画について

<p>現状で満足。法律上性差は少なくなっており、その中でがんばる人はがんばるし、性別をうまく利用する人は利用しているように思う。暴力などの問題に関しては、相談所等の増設、情報の保護が必要であると考え。 (男性, 20代)</p>
<p>もっと市民に知っていただく必要があると思う。全くの初耳で、何の為の物なのかがわからなかった。私は男女が均等というのは不可能だと考えている。 (男性, 20代)</p>
<p>日本国憲法でも、各種の法令の上でも、男女平等が定められている事は多くの人が知っています。けれども実際には男性優位の社会のままです。制度上は保障されている育児・介護休業も男性が取得する例はめったにありません。制度を推進する為にまずは行政の職員から積極的に(事実上、強制的に)休暇を取得するべきです。また企業などに対して、制度利用を促進するために、更なる財政的な支出(子ども手当なんか止めて)を行うべきです。規模の小さい企業には手当てを更に充実させるべきです。 (男性, 20代)</p>
<p>男女共同参画施策は、独身女性・独身男性を対象にすれば、すぐ取り組めることだと思います。問題は既婚者です。家事・育児・生活全般に係ることを「男」「女」どちらがどれだけ分担していくかです。企業戦士の夫に家事、育児の分担までさせられますか??この施策とは直接関係ないかもかもしれませんが、一人親家庭においても、母子家庭の方が優遇されていると思います。父子家庭は経済的には困らなくても、子どもの通園送迎・家事全般...朝早くから夜遅くまで働いていれば、大変負担になります。不可能なこともたくさん出てきます。ぜひ一考を!! (男性, 20代)</p>
<p>女性が問4にある様な地位につくことが男女共同参画社会とでも言うわけですか?男はみんな会社社長ではない。工事現場で働いている男だってたくさんいるわけ。女性をそんな職場で働かせようとは思わない。危険な重労働は男がやるべき。だからこそ女性は女性の特性を活かした職に就く、あるいは女性にしかできないことをやらしてもらえば良い。その前に、全て個人の自由。 (男性, 40代)</p>
<p>男女が性別にとらわれず、自分らしく生き、ともに責任を分担し、支えあうことのできる社会「男女共同参画社会」の実現に向けたまちづくりの実現はとても素晴らしいことだとは思いますが、実際は性による役割分担は必要だと考えているので、それぞれの性による役割分担をふまえたものが適当ではなかろうかと感じる。必ずしも男女は一定の部分については全く同等ということにはならないと思う。それが性差であると感じている。だから全く男女が同じということまでは言えないと思う。 (男性, 40代)</p>
<p>男性には「男」としての本分があり、女性には出来ないものを持っていると考えます。又、女性には「女」としての本分があり、男性には出来ないものを持っていると考えます。男性も女性も本分があることを心にしての男女共同参画でなければ生活の乱れる基になると考えております。男(精子)、女(卵子)これは変えられません。男性は水の性質、女性は火の性質があります。これは不変です。 (男性, 70代)</p>
<p>男性や女性区別なく、相手の立場になって生活すれば、男女ともに幸せに暮らしていけると思います。 (男性, 40代)</p>

特に本件に関して、自分の知識のなさを痛感致しました。(男性, 60代)
人間は男女対になって初めて一体であるとの根本認識に立って、男女は互いに平等であり、夫婦の特長を活かしながら、相手への思いやりの気持ちを持ち、共に協力し合っけてゆくべきものである。この考えがあれば特別に男女共同参画社会の実施とか何とか、屁理屈っぽく言う必要はない。能力ある者は性別に関係なく step up してゆける社会的に向けて、又貧富・家柄の格差もあまり考慮しない平等な、しかし能力的には優秀な人材は、その能力が開花できる社会とすべきである。しかし女性は出産、子育てというハンディがあるから、女性の負担を減らすための社会的施設、配慮が払われるべきである。(男性, 70代)
だんだんと成果が上がっていると思う。特に若い人に。若い人は家族作りが下手で(男女共同参画を意識しすぎるため)自然に移行していくのでは。町内に、古い考えに固執する者がおり、町内会でよく困った発言をするので困る(旧態依然とした昔のことを)(男性, 70代)
高齢者でなく、現役の人にアンケートが送られていたらと思う。女性、子供への扱いは新聞、テレビで知るだけだが、虐待、死亡の記事は胸が痛む。強制的に保護できる法律を作っても良いと思う。訪問だけでは事件や死者が絶えない。もっと考える必要がある。(男性, 70代)
男女平等推進(男性, 70代)
私の家庭はお父さんが絶対の家庭で、昭和の様な家です。働いてはいるものの、家のこと、子どものことは全部私です。もっと、夫に家や子どもについて、お父さんも積極的にというように教えられるものがあればいいなと思いました。まだまだ周りの環境がそうさせているのではないかと思います。(女性, 20代)
「男」だから「女」だからという古い理念で育てられ、現在に至りますが、それだからこそ自分の役割を見極め、集中してやってこられた部分もあるのかと思います。ただ、子供を同じ境遇にしてやるべきかと考えれば、もっと広い可能性をもって、たとえ一人でも何事もやりぬける力を身に付けてほしいと思います。社会が変わる一歩として、男女共同参画もとても重要な働きかけだと思います。(女性, 30代)
現在、悩みもなく生活しているので、この施策について詳しく知ることはありません。この施策の目的が男女平等に社会的地位を得ることならば、男性の意識改革が大きいのでは?と思います。同時に、女性も社会進出という意欲をもって問題提起することが、この施策が生きるのでは?と思います。(女性, 30代)
今まで男女共同参画というのを聞いたことはあっても実際に興味もなく、どの様な事を行っているのか施策も知らないままでした。時間があれば、政策などの会議を聞いてみたいと思いますが、今まで日本の長い歴史、習慣を変えていくというのは、法律で決めてすぐ実行できるとは思いません。法の下は男女平等であると思いますが、地域、会社、家庭、それぞれの場面では、なかなか性の違いはあると思います。女性には男性にできないことができたり、男性には女性にできないことができたりして、だからこそ社会が成り立っていると思います。(女性, 40代)
男女が性別に関係なく、平等に何でもできる世の中になることが本当に世の中が明るく住みやすくなることでしょうか?男性には男性の、女性には女性としての幸せになる道があると思っています。ことがらだけでなく、「男女共同参画」の中身の充実を期待しています。(女性, 50代)
ムダだと思います。税金を使ってするのならいらぬ事。(女性, 60代)
女性の地位がまだまだ現実的には低いような感じをうけます。(女性, 60代)

<p>これからの玉野市政を良くする為に、男女が協力して対等に意見が自由に言える様な環境作りをして、若い人たちが前向きに勉強できるよう努力してほしいものです。高齢者の方々の豊かな人生経験を学ばせてもらい、明るい玉野市にしてもらいたいと念願しています。男女共同参画社会、大賛成です。（女性、70代）</p>
<p>私の年代ではあまり関係ないことが多いし、言葉自体の意味がよくわからないことが多かった。若い時は職場？体験をしているが、何十年も個人でお店の経営をしているので、男女共同参画などは私にとってあまり重大なことではないと思います。DVなどは興味がありますが、それを実際問題として取り上げることなど昔はあり得なかったし、時代の流れを感じます。（女性、70代）</p>
<p>仕事ができることが平等ではない。男性は男らしく、女性は女らしく、子育ては家庭（母親）がし、男はしっかり仕事をする。それをしないから、少子化になり、女性のような男が増え、おかしい時代になっている。（90才女性より）（女性、70代）</p>
<p>相手の立場、気持ちになって話を聞き、自分の意見も言って話し合う事が大切だと思います。「ありがとう」「すみません」の気持ちを忘れないようにしたいものです。（女性、70代）</p>

#### 教育・子育てについて

<p>男女平等は大切なことであるが、無理矢理性別の違いをなくそうとするのはおかしいと感じる。最近小学校では男の子を「～君」、女の子を「～さん」と呼ばせないらしい。男の子も「～さん」と呼んで、男女の差をつけないなどという教育は行き過ぎている。役割でも、力仕事は男の子、細かい作業は女の子など向き不向きで分担するのは自然なことであり、本来の性別を受け入れた上で、平等とは何かを考えなければ、不自然な社会になると思う。（男性、30代）</p>
<p>男女共同参画の視点に立った教育や学習を進めること。（男性、50代）</p>
<p>いろいろな考え方もあると思いますが、ごく普通に生活していく中で、親子のコミュニケーションをしっかりととり、周りの人々と多くふれあい、多年令の方々と交流を深めることにより、経験などを通して、いろいろな事を吸収し、誰とでも話が出来る、あいさつをかわし、人々を思いやる心が育っていけば、わざわざ取り上げることもなく、スムーズに生活していけるのではないかと思います。子育てをまちがわなければ、周りの人々のあたたかい心を受ければ、みんなステキに成長できると思います。（女性、50代）</p>
<p>家庭生活の中で、父親・母親の役割を受け持ちつつ仕事に出て行く姿を子供達に見せる事。子供の役割も家庭生活では大事だと思えるように、考えてやっていく事。その上で、職場、地域活動があるわけで、個人の問題なくして男女共同参画のよい解決はないように思いますが...。（女性、60代）</p>
<p>現在若い年令の方は大いに学んで、よい社会を作ってもらいたいと思います。私は年齢的に駄目です。（女性、70代）</p>
<p>友達関係の夫を見ていると、教員の夫は性格が悪い。教員は頭を下げなくても世間が渡れる。会社員は頭を下げないと仕事が出来ない。妻には命令ばかりして家庭の手伝いは全然しない。自分の趣味は当然。退職しても食事は時間になれば食卓にないと怒る。一人や二人ではなく全員です。自分がいるから年金でも食べられるとか、奥さんは全員なげいています。共の教員で子供教育が出来る訳がない。妻が職業病だと言っています。子どもを人質で頭を下げるのは校長位と言ってなげいている。現在の子供の箸の使い方、鉛筆の持ち方が悪くて、現在の子供は辛抱が足りない。全部教育者が悪い。（女性、70代）</p>

## 働く環境について

自分は女性の多く働く職場で働いています。なので職場での差は一般的に言われている男女の差が逆に見えるときもあります。例えば、男性だから面倒な仕事や困難な仕事をして当然だという考え方をされます。また今回のアンケート内容は、女性に偏ったアンケートのように感じました。真の平等とは何か？“男らしく、女らしく”というアバウトなイメージを明確にして、方針を検討して行って頂きたいと思います。（男性、30代）

社会全体的に男女共同参画に対する意識が高まってきている世の中だと思います。法律や制度の面でも少しずつ良くなっているとも思いますが、子供ができてからの育児と家庭、仕事の両立はまだまだ難しい状態です。収入が必要だから仕事（共働き）をする家庭は沢山ありますが、現実には保育園にあずけたくても、母親の収入のほとんどが保育料に取られていきます。子どもができてからの転職もやはり、欠勤の面でいい顔はされません。収入の面でも女性は男性のように収入を得ることもできません。子育て支援といってもやはりお金が必要になります。もっと違う視点からの制度の見直しが必要ではないでしょうか？これからに期待しています。（女性、20代）

職を探す時、最近男女の別を書いていないが、実際調べてみたら、金額が高ければ男性、少なければ女性という事が良くある。仕事内容も、女性は集中力があるからとか言う理由で決まったり、個人の特性とは全く関係のない事があったり。男女平等とかいっても、中々実現しないような気がします。賃金も男は家族を養うのだからと、女より多いのが常で、仕事内容がそんなに違うのだろうか？女も柱になって養っていかなくてはいけない人もたくさんいるのでは？と思います。（女性、50代）

男女平等と言っても、親の介護は女性に任せることが多いし、社会で仕事続けようと思えば、子供を見てくれる人がいなく、保育園は私立で延長7時、公立では6時、矛盾していることが多いです。子供が熱が出たら休ませなくてはなりません。会社は休み過ぎると嫌な顔をされ、本当に矛盾だらけです。熱が出たり病気は子供が大きくなるまで続きます。本当に平等ってありますか？（女性、50代）

## DV等支援について

プライベートな問題でもあるので、相談しやすく、秘密を守れる環境をつくってほしい。（女性、30代）

もっと低所得者が困っていて、誰にも相談できずに悩んでいるという現実を知ってほしいです。私自身も親の介護の為、貧困の中で悩んでいて仕事にも就けないでいます。男性も女性も関係なく、シングルマザー・ファーザーの友達なども、市や県、国の援助をかりることができず困って泣いています。もっと身近な取り組みを切に願います。（女性、30代）

もっと気軽に相談に行ける様にしてほしい（プライバシーには）。具体的にどういう対策があるか詳しく教えてほしい（DV）。親（大正生まれ）の、同居の姑の考え方を改めさせてほしい（男尊女卑の）。平和な現代でDVの夫と暮らして38年間経った。DVを許している家に育った夫と全然ない家に育った妻。何十年もDVを受けたまま耐え続けていたのは、離婚したり、言い返したりしては、家庭がけんかで暗くなるからという妻の一人合点からだった。だが子供は見ていた。男、女のそれぞれの子供は結婚しているが、どうかその繰り返しをしないでほしい。話し合いでDVをなくしようと努力している妻をみせておくべきだった。完全ではなくとも。許してはならない。DVのない家庭は必ず出来ることを。今は妻が割り切って、夫に全てしたがっているからDVは少ない。（女性、60代）



## 行政について

<p>玉野市男女共同参画推進センターは、アピールしたい気持ちから設置しているとは思えない。本気でやるなら職員の資質向上が求められる。男女平等を推進するのであれば、同じ職責を課すべきである。(男性, 40代)</p>
<p>夫婦でとか、独身男女とか一緒に参加できるイベントを企画して、方針を伝えていく機会を設けていく。(男性, 40代)</p>
<p>玉野市が男女共同参画施策を色々と打ち出していて、共同参画事業等に力を入れていることは良い事だと思います。しかし市民に施策の詳細が伝わっていない様に思います。市民に周知し、よく知ってもらう必要があると思います。(男性, 60代)</p>
<p>広報たまのみに、年2回ではなく毎月掲載して、市民に普及、理解等充実させる必要あり。(男性, 60代)</p>
<p>全市民が必要だと思っているとは思えません。必要な時にお願いできれば良いと思います。(男性, 60代)</p>
<p>男女共同参画施策について、良くわからないので、広報紙等啓発活動をもっとやってもらいたい。(男性, 60代)</p>
<p>時代とともに男女の役割は変わってくると思いますが、その変化に対する支援を重点的にやってほしい。(男性, 60代)</p>
<p>男女共同参画詳しくは知りませんが、男女の個人としての尊厳を重んじ、男女の差別をなくするための施策と捉えています。大変良いことだと思いますが、もっと市民にアピールした方が良いのでは。(男性, 60代)</p>
<p>市民全員が男女共同参画について、認知・理解できていないように思う。もっと市民全員が理解・認知できるように啓発活動すべきだと思う。分かりやすい言葉で、簡潔・明確に表現することで、少しでも多くの市民が理解してくれるのではないかと思う。(女性, 20代)</p>
<p>玉野市が独自で行っているこれらの事業のことは、ほぼ何も知らないです。関わっている人の自己満足にならないような広報の仕方、発信の方法等、もっと工夫をすべきだと思います。(女性, 30代)</p>
<p>啓発を進めるにしても、市民からの意見を集めたり、広めたりするにしても、様々な手段を使っていくことが大切だと思います。人々の情報収集の方法や価値観は、本当に幅広くなっていると思うからです。誰にでも理解しやすくするためには、何かにつけ具体例(事案)を出すことも必要だと思います。例えば、“市民のネットワークづくり”とは、どうすることを指しているのか、とか。月に1回集会を開くことなのか、誰でも参加できる会議を開くことなのか、とか。うまく書けませんが、市民が一つずつの言葉、とりあげることについて、同じイメージを持つことができる方法(こと)が必要だと思います。(女性, 30代)</p>
<p>色々事業に取り組みられているのですが、市民には十分に認知されていないと思います。(女性, 40代)</p>
<p>男女平等推進の為の活動ですか？そんな初歩的なことさえわかりません。今後、「ら・めーる」等に注意して目を通したいと思います。DVは問題外ですが、男女雇用機会均等法など、あってないような環境がまだまだ多いのではないかと考えています。(考えが古い？上司がハバをきかせているが、雇用されている身としてはしかたない...とってしまいます。)(女性, 40代)</p>

時間と費用をかけて長期にわたり男女共同参画に取り組んでいるにもかかわらず、まだこのようなアンケート内容をしなければいけないのかと、玉野市の男女共同参画の遅れを感じます。(問6について)このような項目がアンケートにあることに理解をされていないように思いますが。(女性、50代)

『男女共同参画』という言葉、概念はだいぶ社会に定着してきたように思います。玉野市での取り組みも少しずつ積み重ねられてきて、発信力になっているのではないのでしょうか。大切なのは、市民の暮らしに密着した男女共同参画。人間として豊かにゆとりをもって生活していくことと、男女がお互いに尊重し、よりよいコミュニケーションをはかることが、さらに結びついていけば...と思います。そのためには、シングルの親や、出産、育児、介護の家庭など、細かいサポートが要るところを、より充実させていって欲しいと思います。(女性、50代)

#### アンケートについて

1200名の中の1人ですが、私には改めて考へさせるアンケートでした。協力になってますか？(不明、70代)

男女共同参画といっても、このようなアンケートをしなければ改めて考える機会はなかったもので、この機会に参加できたことは良かったと思います。玉野市も男女平等の社会を築いていく取り組みをされているのを初めて知りました。この取組みを積極的に広めて頂きたいと思います。質問の中で問いかけがどうかと思う質問が、問5の結婚観・家庭生活で答えにくかったです。(男性、30代)

このようなアンケートを税金で行うからには何か一つでも市民の目に見える形で結果を出してください。アンケートを取っただけで満足しないでください。仕事をしている女性にとって子どもを持つことは運命の分かれ目です。産休・育休等会社に制度はあってもそれ取得しようとする人間に対する周りの目は厳しいです。また不況のため、仕事そのものがいつまであるのかという不安もあります。公務員と違って民間は今本当に苦しい状況です。どうか自分の立場にあぐらをかかず、市民のために何ができるのか、無駄な仕事をしていないのか、本気で考えて取り組んでください。(女性、30代)

男女共同参画に関して詳しくわかりませんが、年齢、配偶者のあり・なしは関係ないと思います。生活するには負担は大きいと思います。(女性、50代)

年齢的に余り出かけることも少なくなり、外部の事がよくわかりません。お役に立てなくてごめんなさい。(女性、70代)

高齢者で、聞いたことは有っても余り関心がありませんで、お役に立ちませんで申し訳ございませんでした。(女性、70代)

#### その他

市外で自営業を行っており、実際のところ、朝家を出て、夜玉野に帰るだけである。若者も玉野に働く場所がなく、市外に出て行く人が多いと思う。自分と家族の生活で一生懸命で男女共同参画社会と言ってもピンとこないですね。玉野市のことは山陽新聞玉野版、又は広報で見るくらいのもです。玉野市自体に活気がなく、どんどん沈んでいく感じです。他の市から帰ってくると！(男性、50代)

がんばって下さい。(男性、50代)

シルバー者にやさしい町づくりを目指す玉野にしてほしいと思う。市民の為の病院は一流で（市民病院）なければいけない。それには病院で働く人達の選出が大切です。どこに税金を当てるのか、そして高齢者が惜しまずお金を出すように考えるべきだ。子供は親が育てればいいと思う。昔も今も子は親が育てるのは当たり前だと思う。高齢者を大切にすると若者は玉野にUターンしてくると思う。現在玉野市に若者が少ないのは働ける会社がない。世代交代をして町の活性を望む。（男性、60代）

『男女共同参画』という言葉だけが一人歩きするような、机上の施策はあまり意味がないと思う。全ての市民が玉野で子育て、介護ができてよかったと思えるような、末端の悩みにまで一緒に考えられるネットワークを作ってほしい。（女性、50代）

男女共同参画施策といっても、高齢者となった今は、今後のこと（生きることの不安）の方がいっぱいです。特に一人暮らしの場合の急病等...。（女性、60代）

仕事がしたくても70才になると仕事がありません。私のように娘と二人、私の年金7万1000円とシルバーの収入1万円くらいです。娘は総合失調症です。家賃2万8000円です。もう少し仕事があれば生活が楽になるのにと考えます。（女性、70代）

今の若い人はボランティア精神があまりなく、自分だけがといふ考えが多い。もっと社会のため、人のために努力してほしい。（女性、70代）

統計の仕事をお手伝いしていましたので、共同参画はいやという程、わかっている積りですので、年を取りましたけど、ホント楽しく思い出す事がありますので、会社廻り、個人宅の訪問や国勢調査等を市の職員でなく、一般に開放したらいいと思いますので、年を取ったら思い出にもなり、友達も多くなるし、稀には総で集ったり、表彰されたりして、いい経験をしてきましたので感謝しております。年寄りの小さい喜びでしょうかね!!お世話になりました。（女性、70代）

（原文のまま）